建築と社会

社団法人 日本建築協会
昭和43年10月25日発行第49輯第10号
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

10

ARCHITECTURE AND SOCIETY 1968 VOL.49



特集/都市のアクセサリー



高分子化学が生んだ完全防水材
（E・P・Tゴムシート）

三ッ星ベルト ネオ・ルーフィング EB

■“万能合成ゴム”といわれるE・P・T（エチレン・プロピレン・ター ポリマー）ゴムの開発によってつくられたネオ・ルーフィング—EBは、防水の問題をいっきに解決しました

■工法は簡単に、性能は一段と向上しました。
いままでのブチルゴム系、ネオプレン系のものにくらべて耐候性、耐摩耗性、耐破断強度は特にすぐれています。

■建築物の屋根防水、地下防水、地下鉄防水、橋梁防水、など用途の広い完全防水材として好評をいただいています。

三ッ星ベルト
ネオ・ルーフィング工業会

札幌	(株)浜建	TEL (0122) 26—5676代
東京	日本綜合防水(株)	TEL (03) 292—2661代
東京	高山工業(株)	TEL (03) 251—0161～3 1301～2
東京	(株)三柏商会	TEL (03) 251—7517・8867
東京	(有)金岡興業	TEL (03) 363—4341
静岡	(株)三井工業所	TEL (0542) 85—9151
富士	(株)三井工業所富士営業所	TEL (0545) 61—1688
名古屋	中央建材工業(株)	TEL (052) 251—3541
金沢	北川瀝青工業(株)	TEL (0762) 41—1131代
福井	北川瀝青工業(株)福井営業所	TEL (0776) 23—1134・8847
富山	北川瀝青工業(株)富山営業所	TEL (0764) 21—2218・41—0391
新潟	北川瀝青工業(株)新潟営業所	TEL (0252) 45—0981
大阪	(株)久保商店	TEL (06) 364—0206代
大阪	(株)木下謹三商店	TEL (06) 443—0115代
大阪	日本綜合防水(株)大阪営業所	TEL (06) 329—1023代
大阪	高山工業(株)大阪営業所	TEL (06) 364—9015
大阪	ネオ・ルーフィング防水(株)	TEL (06) 341—7608
神戸	石井建材有限会社	TEL (078) 51—5353代
広島	青盛建材(株)	TEL (0822) 21—2281～6
岡山	青盛建材(株)岡山営業所	TEL (0862) 23—8285～7
福岡	青盛建材(株)福岡営業所	TEL (092) 28—5566～8
福岡	(株)工材社	TEL (093) 38—1468代
松山	(株)山本商会	TEL (0899) 3—6261

三ッ星ベルト株式会社

本社　神戸市長田区浜添通4　TEL (078) 67—5071　大代表
支店　東京・神戸・名古屋・福岡・札幌・大阪・金沢



東京神田・小学館ビル

ブラインドを内蔵した　住友の回転式アルミ二重窓

エルミン窓

ビルが変れば窓も変ります

ビルが高層化・マンモス化するにつれて、その窓も変ります。大きなビルの窓には、気密性・遮蔽性・清掃の安易さ・熱損失の多少・採光性能など、あらゆる面から検討され、すぐれたものが要求されます。さらにビルの顔ともいえる窓には、ビルの外装を生かす美しさも忘れることはできません。スイスで生まれたエルミン窓が各方面で話題になり、注目を集めているのも、こういうビルのマンモス化時代に窓の性能が再検討された結果にほかなりません。

◆エルミン窓は　ブラインド内蔵・回転式アルミ二重窓です

二重構造と内蔵ブラインド、すぐれた断熱構造及び高い気密性が、抜群の遮蔽性を発揮します。騒音・外気は室内にオフリミット。冷暖房効果もたかめます。外光調整も思いのままです。またエルミン窓は横軸180度回転式ですから、ロックをはずし障子部分を回転させることにより、高層窓の外面も手がるに清掃できます。ブラインドにも埃りがつきません。このように数々の特色を持つエルミン窓は、ホテル病院・学校・寒冷地の住宅など各方面で、時代の要求にこたえた新しい窓としてご好評いただいております。



標準換気位置（約15度回転）

◆エルミン窓には8つの特徴があります

①二重ガラスにより熱損失が少い
②遮音性能がすぐれています
③アルミ形材に挿入された断熱材により熱伝導が少ない
④水密・気密が完全です
⑤ガラスにも枠にも結露を生じません
⑥ブラインドが内蔵されているので冷房負荷をへらします
⑦横軸180度回転し内部から外部ガラスの清掃が可能です
⑧大窓にも適します
エルミン窓は住友軽金属のすぐれたアルミ形材を使用しています

製造・販売・施工

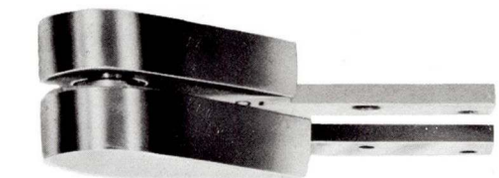
日本エルミンサッシ株式会社

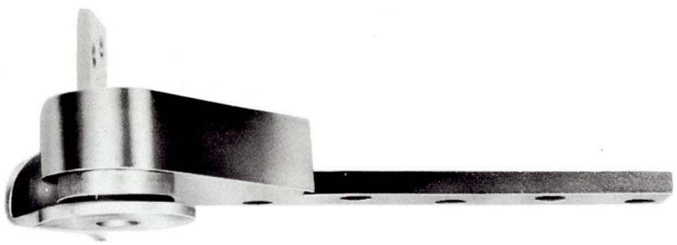
本　社　東京都中央区日本橋江戸橋3－7（第2三木ビル）電(272)1841代表
営業所　大阪市西区京町堀1－125（東洋ビル）電(441)1979直通

住友軽金属工業株式会社

サンエイ 立枠付 ピボットヒンジ

●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品





■ 本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。

■ 焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にＳＵＳ27（18.8）**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。

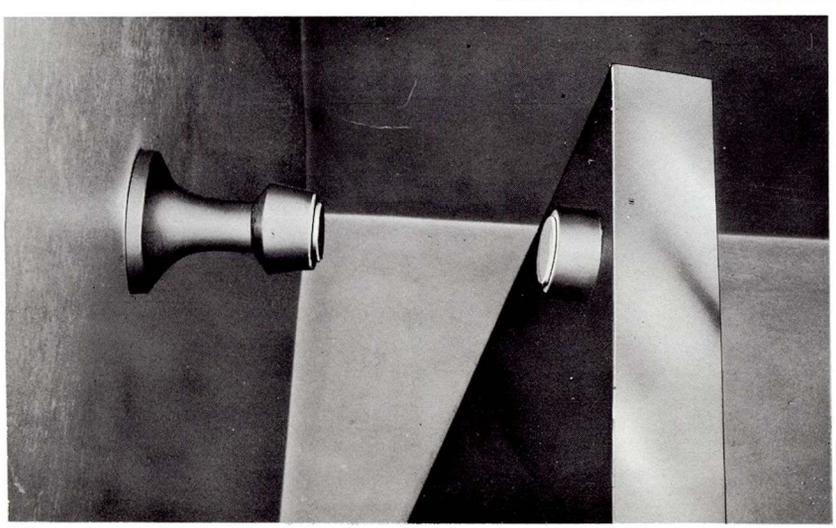
■ 回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。

■ 別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら抵触致しておりません。

住友の永久磁石を使った〈新しいドアー・ホルダー〉

サンエイ マグダー



＊軽快なワンタッチ

従来のゴム戸当りと違って、ワンタッチで軽く接触するだけで、ホールドします。

＊強い磁気力

磁気力が強力なため、風力などであふられて離れるようなことは全然ありません。

●設備場所を床にお求めの場合、**床用デザイン**のものも用意しております。

555

三榮建材工業株式会社

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（751）　３６５３～５

◀第2,3回日本の伝統工芸を見る会ご案内

A. 第2回「西陣織」の川島織本社工場の見学会

9月28日（土）に実施しました第1回の「西陣織」の見学会は西陣の本場に分散している町工場の見学でしたが，第2回は「西陣織」の総合近代工場ともいうべき川島織物の見学会です。

日　時　10月19日（土）14.00（集合）→16.30（解散）
集合場所　京阪電車・三条駅北出口附近・目標会旗
見学先　京都市左京区静市市原町265　株式会社川島織物本社工場
行　程　14.00 京阪三条駅前出発・出迎えのバス→川島織物工場見学（14.40〜15.50）15.50工場発→16.30京阪三条駅着・解散
定　員　30名

B. 第3回「京漆器」象彦の見学会

有名な京の漆器，象彦の陳列場や漆塗・蒔絵の工場を見学します。

日　時　10月26日（土）13.30（集合）→15.00（解散）
集合場所　京都市左京区岡崎公園前（京都会館西側）
株式会社　象彦前・目標会旗
見学時間　14.00〜15.00
定　員　30名
附　記　故藤田嗣治画追悼展が朝日新聞社主催で岡崎の京都市美術館において10月24日（木）〜11月24日（日）の間，開催されますのでお帰りにご覧になったらいかがですか。

●上記A・Bについて

申　込　Aは10月15日（火）Bは10月22日（火）までに事業課へ電話（231—9640）で申込みのこと。先着順で〆切。

◀伊奈製陶常滑工場とトヨタ自動車工場の見学会　（共催・東海支部）

日　時　11月8日（金）・9日（土）　1泊2日
集合場所　8日11.30名鉄常滑駅前集合・目標会旗
徒歩にて伊奈製陶本社へすぐそこ
定　員　30名
申　込　往復はがきに限ります。はがきには氏名，勤務先，役職，住所，連絡先，電話番号，郵便番号を必ず記入のこと。
10月25日到着のはがきで〆切ります。
参加者　申込のはがきにより委員会で銓衡，抽せんを行ない参加者30名を決定します。申込者にはその結果を10月31日までにお知らせします。参加者には参加証をお送りします。
会　費　4,000円（宿泊代その他）
行　程　＜第1日＞11月8日（金）（伊奈製陶提供の貸切バス使用）
●自由行動（運賃各自負担）
9.05新大阪発特急こだま→10.20名古屋着（2等運賃¥1,180）
又は8.00上本町発近鉄特急→10.12名古屋着（運賃¥900）
10.40名鉄新名古屋発特急→11.21常滑着（運賃¥150）
11.40伊奈製陶本社着，スライドにより工場の説明をきく・昼食（11.40〜13.00），本社工場見学後貸切バスにて東・大谷・半田の3工場見学（13.00〜16.30）→17.00 新舞子舞子館着・宿泊
＜第2日＞11月9日（土）（大林組提供の貸切バス使用）
8.30舞子館発（貸切バス）→10.00 トヨタ自動車工場PRホール着，PR映画観賞（10.00〜10.40）→元町工場見学・豊田モーテルにて昼食(11.00〜12.30)→高岡工場ボデープレス第4期増築工事→田中町独身寮およびプレハブアパート新築工事以上の見学（13.00〜15.00）→16.00 名古屋駅着・解散
●参考　16.46名古屋発特急こだま→18.05新大阪着
又は16.30名古屋発近鉄特急→18.55上本町着
附　記　本見学会は伊奈製陶株式会社・トヨタ自動車株式会社・株式会社大林組名古屋支店，以上3社のご厚意とご歓待をうけて催すことになりました。ついては，同業の方や職務上全くご関係のない人はお申込をうけても，参加を遠慮願うことがありますから，あらかじめご了承おき下さい。

◀本年度第1回若い会員の集い小委員会

本年は，「建築の進歩と調和」を主題に企画を進めていくこととなりその第1回を下記要項で開催いたします。何卒ご参加下さい。

日　時　10月29日（火）午後6時〜8時
会　場　本会4階集会室
テーマ　「建築のライフ」
ゲスト　西沢文隆氏（坂倉建築研究所大阪支所長）
岩本博行氏（竹中工務店取締役技師長）
司　会　上田　稔氏（事業副委員長）
申　込　20日までに電話で願います。
定　員　30名

◀鉄骨構造設計講習会開催通知

（新規準案による設計例を主にして解説）

本年2月9日に標題講習会を開催し，たいへんな好評を得ました。再度講習会を下記要領で開催いたしますので何卒多数ご聴講下さるようご案内いたします。

日　時　10月25日（金）開場9時・開会9時30分→閉会5時
会　場　大阪科学技術センター4階・401号室
（大阪市西区靱1，市バス靱公園前）
科目・講師（順不同）

鉄骨構造の考え方	工学博士	鷲尾　健三氏（大阪大学）
構造計画		木田　幸夫氏（大林組）
構造設計		長田　正雄氏（大阪建築事務所）
断面算定		宮川　達郎氏（泉設計事務所）
鋼管構造と溶接設計		若林嘉津雄氏（日建設計工務）

聴講料　会員　1,000円　会員外　1,300円
テキスト　『鉄骨のデザインン』　2,000円
申込方法　10月10日までに，氏名・勤務先を記入した申込書と聴講料・テキスト代を添えてご面倒ですが事務局までお申込み下さい。申込者に聴講券をお渡しします。ただし会場の都合もあり先着受付定員200名で締切りますので何卒ご承知下さい。

◀日本学術会議第8期会員候補者の推薦通知

来る11月25日を期限として行なわれる日本学術会議の第8期会員選挙について，建築学部門の全国区並びに地方区候補者として，日本建築協会より下記諸氏を推薦いたしましたので，ご通知申し上げます。有権者は棄権せぬようご注意下さい。

記

（全国区）
仲　威雄氏（東京大学名誉教授・東京電機大学教授・工学博士・現会員）
西山　夘三氏（京都大学教授・工学博士・現会員）
（地方区）
〔北海道〕大野　和男氏（北海道大学教授・工学部長・工学博士・現会員）
〔近　畿〕前田　敏男氏（京都大学教授・工学部長・工学博士）

常温で使えるアスファルト
フリントコート



屋根防水工事に
世界各地で40年間の実績があり、その安全性には定評があります。

床工事に
セメント、砂、砕石と混合した独得の床で、一例をあげると各地日本専売公社の倉庫の床に採用されております。

(株)シエル石油大阪発売所
大阪 (303)7131
東京 (562)4646
福岡 (77)1961

SHELL
シエル石油

シエル石油アスファルト部　東京都千代田区丸の内2～3　TEL(212)4371大代表

法令コーナー

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております。

◇都市計画法要旨（その3）

第八　都市計画制限等

1. 都市計画施設等の予定地における建築物の建築については，都市計画事業の施行として行なうもの等を除き，都道府県知事の許可を要するものとし，永久構造物である建築物の建築を許可しないことができるものとする。

2. 一定の都市計画施設等の予定地においては，前項の規定にかかわらず，建築物の建築を許可しないことができるものとし，この場合，都道府県知事は，土地の利用に著しく支障をきたすこととなるため当該土地の買取りの申出があったときは，原則として，これを買い取るものとする。

3. 一定の都市計画施設の区域又は市街地開発事業に関する都市計画が定められた区域内の土地について，都道府県知事等が土地の先買いをすることができるものとする。

第九　都市計画事業の施行

1. 都市計画事業は，原則として，都道府県知事の認可を受けて市町村が施行するものとし，市町村が施行することが困難又は不適当なものは建設大臣の認可を受けて都道府県が，国の利害に重大な関係を有するものは建設大臣の承認を受けて国が，それぞれ施行するものとするほか，その他の者は，都道府県知事の認可を受けて都市計画事業を施行することができるものとする。

2. 都市計画事業の用に供する土地等は，収用し，又は使用することができるものとする。

第十　その他

1. 建設大臣の指示等

(一) 建設大臣は，国の利害に重大な関係がある事項に関し，必要があると認めるときは，都道府県知事に対し，又は都道府県知事を通じて市町村に対し，期限を定めて都市計画区域の指定又は都市計画の決定等のため必要な措置をとるべきことを指示することができるものとする。この場合においては，都道府県知事又は市町村は正当な理由がない限り，当該指示に従わなければならないものとする。

(二) 前号の指示については，次項第1号，第二号及び第五号を準用するものとする。

(三) 国の行政機関の長は，その所管に係る事項で国の利害に重大な関係があるものに関し，第一号の指示をすべきことを，建設大臣に対し要請することができるものとする。

(四) 建設大臣は，都道府県知事又は市町村が所定の期限までに正当な理由なく第一号により指示された措置をとらないときは，正当な理由がないことについて都市計画中央審議会の確認を得たうえで，みずから当該措置をとることができるものとする。ただし，市町村がとるべき措置については，建設大臣がみずから行なう必要があると認める場合を除き，都道府県知事をして行なわせるものとする。

(五) 都道府県知事は，必要があると認めるときは，市町村に対し，期限を定めて都市計画の決定等のため必要な措置をとるべきことを求めることができる。

(六) 都道府県知事は，都市計画の決定等のため必要があるときは，みずから，又は市町村の要請に基づいて，国の関係行政機関の長に対して，都市計画区域に係る国の計画の策定等について申し出ることができるものとする。この申出があった場合には，関係行政機関の長は，当該申出に係る事項について決定し，その結果を都道府県知事に通知しなければならないものとする。

2. 他の行政機関等との調整等

(一) 建設大臣又は都道府県知事は，市街化区域に関する都市計画を定め，又は認可しようとするときは，あらかじめ，農林大臣と協議しなければならないものとする。

(二) 建設大臣は，市街化区域に関する都市計画を定め，又は認可しようとするときは，あらかじめ，通商産業大臣及び運輸大臣の意見をきかなければならないものとする。

(三) 厚生大臣は，必要があると認めるときは，市街化区域及び用途地域に関する都市計画に関し，建設大臣に意見を述べることができるものとする。

(四) 臨港地区に関する都市計画は，港湾管理者の申し出た案に基づいて定めるものとする。

(五) 建設大臣は，都市施設に関する都市計画を定め，又は認可しようとするときは，あらかじめ，その設置等について免許，許可，認可等の権限を有する国の行政機関の長に協議しなければならないものとする。

(六) 建設大臣，都道府県知事又は市町村は都市施設に関する都市計画を決定しようとするときは，あらかじめ，当該都市施設を管理することとなる者等に協議しなければならないものとする。

3. 農地法の改正

農地法の一部を改正して，農林大臣との協議がととのって指定された市街化区域については，農地の転用の許可を要せず届出をもって足りるものとする等の措置を講ずるものとする。

4. 土地基準の設置

都道府県又は指定都市は，第八2の買収請求及び第八3の先買いによる土地の買取りを行なうほか都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施工区域内の土地，工場跡地の買取りを行なうため，土地基金を設けることができるものとする。

5. 税制上の措置等

国又は地方公共団体は，都市計画の適切な遂行を図るため，市街化区域内の土地について，その有効な利用の促進及びその投機的取引の抑制に関し，税制上の措置その他の適切な措置を講ずるものとする。

6. 生活再建のための措置

都市計画事業の施工に必要な土地等を提供したため生活の基礎を失うこととなる者は，施行者に対し，替地の取得，職業の紹介，指導等の生活再建のための措置の実施のあっせんを申し出ることができるものとし，旅行者は，事情の許す限り当該申出に係る措置を講ずるように努めるものとする。

7. 国及び地方公共団体の援助

国及び地方公共団体は，市街化区域内における良好な市域地の開発を促進するため，市街化区域内において開発許可を受けた者に対する必要な技術上の助言又は資金上その他の援助に努めるものとする。

8. 都市計画中央審議会等

建設省に建設大臣の諮問機関として都市計画中央審議会を及び都道府県に都市計画地方審議会を設置し，並びに開発行為に関する不服申立てに対する裁決等を行なうため都道府県に開発審査会を置くものとする。

9. 施行期日

この法律は，別に法律で定める日から施行するものとする。

10. 都市計画法等の廃止

都市計画法及び住宅地造成事業に関する法律を廃止するものとする。

（都市計画法要旨おわり）

気品と風格のあふれる床材

日本の感覚 三星"M"タイル



風格あるビルづくりに——いままでにない、〝気品のある床材〟みなさまには初お目見えの色と模様です。いつまでもアキのこないのが特長です。風格あるビルづくりにぜひ欠かせません。

優れた品質と性能で——ますます高級化する最近のインテリア・デザインが求めていた床材。プラスチック床材でいちばん経験の深い田島応用化工。その優れた技術と経験でついに登場させました。

●色と模様は12種類—豪華な見本帖を用意しております。ハガキにてお申し込みください。

三星プラスタイル"P"の

田島応用化工株式会社

東京／千代田区岩本町3—11　TEL 866—6101(代)　大阪／西区京町堀1—74　TEL 441—5951(代)

読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には規定の稿料を差上げます。

□「都市アクセサリー」について□

都市アクセサリーとは何か。それは，どのような現状認識から取り上げられ，その研究の目的は何であろうか。僕は最近，都市アクセサリーという言葉を聞き，同時に十数枚の写真を見せてもらった。その夜に考えたことを，主として，もう一度考えなおしてみた。その間，他の人の意見も聞いてもいない。従って，考え足りない点も多いだろうし，はっきりと考えがまとまらない点もある。しかし，あえて掲載させていただくのは，われわれが都市アクセサリーという言葉を聞いたり，または何かの本で読んだりしたときに，考えるであろう一つの意見を出して，何かの参考にしてもらおうと思ったからである。また都市アクセサリーという言葉は軽卒な感じもするが，都市計画が重要視され，われわれの未来の夢となり，デザイナーばやりの今日，魅力ある言葉でもあり，いずれ都市アクセサリーという言葉が拡がり，そのデザイナーなる者も出てきそうな気もするから，一つの意見を出してみるのもよいと思ったからである。

都市アクセサリーの根本は，都市化と諸々の都市施設の問題であろう。都市化，これはこのような現象が広汎に起こりつつあるばかりでなく，皮肉にいえば，これを扱った新聞，雑誌，週刊誌の類，専門誌の情報も都市化に劣らず増大している。都市化の急激さと都市施設の不足は，特に都市化へのシステムがない所に多く存在するであろう。都市施設は現在不足しているばかりでなく，アンバランスである。交通手段・マーケット・教育施設・娯楽施設・上下水道の完備などによる便利さは密住を促進するが，一方それらの施設により，都市生活は可能であり，快適なものとなる。それに，都市へ流入した人々は，都市の魅力みたいなものを求めてやってきた人々もあろうが，厳しい経済条件（地域経済の不均衡発展，第一次・二次・三次産業就業者数の変化等）のもとに，生活の糧を求めてやってきたのだ。その子供たちは都市で生まれ，都市で育つ。けれども，現在の都市化現象も，将来の都市の方向も，まだ明らかでない。このような都市化の状態で，都市アクセサリーを取り上げるのは，現在の都市の中に，また未来の都市の中に，美しい空間，豊かな生活があることを発見または予見している人・デザインに目がない人・混乱した都市をせめてアクセサリーででも美しくしようとする人などであろうか。都市アクセサリーという言葉は，大体の見当はつくが，考えてみるとちょっと途惑ってしまう。アクセサリーを手持ちの国語辞典によれば，「①ブローチ・ハンドバッグ・服装の調和をはかるための装飾品，②カメラなどの付属品」，同じく英和辞典によれば「不属物・不帯物」とある。前者の辞典によれば，必ずしもなくてもよいが，あるときれい，また楽しくなるもの，後者では必要なもの，必要ではないが付いているものの両者を含むであろう。具体的にいえば，道路では，道路標識・街灯・電柱電線・ガードレール・電話ボックス・消火栓など，公園・広場では，ベンチ・塵箱・噴水・夜間照明器具などである。なぜ途惑ったかといえば，まず第一に，都市アクセサリーと呼んでいるが，それは，都市生活のため，生命の安全のために，必要欠くべからざるものであり，次に，例えば都市供給施設では，個々のデザイン・機能より，全体のシステムの検討が重量であること。第3に，都市アクセサリーはアンバランスで，最低水準を満たさないところが多く存在していることなどによる。おそらく，問題の取り上げ方，研究の仕方について議論が分かれることであろう。そこで，僕の気づいた点を簡単に述べると，(A)都市アクセサリーも，都市生活・都市の方向を探しながら考えねばならない。(B)都市アクセサリーは，都市の生活に欠くことができないものが主で，ある水準の段階に達することと，その水準の向上に努める必要がある。(C)都市アクセサリーの設置（者），管理（者），享受（者）に各々問題があり，それら三つがうまくいかなければ，満足すべき都市アクセサリーとならない。(D)デザインの問題，都市アクセサリーは，本来機能的なものであり，広場関係のアクセサリーから電線・マンホールに至るまで，デザイン的な配慮に巾があること。(E)享受者はもちろん市民であるが，都市施設を当然とし，慣れっこになっており，生活の中で気づかれないものが多い。また道路標識を見る人は目的地のことを考えているし，公衆電話を利用するときは何か用があるときであり，街灯のある夜道を帰るサラリーマンは，会社や家のことを考えているというように，本来何らかの行動をしながら利用するものである。立ち止って観賞することは少ない。以上のようなものであるが，研究の最初の段階としては，都市アクセサリーを広く考えて，広く資料を集めて分類することにも意義がある。その分類の仕方の1つとして，

①進んだ都市アクセサリー

②見捨てられた都市アクセサリー

③遅れた都市アクセサリー

①は進んでいてよろしいというのではない。高速道路・ニュータウンの近隣センターなどわれわれの生活の進歩より速いと思われるもの。あるいは技術革新，前衛的なもの。

②は消えてゆくアクセサリーであり，保存などすべきもの。日本の古い伝統など現在に活かすべきもの。

③はデザイン的考慮がなく，工夫の余地があるもの。

①②③と分けて，それぞれ改善または創造により都市アクセサリーを向上させてはどうであろうか。しかし，一口に向上といっても，資料の収集分類は初期の段階であり，次の段階に進むには，都市施設・マスタープランなどについて相当突っ込んだ研究をやらないと進展しないであろう。しかしまた，膨大な都市問題を前に立ちすくんでもならないと思う。今日示されている高層化した都市計画も味気ない点が多いし，生活様式・空間・諸施設にしても付け加えるべき点が多いと思うし，それは現在の都市生活から発見または創造されるであろう。すなわち，国土計画・地域計画・都市計画と生活により密接した生活空間との両方の進歩があって，豊かな都市ができるであろう。都市アクセサリーの問題も同じく，両面から考えねばならないと思う。

（兵庫県営繕課　**松尾　久**）

□明治建築土木史年表・関西篇（その21）（明治11年9月6日～8日）□

明治

11年9月6日　華族会館のメンバー協議して，会員の妾を邸外に囲うことを禁じ，必らず邸宅内別邸に囲い，また正妻のない者は妾の一人を正妻にすべきこととする。この当時なりの矯風運動であり，四民平等の理想の現われだが，現実には平民の娘の妾を慌てて士族の養女にしてから縁組みしたという。それでも当時としては画期的なことだったろう。

〃　〃　〃　東京横浜間鉄道に「往返切手」創設。上等（1円50銭）中等（1円）のみ。下等（後の3等）はなし。

〃　〃　7日　国産フランネル，紋羽織，木綿の輸出品を無税とする。

〃　〃　〃　青森県第二課が製造したレーフル・ダラン（鱈の肝油）を内務省衛生局で試験して，舶来品に劣らず，廉価で便利であると折紙をつけた。

〃　〃　〃　伏見歓月橋畔，字東申場で花火大会。径6，7寸，長さ5寸～1尺2寸の大玉だけで115本。近在よりの見物おびただしく，同地の旅屋，料理屋のかきいれだったという。

〃　〃　〃　内務卿伊藤博文，各府県にコレラ流行の際の臨時費は各地の流行状況に応じてその都度支出を指令するから，それまでは明治8年太政官達第49号に照準処分するようにと達す。

〃　〃　8日　従五位木戸正二郎，京都と山口の墓参を済ませ，帰京。正二郎の父は木戸孝允。前年5月26日歿。

（東京都北区神谷2ノ22ノ13　**須藤欣二**）

衛生設備器具は

すまい設計での大切なポイントです

「明るく清潔な住い」をテーマに50年、東洋陶器は、洗面所・お台所・トイレ・浴室など、毎日たくさんの水を使い、「明るく、清潔」なことが最も強く要求される衛生設備器具について、数多くの優れた製品を生み出してまいりました。

※さわやかな朝に……

洗面器・メディシンキャビネット化粧鏡

※快適な「水洗式トイレ」に……

腰掛便器・和風便器・小便器・手洗器

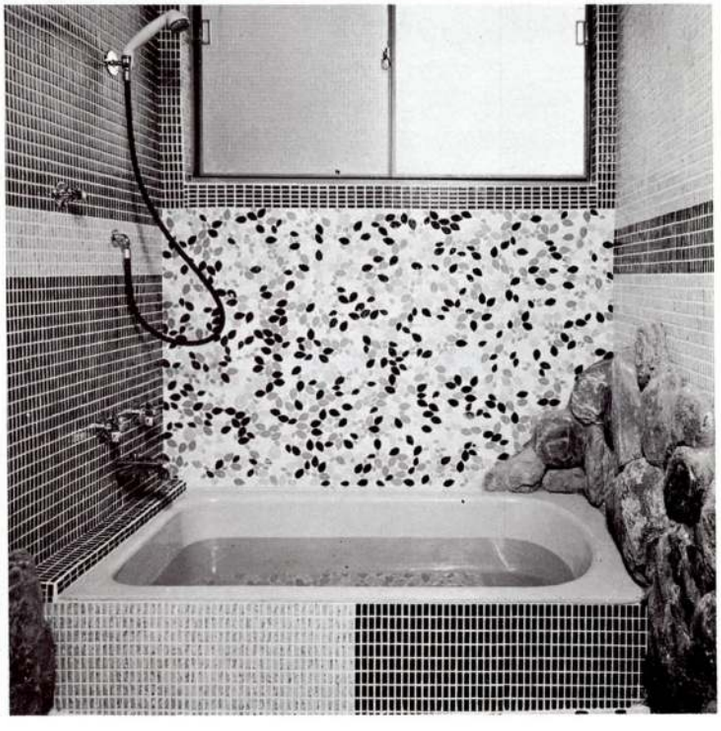
※一日の疲れをいやすお風呂に……

トートライトバス・ホーローバス・外焚用・内焚用ガス釜

など、暮しを豊かにする「住いの衛生設備器具」のことなら、すべて東洋陶器におまかせください。







衛生設備器具総合メーカー

Toyotoki

洗面所／トイレ／浴室用の衛生設備器具について
詳しくはお近くの営業所・取扱店でご相談下さい。

東洋陶器

本　社　北九州市小倉区篠崎町４５８　TEL（093）53－5151

営業所　東京・大阪・名古屋・北九州・広島・高松
札幌・仙台・富山

建築と社会

ニュース

ニュース原稿をお送りください。

■ 公団新千里東町団地（万博関係外国従業員宿舎）

所在地：豊中市新千里東町２丁目（千里ニュータウンＪ住区）

敷地面積：約10ha

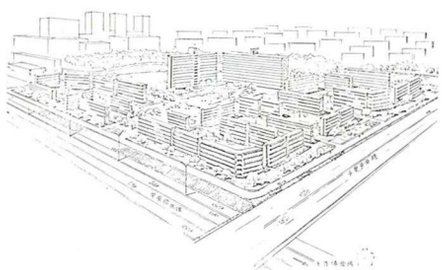
団地名：新千里東町団地

計画条件：当団地は高層住宅約600戸，中層住宅約800戸の中高層混合団地として計画された。施設関係については，千里ニュータウンのマスタープランに計画されている中央地区センター，近隣センター等に依存し，団地内施設は集会所，管理事務所とその周辺の広場，プレイグラウンド，遊び場等である。住宅のうち中層約800戸は万博関係外国従業員（約2,000人）の宿舎として昭和44年10月（開会５カ月前）から45年10月（閉会後１カ月）まで仮使用され，その後は公団賃貸住宅にきりかえられる。公団住宅の標準タイプのうち，タタミ床を板床，便所面積の増加等の考慮がはらわれたが，仮使用後畳敷に修復する予定である。

設計主旨：万博関係外国従業員の宿舎として約１年間使用されるが，外人の生活様式を考慮して住戸内の設計について従来の公団標準タイプの多少の変更は必要であったが，住宅地としての団地構成については特に万博を意識しなかった。なお当団地の最も大きなテーマは，中高層混合団地であるということであった。中層と高層をいかにかみ合せて均質な居住空間をつくり出すかということであった。一つの住宅団地の計画にあたって，中層群と高層群が異質なものとして対立してはならない。このことを強く意識して，高層をセンター広場の空間構成の要素として積極的に公共スペースに参加させ，高層１棟と中層１グループを対応するものとして意図した。中層グルーピングは囲み型配置を原則とし，かつグルーピング間の連続性，囲まれた空間の柔軟性，画一性からの脱却等を留意した。千里ニュータウンの中に建設してきた公団住宅は10,000戸になろうとしている。この過程で一貫して追求されてきた配置手法は，種々の制約条件を受けながらも団地という居住空間の質をいかに高めていくかということであった。住棟による外部空間の創出は，共同スペースの性格づけと直結するものであり，従来の平行型配置から囲み型配置への移行は共同スペースのより高次な共同性の獲得ということを目指してきた。そのために住棟としては南北軸住棟や通り抜け住棟が開発されたし，住棟によって囲まれた中庭の性格づけについても変化してきた。当東町団地はこれらの成果に立って，ある意味ではこれらの総合的な配置手法を展開したものといえる。

設計概要一覧表

土地利用区分	面積	土地利用率	備考
	㎡	%	
高層用地	23,000	22	建設戸数，配置は未定，容積率145%程度
中層用地	68,000	66	878戸，容積率61%，１戸平均床面積52.03㎡
公共用地	10,000	10	センター広場5,000㎡，プレイエリヤ3,000㎡，プレイグラウンド2,000㎡
その他	2,000	2	パーキング　戸数の10%程度(中層)20%程度（高層），法面等
計	103,000	100	団地外周道路(W=12m)7,000㎡は大阪府企業局によってつくられる



■ 住宅の冷暖房はシステムで考えよう

M電器産業では，このたび６種のクーリングタワーの新発売により，家庭のセントラル空調設備に関する全機種がそろったのを機会に“家庭の冷暖房はシステムで考えよう”と３つのナショナルセントラル冷暖房システムを発表した。

（１）本格的セントラル冷暖房方式として，ナショナルファンコイルユニットシステム。

（２）セミ・セントラル冷暖房方式（主要な部屋を冷暖房，その他は暖房と給湯）としてナショナルベストエアーシステム。

（３）セントラルヒーティングとして，ナショナル温風暖房機（オートヒーター）システム。

これらのシステムでは，ナショナル独特の冷暖房機ベストエアーを効果的に使ったセミセントラル冷暖房システムが特に興味深い。

ベストエアーは，温水ヒーターと水冷式の冷房機を１台に内蔵した冷暖房機で，デザイン的にもすぐれ，配管上からもスムースにいく。このベストエアーで居間とか寝室といった毎日の生活に大切な部屋だけを冷暖房し，他の部屋は温水暖房機（オートヒーター）で暖房するのがセミ・セントラル冷暖房のベストエアーシステムである。



必要な設備機器は，ベストエアー，温風暖房機（オートヒーター）のほか，暖房・給湯源としての自動給湯機（オートホット）とポンプだけで，チリングユニットとかクーリングタワーの必要はない（ただしベストエアーを３台以上使うときはクーリングタワーが必要）。このベストエアーシステムはどの程度の費用でできるのかについて，ナショナルから資料がでているので参考までに示す。７部屋ある家（２階建，新築）の２部屋を冷暖房，他は暖房のみとする。

○ベストエアー２台	514,000円
○温風暖房機（オートヒーター）６台	157,800円
○自動給湯機（オートホット）１台	225,000円
○シスターン	9,900円
○ポンプ１台	29,300円
合計	936,000円
○工事費（概算）	420,000円
○したがって設備費総計	1,356,000円

また部屋数の少ないときなど，ベストエアーを全室に使えば，完全な個別コントロール冷暖房ができることになる。経費的にも４部屋程度までなら有利といった数字もでているようである。（H）

書評　「建築生産論」　藤井正一郎著　B６版 190頁 発行 理工図書KK ¥1,000

建築生産論というテーマは，誰もがとりあげたくなるテーマだ。それは“建築とは何か”ということを考える場合に必ずいきあたる問題であるからだ。それだけでなく，こんにちの複雑な社会の生産機構にあっては，建築をつくりだす全過程が問われなければ，建築設計も建築施工もその占める位置なり意義は何も分らないからである。いくつかの論者は，この問題にとりくんできたし，またとりくんでいる。しかし，とりわけ著者をして，他の論者ときわだってユニークにさせているのは，また著者が執ように追求しようとしているのは，「建築創造のあり方」であろう。本書の特色はこの建築創造という立場をふまえて，建築の生産過程をみようとしている点にあると思われる。設計行為というものの建築生産過程での正しい位置づけを試みている点は敬服に値する。なかでも設計の組織化の方向のなかに，組織を一つの装置として捉え，情報交換装置としてのメカニズムをつくりだしていく一方，その同じ組織構造のなかに，「非定形な関係と非公式な慣行」という非合理的なものをつくりだしていくことの必要性を論じている。このプラウのいうところの「非定形な関係と非公式な慣行」はどういうものか……。この点が著者に一番興味があるところらしいし，また，どのような建築家が，この非合理的なものと，情報交換装置としての合理的なメカニズムと，どう統一させていくか……本書はまさにこの点に鋭い問いをなげているのである。（M）

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



京橋高層分譲住宅

設計　大阪市住宅供給公社
施工　佐藤工業株式会社
使用場所　外壁、間仕切

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



361．兵庫県私学会館

設計・施工：株式会社竹中工務店
a．神戸市生田区北長狭通4丁目1の34
b．671.32 m²
c．3,104.78 m²
d．RC，4F，B1
e．昭和42年1月～昭和43年2月



362．伊勢志摩ビーチホテル〝池の浦荘〟

設計：彦谷建築設計事務所(建築)
全日本コンサルタント㈱(土木)
施工：大成建設㈱、大日本土木㈱共同企業体
a．三重県度会郡二見町池の浦
b．1,629 m²
c．6,333 m²
d．RC一部SRC，B2，5F，P2
e．昭和42年4月～昭和43年3月
特徴：地盤が悪くラップルコンクリート基礎



363．印刷機械貿易株式会社

設計・施工：矢島建設株式会社
a．寝屋川市豊里町460
b．1,246.2 m²
c．2,514.1 m²
d．S，2F(一部3F)
e．昭和42年10月～昭和43年5月



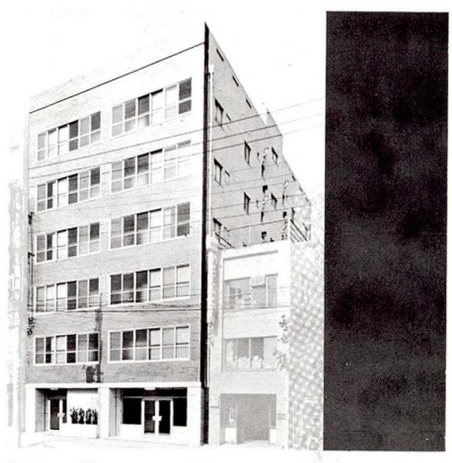
364．日本文化会館

設計：彦谷建築設計事務所
施工：株式会社　大林組
株式会社　松村組
a．大阪市東区北浜3の41
b．289.09 m²
c．3,200.17 m²
d．SRC，9F，B2，P2
e．昭和42年7月～昭和43年7月



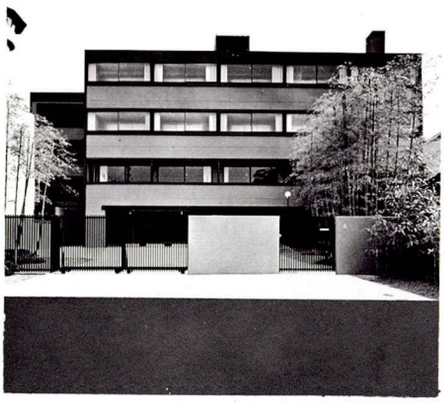
365．甲子園競輪場

設計：鈴木旭設計事務所
施工：株式会社　浅沼組
a．西宮市南甲子園1丁目8番地33号
c．10.766 m²
d．SC，3F(2棟)，4F(1棟)
e．昭和42年3月～昭和42年12月



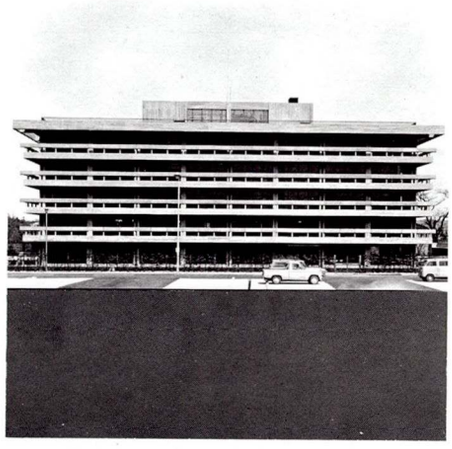
366．柳田ビル

設計：大日本土木㈱大阪支店
一級建築士事務所
施工：大日本土木㈱大阪支店
a．大阪市天王寺区生玉前町29
b．247.50 m²
c．1,573.29 m²
e．d　RC，6F，P3，
e．昭和42年9月～昭和43年6月



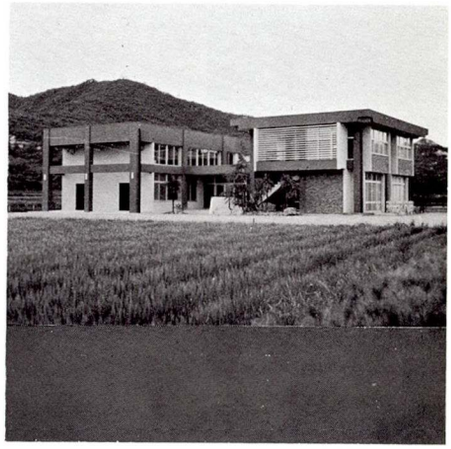
367．関西電力共済会館京都支所

設計施工：株式会社竹中工務店
a．京都市左京区岡崎円勝寺町23～2
b．360.2 m²
c．1,471.2 m²
d．RC，4F
e．昭和42年11月～昭和43年7月



368．奈良合同庁舎

設計：近畿地方建設局
施工：株式会社　浅沼組
a．奈良市登大路町2番地
b．642.4 m²
c．3,914 m²
d．RC，B1，5F，P1
e．昭和42年6月～昭和43年3月



369．上三草公民館

設計：村岡実一級建築士事務所
施工：三草建設
a．兵庫県加東郡社町上三草418
b．283.9 m²
c．339.06 m²
d．RC，2F
e．昭和42年9月～昭和43年4月

月星印 ペンタイト

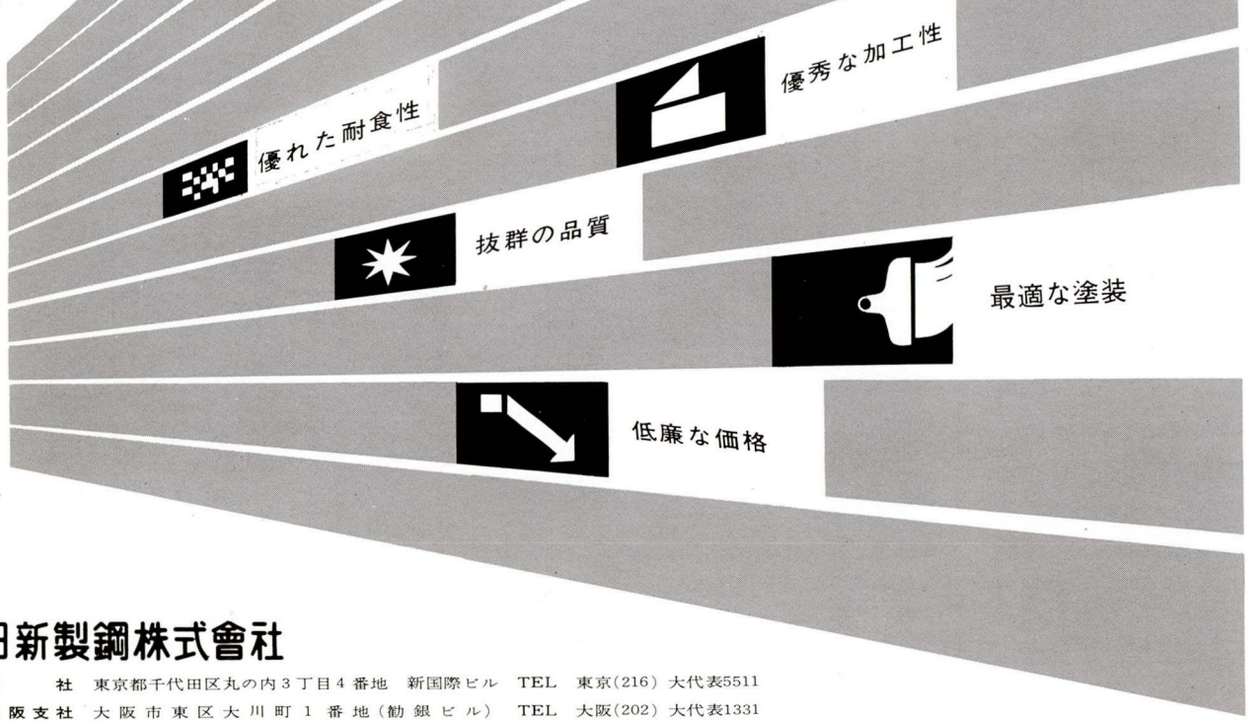
現代建築が〝選ぶ〟日新の新製品
<ペンタイト>

ペンタイトは、当社独自の技術で開発した特殊亜鉛メッキ処理鋼板です。特に湿気の多い我が国では、常に、鉄の錆になやまされていますが、これを一気に解決したのが、月星印ペンタイトです……

1．腐食の心配がいりません……
2．加工性に富んでいます……
3．品質がすぐれています……
4．塗装に最適です……
5．コストダウンをもたらします……

NISSHIN STEEL

PAINTITE



日新製鋼株式會社

本　　社　東京都千代田区丸の内３丁目４番地　新国際ビル　TEL　東京(216) 大代表5511
大阪支社　大阪市東区大川町１番地(勧銀ビル)　TEL　大阪(202) 大代表1331
名古屋支店　名古屋市中村区笹島町1丁目221番地２(豊田ビル)　TEL　名古屋(582) 代表6061
営 業 所　札幌 (24) 7524 ・ 広島 (47) 9456 ・ 八幡 (67) 4235 ・ 福岡 (28) 5304



クラスメート

41

〔旧京都市立第一工業高校
（現洛陽工業高校）昭和10年卒〕

前列左より（敬称略）

岡本　博介（ＫＫ大林組尼崎工事事務所長）
入江　武郎（ＫＫあめりか屋専務取締役）
黒谷　俊一（日本住宅公団大阪支所　豊中営業所長）
長澤　孝（京都工芸繊維大学施設課営繕係長／学校法人京都建築工業学校講師）

後列左より

桃井喜三郎（京都市立伏見工業高等学校定時制）
伊藤　市蔵（国鉄吹田工場設備課主幹）
土手　孝（ＫＫ竹中工務店大阪本店作業所長）
松室　重真（松室建築設計事務所長）
中島　貞吉（中島建設工業ＫＫ代表取締役）
生田　善夫（ＫＫ生田工務店取締役）

京都国際ホテルにて

母校、旧京都市立第一工業学校（現洛陽工業高校）は明治28年、市立染織講習所として設立され、建築科はもっとも遅れ、もっとも早く消滅した学科である（創設、大正14年、昭和27年現市立伏見工高へ移る）。建築科卒業生は24回約780名で、現生存者約650名が全国で活躍中である。われわれ昭和10年卒生は猪建会として横の連絡をとりつつ現在に至っているが、総勢33名中、生き残り20名で、戦争の最大の被害クラスである。この機会に同窓物故者の御めい福を改めてお祈りいたしたい。

伊藤はクラス一番のノッポ。野球部のエースとして京商沢村投手と京都予選で張りあったサウスポー。野球にひかれ国鉄鷹取工場から都市対抗に出たのが自慢。

生田は神戸市役所－大谷重工－兵役、復員後は建設会社を経て、現在神戸で自営。

入江、終始あめりか屋に勤め、マジメ人間でとおる。級友中一番大きい子供さんがある筈。

岡本、これもマジメで大林組一本。小唄、麻雀（この方は仕事より）を得意とする。これでマジメ人間で通っているのはアッパレ。

黒谷は趣味多彩、在学中は音楽部でクラリネット（？）を奏し、また油絵の行動美術入選作あり。京都府庁で古建築→大阪府庁→応召→戦後住宅公団。

土手は平凡中の平凡、取得のない人格者。竹中工務店一本槍。

中島、目立たない存在だったが、戦後はめきめき芽を出し、京都建設業協会の中堅どころ。日曜日には、同級の松室・長沢をつれて魚釣りに行く。その他ゴルフに堪能。

松室は長谷部・竹腰建築事務所、海軍徴用、戦後山下寿郎設計事務所を経て独立。目下、川釣りに夢中である。

桃井は勉強の虫でなかなかの努力型。鮮鉄就職、兵役後18年改めて名古屋高工に入学している。現在若人を教えるに生きがいを感じている。

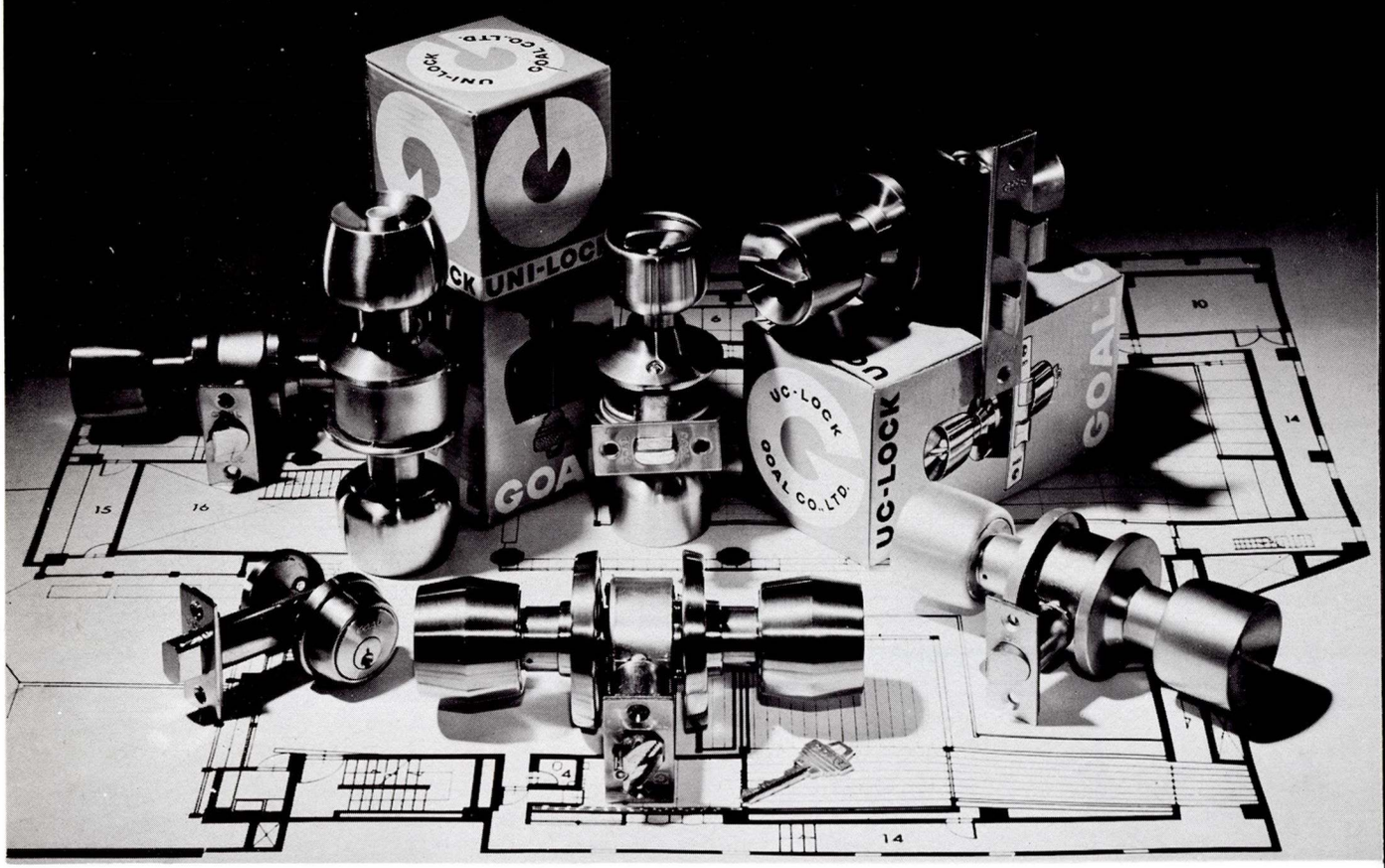
長沢は一番のチビ、気の強いところもあったようで、級友と口論、ナイフで左指を傷つけられたこともあった（被害者でも加害者でもなし、自分でかって出た結果）。渡満、応召、復員後は去勢された状態。

このほか、今井正隆、岡村元二、岡本博吉、片岡市之助、金井考太郎、田中嘉雄、中島新一郎、彦谷邦一、山岡弘人、湯川幸男の名氏が活躍中。（長澤記）

GOAL®

〝信頼〟のシンボル

豊富な品種も自慢のひとつです

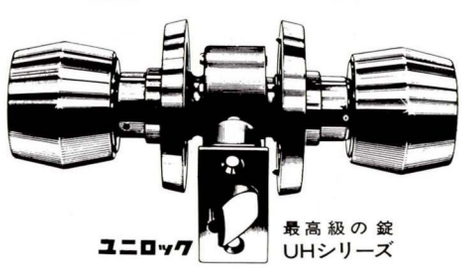


精密さ・堅牢さ・美しさ
三拍子揃ったユニロックは
信頼のできる錠(ロック)です

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く
評価されているからです

建設省・日本住宅公団・日本電信電話公社
各府県市庁・有名建築設計事務所ご指定

G ゴール ドアー ロック



ユニロック　最高級の錠 UHシリーズ

株式会社ゴール

本社・工場／大阪市東淀川区三津屋北通り四－三〇☎(三〇二)一七七一
佐賀工場／佐賀県神埼郡三田川町☎(神埼)三一七七
米子工場／米子市夜見町米子鉄工センター内☎(二)九四七六
東京支店／東京都港区海岸3－17－2☎(四五二)六三四一
営業所／札幌・仙台・静岡・金沢・名古屋・広島・高松・福岡

建築の眼

眉寿

建築界の長老内田祥三先生の眉寿祝賀会が去る７月13日ホテルオークラで催された。主催は先生の作品集刊行会である。会は盛大に行なわれ、先生はますますお元気の様子に伺われた。おめでたい次第であった。

普通長寿の祝といえば、まづ60の還磨、70の古稀、77の喜寿、88の米寿というのが普通である。先生は今年83である。これがなぜ眉寿というのか疑ってしらべてみると次のようなことがわかった。

眉寿は詩経にある。詩経は日本の万葉集に相当する。周の泰平の世に、地方の国々から、お国ぶりを歌った詩が献上され、これを集めたのが国風という篇にのっている。原文は当用漢字にない字が多いから省略するが、その中に年中行事を歌って「６月にはナシとユヅラムメを食う。７月にはアオイとマメをとる。８月はナツメを割る。10月イネをかる。春になってこのイネから酒を作り、もって眉寿をタスク」とある。タスクというのは眉寿のお祝を賑わすことであろう。多分、毎年、村の長老の寿をお祝する年中行事の１つであったらしい。　　（Ａ）

建築家と政界

参議員選挙のほとばしりもすっかりさめ切った昨今だから、勝手なことをいわせて頂いてもいいだろう。我々の建築士会を後援の団体として全国区に出られた快男子のＭ氏、東京地方区の前議員のＩ氏、お二人ともが我々の期待にもかかわらず、落選されたことに反省すべき余地はないのだろうかということを考える。というのは建築界から出馬される場合、自民党のみから公認をえてでるということが常識的になっている姿勢、ないし感覚が問題なのではなかろうか。すでに大都市においては与党は最大多数の国民の支持をえていない。しかもなお与党が完全に政界を支配できるのは選挙制度のからくりによっているからだといえよう。全建築産業に働く人々から見れば、まことに旧い自民党（もっと脱皮してほしいものだが）についてゆけるものは何分の一にしかすぎないのである。わが国において建築家というものが常に体制側に立ってしかものが見られないような欠点は是非改めてほしいものだ。今では引退した一代の革命家スカルノも建築家であり、また戦う南ベトナム 解放民族戦線の副議長フェン・タン・フアットも建築家である　　（Ｂ）

プレハブ組立工

建物全体のプレハブあるいは部分的なプレハブ建築が多く見られる時代になってきたが、このプレハブ部材を組み立てるときに心ず問題になるのは、どの職種にこの組み立てを担当させたらよいかということである。純構造的なプレハブ部材のときは鳶職に担当させることもできるが、化粧的なものあるいは化粧的な構造部材などになると、数多くの職種（鳶、大工、石工、鍛冶工など）を集めて相番で組み立てるようなことになり、労務費節減の実効はあがらず、管理面でも手数がかかり、かえってプレハブ建築をわずらわしいものにしている。これは過渡的な現象としてあきらめざるをえないことかも知れないが、プレハブ部材の組立工と呼ぶ多能的な新職種を養成する必要が痛感される。プレハブ建築にかぎらず、建築は時代と共に少しづつ変化をしていると思うが、それを担当する職種が相変らず三役中心であるところに、考えなければならないいろいろの問題がありそうだ。　　（Ｃ）

健康と長寿

私の在籍してゐるＬクラブの会員74名のうち43名（58パーセント）は明治生れで、更にそのうちの85パーセントは65才迄でいづれも関係会社の代表、または経営者として現在第一線で活躍中の人々である。事業面はもとより、社会的にも、家庭においても、重要な地位と立場にあり、住々にして心身共に酷使する場合が生じ易い。それに順じて求められるのは健康である。

戦後特に 医学全般にわたる著しい進歩により、 我国男子平均寿命68.9年、 男女平均71才以上と最近発表され、全世界長寿国第５位に躍進とは全く驚異のほかない。誠によろこばしいことである。しかし僅かな期間にも知人等を含め他界された方の大半は60才迄という暗い面もあり、誠に悲しい現実である。

過日講演会にて「ヨガ修行場導師沖正弘氏」の話を聞き、すべて人間の悩み、病気など一切の原因は個人の毎日の生活態度、即ち心づかいの結果の現われであり、日常生活の精神面も含めて、正しければ悩み、病気などは全くなく、健康そのもので日々が楽しく暮せると、実例、体験を交えて、自信溢るる話であり、心から共感かつ感銘を受けた。

私の信仰しているＴ教のおしえにも人間みな慾があり、至当の慾はよろしいが強慾、貪慾を慎しみ毎日感謝で暮すことが健康に通じる道であると聞かされている。人生すべからく70才迄は健康で働き、貴重なる体験、経験を活かすことが社会への貢献であり還元にもなる。全く素晴らしいことである。

（Ｄ）

中沢　誠一郎
中沢建築事務所長・工博

上林　博雄
大阪市立大学教授・工博

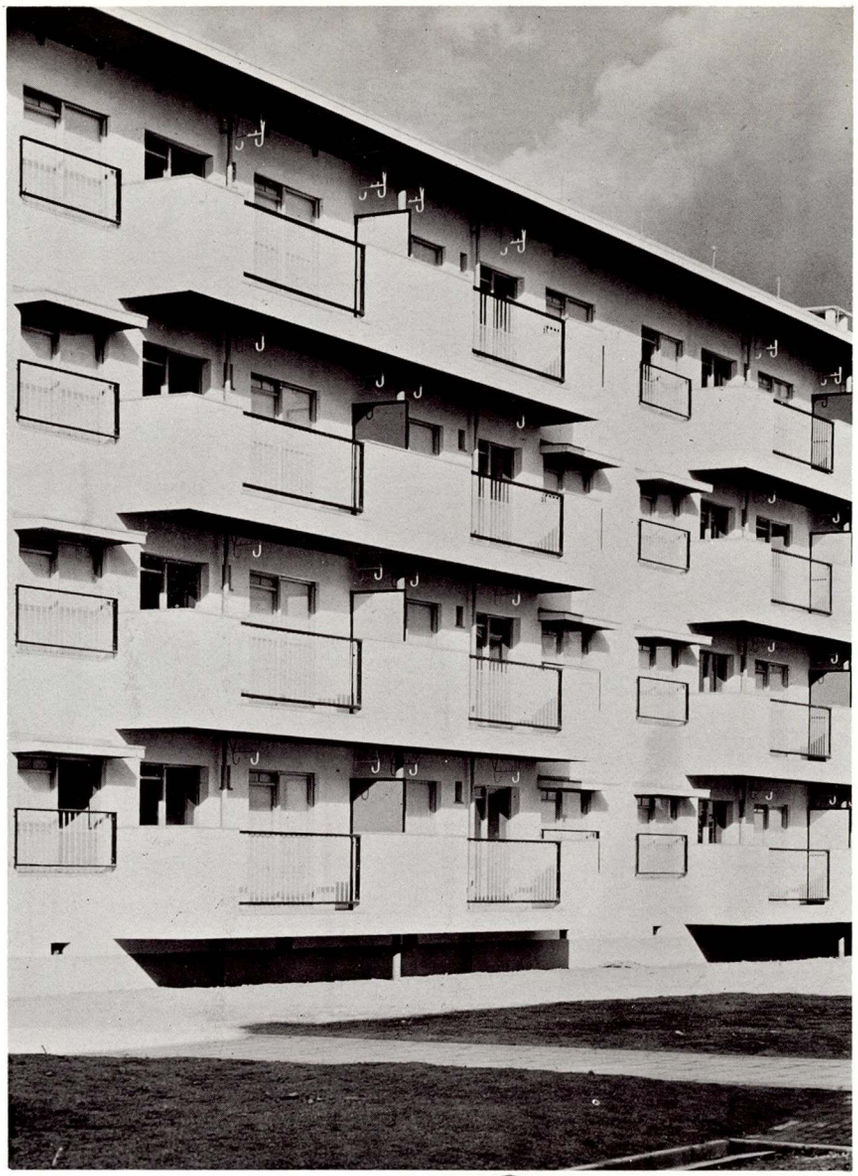
窪田　祐
大林組建築本部技術部長

川岸　繁夫
川岸窯業商店社長



７月号より12月号まで
上記の４人の執筆者で
担当してもらいます。

住宅



きんき

● 400,000枚の生産実績を誇る

プレスドア

防火ドアー



住宅用として開発

きんきアルミサッシ

〔KJ指定メーカー〕

製造元 **近畿車輛株式会社**

本社建材工場　大阪府布施市橋本1番地の1　電話大阪(782)1231代表
所沢建材工場　埼玉県所沢市大字所沢1415番地　電話所沢(22)5101代表

販売元 **近畿工業株式会社**

本　　社　大阪市北区梅ヶ枝町108番地　新梅ヶ枝町ビル　電話大阪(363)3371代表
東京支店　東京都千代田区神田松永町19　東京近鉄ビル　電話東京(255)8271代表
名古屋支店　名古屋市中村区平池町4丁目48番地2　電話名古屋(551)2522
福岡事務所　福岡市大名町2丁目9番地　上野ビル　電話福岡(76)3556

御一報次第カタログ拝送します。

建築と社会

Vol.49 No.10 1968 目次



都市のアクセサリー特集

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山田崇雄

会　告　第2，3回日本の伝統工芸を見る会ご案内・伊奈製陶常滑工場とトヨタ自動車工場の見学会・日本学術会議選挙・建築物安全基準試案に対する意見書提出 …… 3

法令コーナー　都市計画法要旨（その3） …… 5

読者の頁　都市アクセサリーについて・明治建築土木史年表（その21） …… 7

建築と社会ニュース　公団新千里東町団地（万博関係外国従業員宿舎）・書評「建築生産論」（藤井正一郎著） …… 9

スケッチブック　最近竣工の新建築9点（No.361～369） …… 11

クラスメート　41. 旧京都市立第一工業高校　昭和10年卒
（岡本博介・黒谷俊一・長沢孝ほか） …… 13

建築の眼　担当：中沢誠一郎・上林博雄・窪田祐・川岸繁夫 …… 15

海外写真　広漠たる高原にそびえる「ピラミッド」：メキシコシティ
……撮影：恒成　一訓… 19

作品作風　日建設計工務株式会社社屋…… 設計：日建設計工務株式会社… 20
施工：株式会社　間　組
兵庫県民会館…… 設計：監理：兵庫県建築部営繕課… 22
施工：株式会社　竹中工務店

都市のアクセサリー特集

1 都市のアクセサリー
—道路・広場公園・建物に附属するアクセサリーを写真で探る—
Ⅰ．道路に付属するもの（交通・伝達・供給・処理・美観） …… 26
Ⅱ．広場・公園に付属するもの（娯楽・休息・観賞・動物） …… 32
Ⅲ．建物に付属するもの（宣伝・案内・植栽・装飾） …… 36
Ⅳ．季節的・一時的なもの（祭・行事） …… 40

2 特　論　建築・標板……光安　義光… 41
第3回SDA賞（日本サイン・デザイン賞）……サイン・デザイン協会… 44

技術の頁 73.　材料部門：ALCについて（1）
……日本建築協会建材委員会（担当：中邨嘉幸）… 46

建設業界史話19.　屋根葺工史話（4）瓦葺工史話（その1）……宮村　次郎… 50

月　報　日本建築協会月間の動き（昭和43年8月分） …… 53

編集人　松井昭光
印刷　昭和43年10月20日
発行　昭和43年10月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部 300円・送料共

KENTIKU TO SHAKAI No. 10 Vol. 49, Octover 1968

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: T. Yamada

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan
Price: *single copy price* ¥*300*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture *5*
Column for Readers *7*
News for Architecture and Society *9*
Column of New Buildings *11*
Class-mates *13*
Essayes ("Kentiku no Me") ..... *15* — by *Seiichiro Nakazawa, Hiroo Kanbayashi, Yu Kubota, Shigeo Kawagishi*
Photograph: "Pyramid" at the Vast Plateau of Mexico City ..... *19* — photo: *Kazunori Tunenari*

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

Building of Nikken Sekkei Komu Co., Ltd. ..... *20* — Design: Nikken Sekkei Komu Co., Ltd. Construction: Hazama Gumi Construction Co., Ltd.
Hyogo Prefectural Inhabitants Hall ..... *22* — Design: Design Section of Hyogo Pref. Construction: Takenaka Komuten Construction Co., Ltd.

SPECIAL FEATURES IN CITY ACCESSORIES

1 **City Accessories—Photographical Exploration of the Accessories belonging to Road, Public Square, Park, Building**
I. Ones Attached to Road (Traffic, Communication, Supply, Treatment, Beauty) *26*
II. Ones Attached to Public Square, Park (Amusement, Rest, Admire, Animal) *32*
III. Ones Attached to Building (Publicity, Guidance, Plantation, Decoration) *36*
IV. Ones to Seasonal and Transient (Festival, Event) *40*
2 **Special Articles**
Architecture • Sign Board ..... *41* — by *Yoshimitsu Mitsuyasu*
Prise Winning Work of Sign Design Association ..... *44* — by Sign Design Association

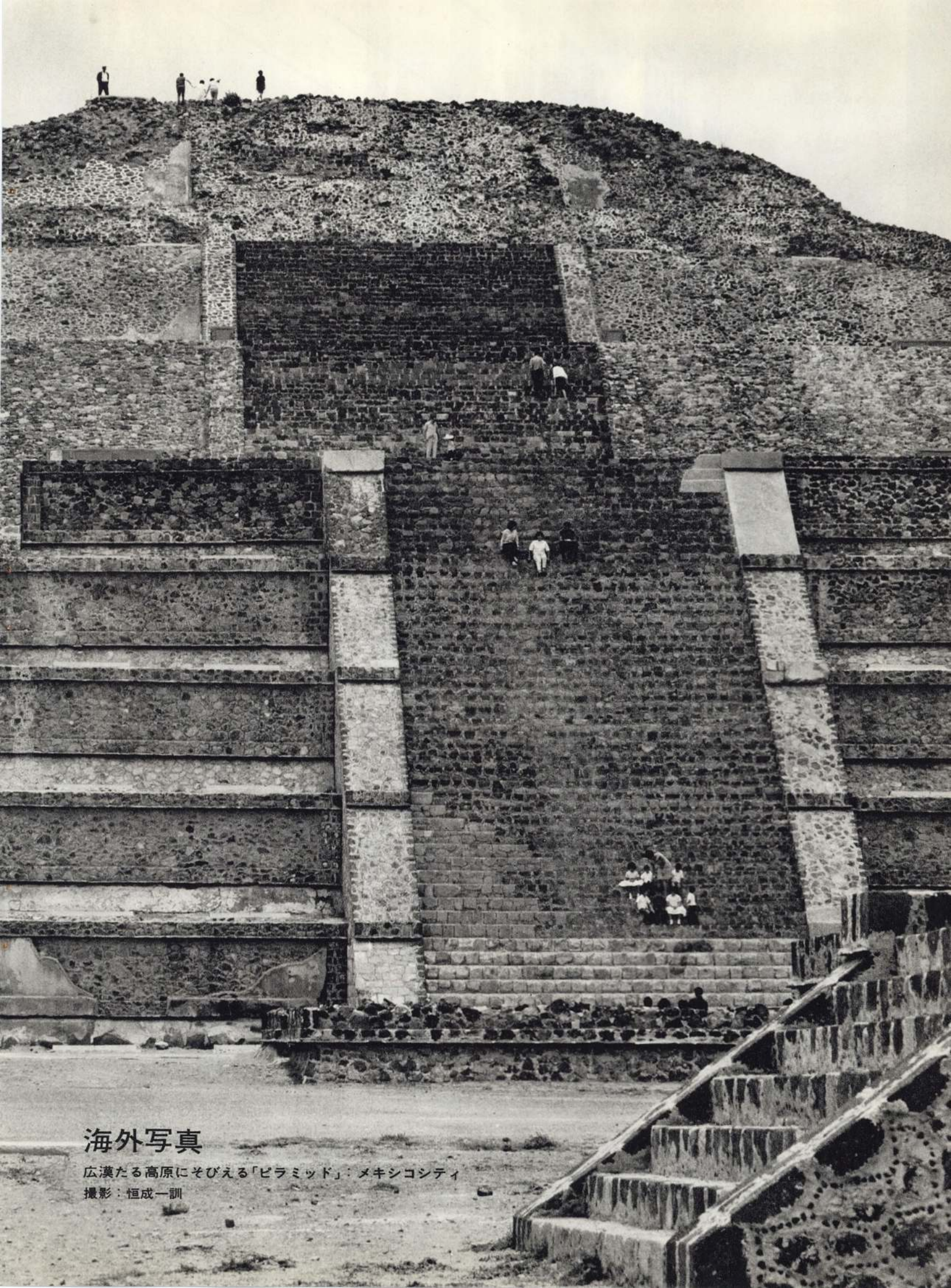
COLUMN OF ENGINEERING

73. Concerning ALC (1) ..... *46* — by *Yosiyuki Nakamura*

HISTORICAL STORY OF THE CONSTRUCTION FIELD

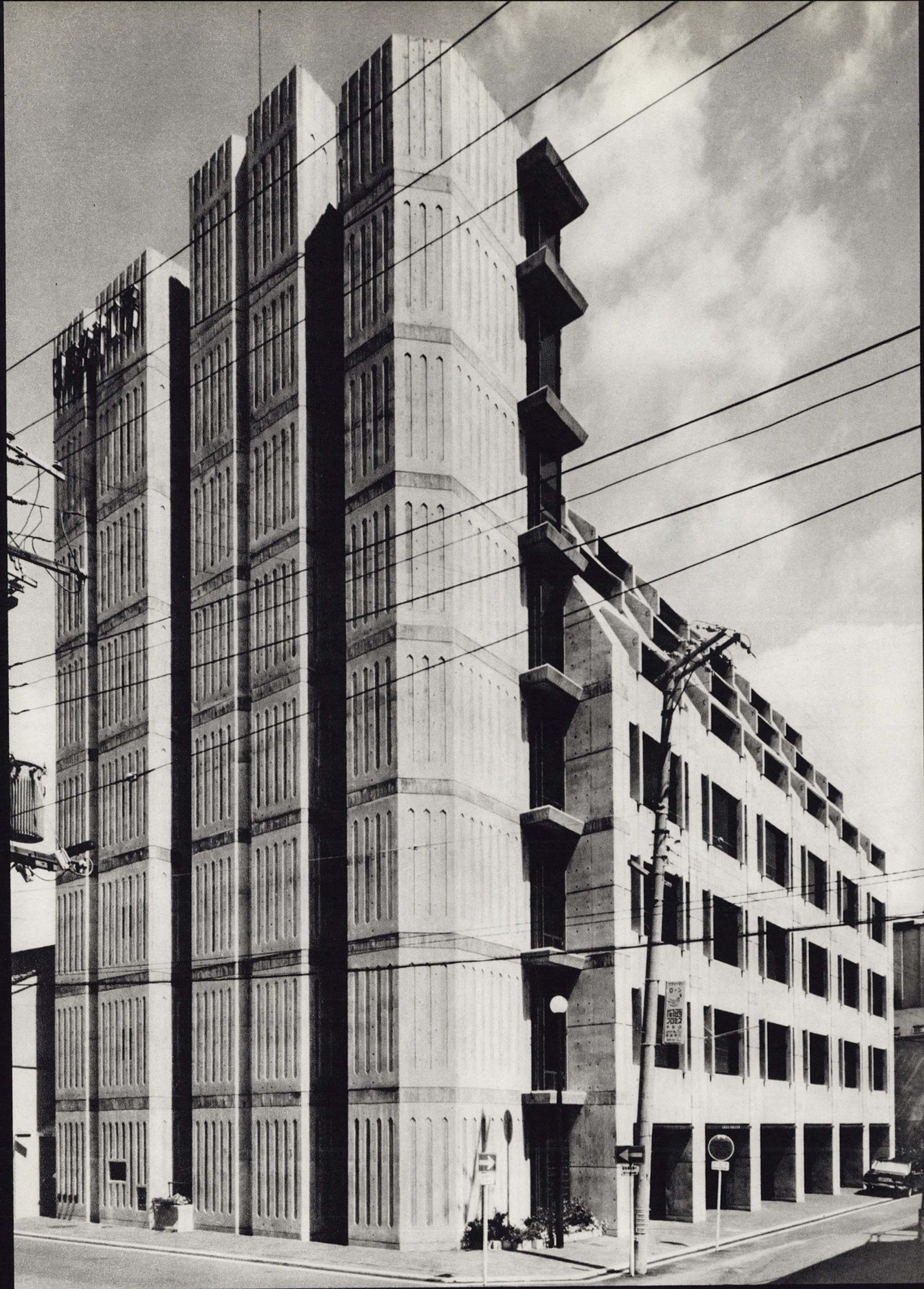
19. Tiler (1) ..... *50* — by *Jiro Miyamura*

BULLETIN *3, 53*



海外写真

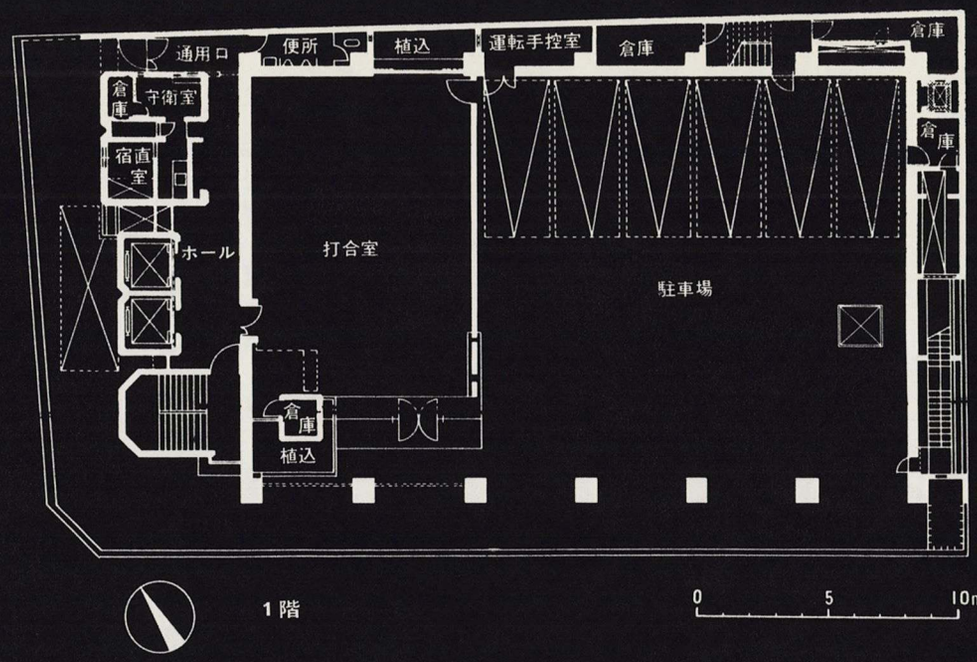
広漠たる高原にそびえる「ピラミッド」：メキシコシティ
撮影：恒成一訓



日建ビル　設計　日建設計工務株式会社　施工　株式会社　間　組

日建ビル

設計　日建設計工務株式会社
施工　株式会社　間　組





1. 工事場所　大阪市東区横堀2丁目12番地
2. 敷地面積　703㎡57（212坪82）
3. 構造規模
   鉄骨鉄筋コンクリート造
   地下1階，地上7階，
   屋上1階
4. 建築面積　569.99 ㎡
5. 延床面積　4140.97 ㎡
   床面積の内訳
   - 地下1階　534.42 ㎡
   - 地上1階　543.55 ㎡
   - 〃 2階　525.13 ㎡
   - 〃 3階　525.59 ㎡
   - 〃 4階　525.61 ㎡
   - 〃 5階　526.03 ㎡
   - 〃 6階　483.31 ㎡
   - 〃 7階　429.24 ㎡
   - 屋上1階　48.09 ㎡
6. 高　さ
   - 1階床高　標準地盤上±0
   - 軒　高　〃　23m000
   - 最高部高　〃　26m000
7. 外　装
   - 屋　根　アスファルト防水
     豆砂利洗出し
   - 外　壁　コンクリート打放し
   - 外廻り建具　スティールサッシュ
8. 工　期
   昭和42年5月～43年8月



兵庫県民会館

設計監理　兵庫県建築部営繕課
施　　工　株式会社 竹中工務店

兵庫県政 100年記念事業の一環として計画された建物で、その記念日に当る昭和43年７月12日開館を目標に、昭和41年８月、６名の係員が約１ヵ月の短期に実施設計をまとめ上げた。この建物は県民福祉施設として広く利用されるよう、郷土物産店、展示場、県民ロビー、資料室、結婚式場、宿泊施設、会議室、大ホール等々、種々の目的に使える建物として設計されたものである。

なお県庁舎周辺整備工事として建蔽率25%を確保するため高層とし、東面に人工台地を設け下部を車庫とし上部を駐車場として利用している。外観も県民に親しまれるよう従来の官庁建物の概念を破り明るいクリーム色を配している。工法として外壁をプレキヤストコンクリートパネルカーテンオールとしたことは、無足場工法を採用し、高所への材料運搬、工期の短縮、危害防止、仕上精度等種々の利点があったことを特記しておく。

（高橋）

敷地位置	神戸市生田区下山手通４丁目
敷地面積	3,739.34 m²
建築面積	1,023 m²
延床面積	15,082 m²
規　　模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下３階、地上14階建
基　　礎	ベタ基礎（杭打なし）
軒　　高	49.700 m
最高部高	50.850 m
基礎下端	－13.000 m
基準階階高	3.400 m
着　　工	1966年10月
竣　　工	1968年７月
工　　費	850,000,000 －
外　　壁	プレキャストコンクリートパネルカーテンオール（人工軽量骨材使用）S・Kタイル吹付仕上

都市のアクセサリー特集

都市の再開発・未来都市等，都市問題の重要性が議論され，また人口の集中化，高速道路の建設等により日々変貌をつづけている都市，この現状の中で都市のアクセサリーに焦点をあてることには問題があるかも知れない。

しかしどのような時点においても，都市のアクセサリーは存在するだろう。案外身近な問題であり，大した問題とは思われないだけに，都市のアクセサリーは見過され，簡単に片付けられているのではなかろうか。

都市のアクセサリーのなかには，必要によって生じたものが多く，アクセサリー的要素として消化されていない限り，都市美化に役立たないであろう。

手近な問題として，これらのアクセサリーについても，もっと建築家，美術家，各デザイナーが，より積極的に提案すべきであり，より都市全体として綜合的にとり上げるべきでなかろうか。

本特集によって，これらがとり上げられるきっかけにでもなればと願っている次第です。

（西村作品作風小委員会主査記）

1 都市のアクセサリー

―道路・広場公園・建物に附属するアクセサリーを写真で探る―

道路に付属するもの（交通・伝達・供給・処理・美観）

広場・公園に付属するもの（娯楽・休息・観賞・動物）

建物に付属するもの（宣伝・案内・植栽・装飾）

季節的・一時的なもの（祭・行事）

2 特論

建築・標板／光安義光

第3回SDA賞（日本サイン・デザイン賞）／サイン・デザイン協会

次号は「第15回青年技術者特集」をお送りします。

都市のアクセサリー

——道路・広場公園・建物に附属するアクセサリーを写真で探る



都市のアクセサリーの範囲をどう考えるか、編集に先立って、各委員は街を歩いて見ることにした。何の打合せもなしに各々がアクセサリーと思えるものを写真に撮って来ることによってこの企画は始められた。

編集方針をめぐって、アクセサリーを、公園・緑地・広場・記念建造物・高速道路などの都市を構成するものと捉える考え方もあった。しかし、今回はこのような大きな捉え方ではなしに、蒐集した写真を道路・広場・公園・建物それぞれに付属するものに分け、さらに個々の物の目的・効果によって中分類とした。その結果、下表のごとく分類された。

また別の見方として、大阪を例にとるならば、大阪駅周辺・中之島・難波というような場所を選択して、そこに見られるアクセサリーという方法も提案されたが、アクセサリーとなるべきものの比較をより明確にするために、あえてその方法もとらなかった。唯アクセサリーといってもその環境を考えて論ぜられるべきであり、その意味で写真にはその場所を記入した。各論で、写真説明を兼ねて個々のアクセサリーについては多少意見は述べられている。しかし全体としては不統一が感じられた。今後の問題として、都市のアクセサリー全体の秀れたプロデューサーの出現が望まれるべきであろう。

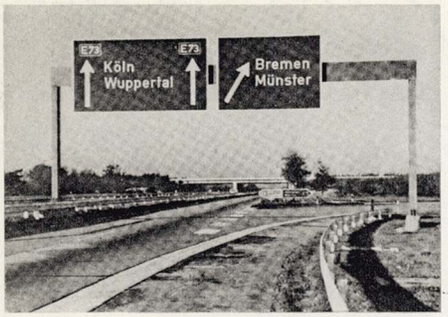
この企画は、写真を主とした現状の報告であって、編集に当ってはできるだけ種類を集めるように心掛けたが、充分とはいえないし、また、写真については主に大阪・神戸・京都・奈良方面に限った。なお、この編集は、作品作風小委員会の42年度委員により始められ、43年度委員によりまとめられたものである。

都市のアクセサリー分類表

〔I〕道路に付属するもの	交通	交通標識・信号・横断歩道・分離帯・安全棚・橋・高速道路手摺・ゲート・ポリボックス・駐車メーター・バス停標識
	伝達	電話ボックス・ポスト・公共案内・観光案内・時計
	供給	街路灯・電柱・電線・消火栓・マンホール蓋
	処理	屑入・吸がら入・排気筒・側溝・公衆便所
	美観	街路樹・緑地帯・植木・花壇・道路床模様・彫刻
〔II〕広場・公園に付属するもの	娯楽	子供用遊具・プレイロット・ボート
	休息	ベンチ・パーゴラ・水呑場
	観賞	池・噴水・花壇・植木・花時計・彫刻
	動物	小鳥・鳩・白鳥・奈良の鹿・鯉・猿・亀・蟬・虫
〔III〕建物に付属するもの	宣伝	看板・広告塔・ネオンサイン・ショーウインドー・ポスター
	案内	建物名・電光板・時計・案内板
	植栽	花台・植木・屋上庭園
	装飾	レエリーフ・噴水・日よけ・グリル
〔IV〕季節的・一時的なもの	祭・行事	提灯・花火・山車・御輿・天神祭の船・選挙ポスター・アドバルーン・メーデー・旗類・鯉のぼり・夜店・門松・クリスマスツリー・ビヤガーデン
	自然現象	雨・雪・虹・夕焼け

42年度作品作風小委員会委員
出江寛、溝神宏至朗、西村源之助、服部卓爾、中村文男、松村芳夫、高木富夫

43年度作品作風小委員会委員
西村源之助、高木富夫、星野三雄、中村文男、寺嶋繁久、山口哲夫、森秋孝、遠藤良介、島村昇、遠藤毅



西ドイツ・カーメン，交通標識橋

交通No. 1

現在の都市問題を考える場合、各都市とも特に大都市での交通問題は大きな悩みの一つであり、その交通量に対処するため交通標識類・信号等も多くなって当然であろう。しかしこの標識類・信号なども現在においては少くとも都市美観の妨げになっている場合が多いように思われる。

標識類の大部分は、車の運転者を対象(❷❹)としたものであるが、目的は注意を促すためのものと便宣を図るためのものとに大別できる。前者は統一されたものが多く、個々のマークもコンパクトにまとまっているが、取付場所に複数のものを一緒に取付ける場合などにもう少し工夫が欲しい(❶❺)。後者の場合は種々様々で、型・色・取付場所なども統一性に乏しく、改良の余地もより多くある(❻)。信号機は最近歩行者専用のものなどもできて便利になったが(❸)、一方複雑な交差点など数が多過ぎて却って困る場合もある。



❶ 大阪梅田新道



❷ 西宮第二阪神国道



❸ 大阪肥後橋



❹ 京都御池通り



❺ 大阪御堂筋

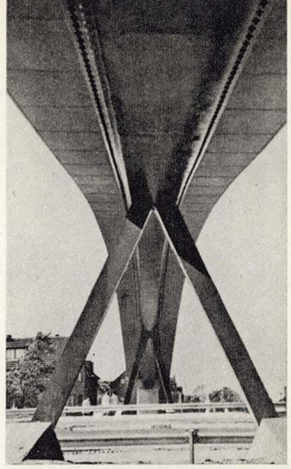


❻ 千里ニュータウン

道路に付属するアクセサリー

交通No. 2

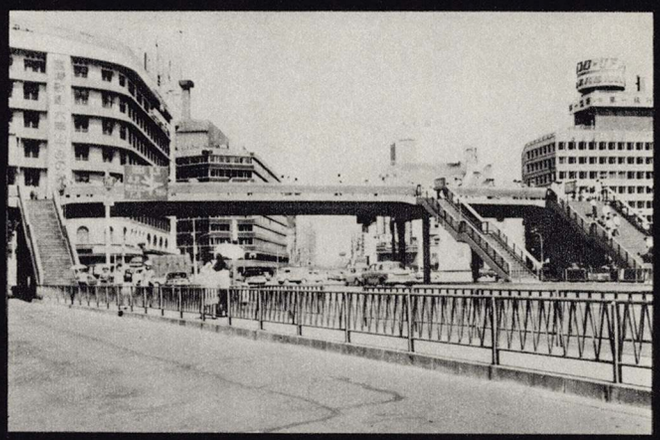
道路の分離帯・柵・歩道橋・ゲートなどは各々の用途の他に都市構成の中のアクセサリーとして美観的にも大きな役割を果している。街路樹・花壇など緑のある分離帯(❶)はその附近全体の雰囲気を良くしているが、柵だけの分離帯などは街を殺風景にしている場合が多い。今後改良したいものである。最近目だって多くなった歩道橋(❷❺)も都市の美観には逆行している場合が多く、また他の建造物に比較して見劣りするものが多い。今後の交通事情を考えると設置数も益々増加すると考えられるので、地下道の採用などももっと多くしたいものである。橋の手摺などは新旧を問わず比較的デラックスなもの(❸❻)が多いので街の美化にも役立っている。高速道路のゲート(❼)や最近の地下鉄入口などは機能美もあり、抵抗を感ずるものは少くなった。その他駐車メーター(❹)、ポリボックスなど路上に不必要なものは姿を消しつつあり良い傾向である。



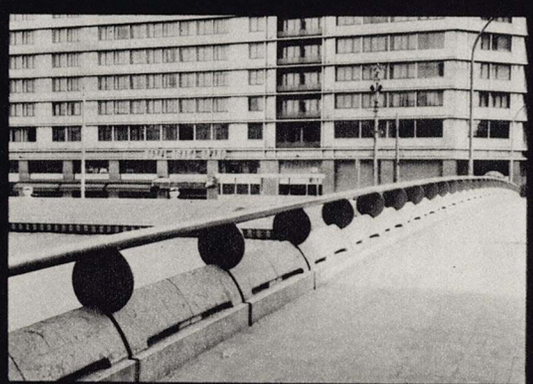
西ドイツ・バッテンシャィド，人道橋



❶大阪御堂筋



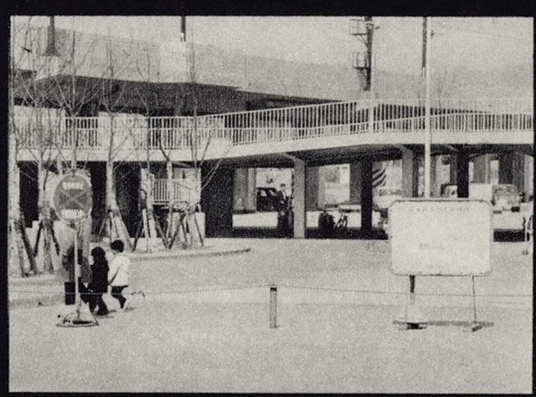
❷大阪駅前



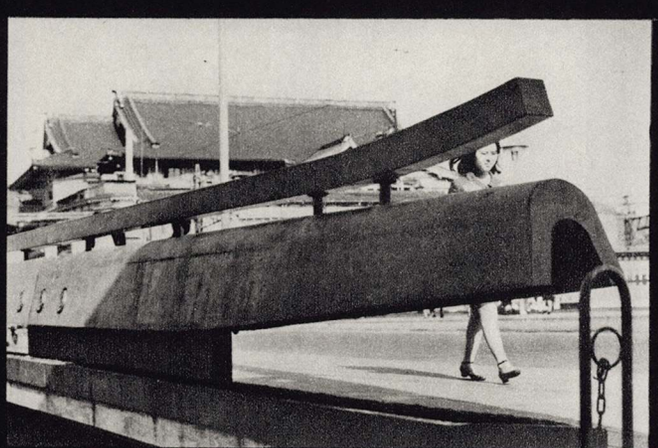
❸大阪渡辺橋



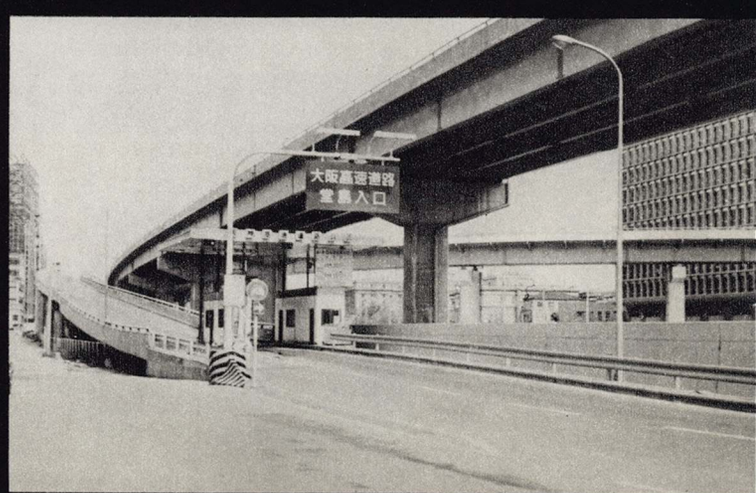
❹大阪中之島



❺千里ニュータウン



❻京都四条



❼大阪堂島



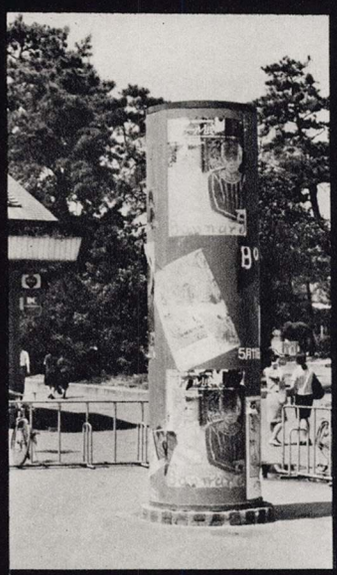
西ドイツ

伝達(通信、案内)

全般的に見て　各々のデザインは優れていても、設置場所・環境が整備されていないため、それらの良さを発揮することが出来ず　また機能も充分に満たされていぬことがある。❶の例は電柱、その控柱、地名地区の指定標、ごみ箱、掲示板が雑然と並んでおり、大変見苦しい。❷の案内道標は歴史の流れも感じられ、また良く環境にマッチしている。時計塔は必要性が薄れてきて、特定場所以外からは序々に姿を消しつつあるが、❸は機能と共に都市の憩いの場としても活用されて、アクセサリーとして好例のひとつである。美術館の前で見た広告塔❹は、シンプルな形で雰囲気を出している。郵便ポストや電話ボックスは全国共通のデザインでなかなかゆき届いており、環境によっては良いアクセサリーとなっている(❺)。都市の電力需要が急速に伸びるに従い、送配電柱は、ちまたに氾濫し、電線は空を覆うばかりとなり、都市美化に大きな障害となっている(❻)。新しい街づくりでは、ぜひ地下埋設にすべきである。


❶奈良新薬師寺附近

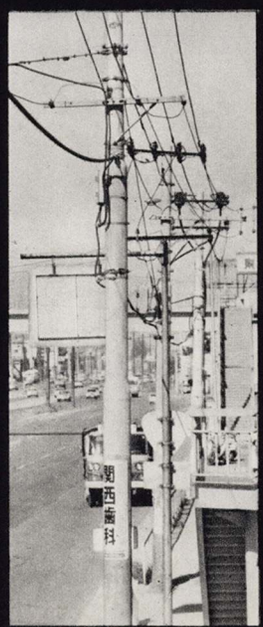

❷京都嵯峨


❹京都美術館前

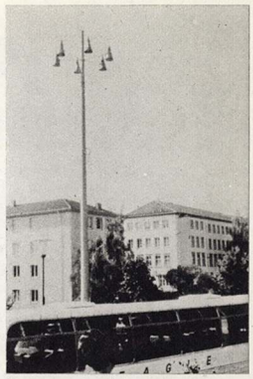

❸神戸市役所前


❺京都四条通


❻神戸市内


❻神戸市内

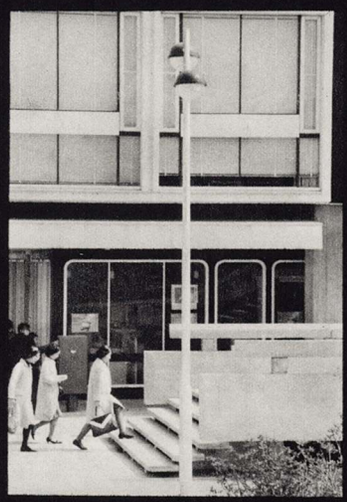
供給 道路の供給施設として目立つのは街路灯と電柱といった施設であろう。街路灯も高速道路・大団地など計画的にまとまって設置される場合は環境との調和をこわしている例はあまりないように思われる(❶❷)。都市環境上の調和を乱している場合をみると、建物と街灯および電柱、電線との関係に問題がある(❸)。木柱はコンクリート柱に変っていくが、クモの巣送電線もケーブル化して無くしたいものである。色彩・形状の斬新な改革を促進することによって公共的な街路灯などがシンボル化され目立つことが、まず美化への前進の一歩となろう(❹❺)。また消火栓・マンホールといった施設は目立つべきものと道路などに埋設すべきものとがあるが、目立つべきものに、いささかの美的考慮も加えられていないものが多い(❻)。この辺で機能性だけでなく街のアクセサリーとしても見られるものになって欲しいものだ。



ドイツ・コブレンツ



❶千　里



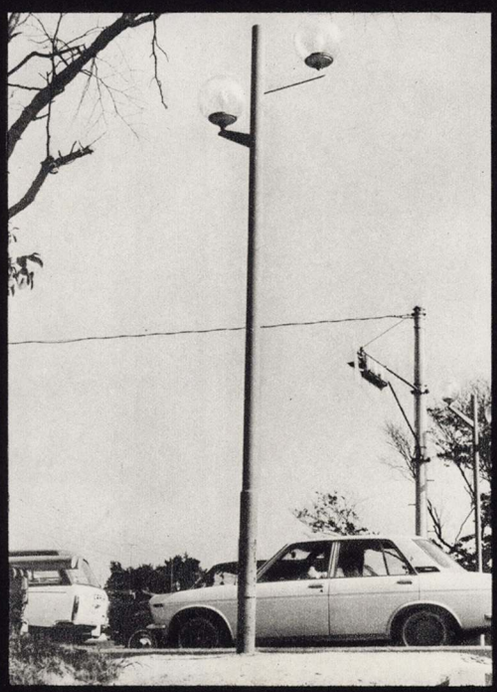
❷千　里



❸大阪御堂筋



❹千　里



❺京都御池大橋



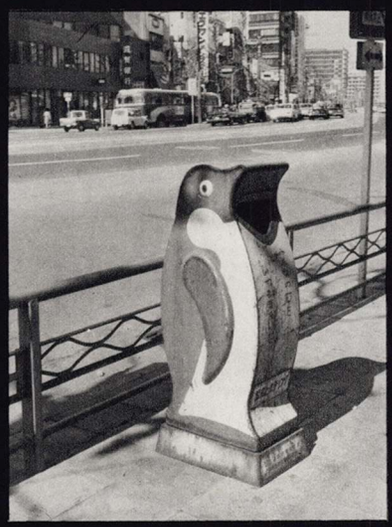
❻大阪御堂筋



処理 急激な都市化に伴い処理施設もまた増えていくが、大きな公共施設に統合できないもの、すなわち、くず入れや吸殻入れなど常に身じかに必要なものは都市の中に残っていく。それをどのような形にすれば機能的に充分で且つ美的なアクセサリーともなり得るだろうか(❶)。しかも道路といった動的な場所に置かれた場合、それらは個々の美からではなくて、都市生活のリズムの中で評価しなければならない(❷❸)。すなわち、都市がメチャクチャであるからフラワーベースでも置いて少しでもうるおいを与えようというのではなくて、都市計画がなされ、それに付随する処理施設が巧みに工夫されて計画的に存在し、なお充分な管理もなされて生きてくるものと思う(❹❺)。たとえば側溝、排気塔などで、小さなものは都市施設の中にくみ入れ(道路共同溝、建物などと一体にして)、大きなものは都市施設の一つとしてその造形美を考慮してデザインすべきであろう(❻)。



❶大　阪



❷大阪梅田



❸大　阪



❹西　宮



❺京　都



❻大阪梅田

美観

道路の美しさは、市民生活に必要なうるおいを与えるものとして、もっとも考慮されなければならないもののひとつである。これらは、総合的な都市計画の実施に依らなければならないが、部分的には自然の美しさ、人工的な美しさ、に依っても左右されるものと思う。

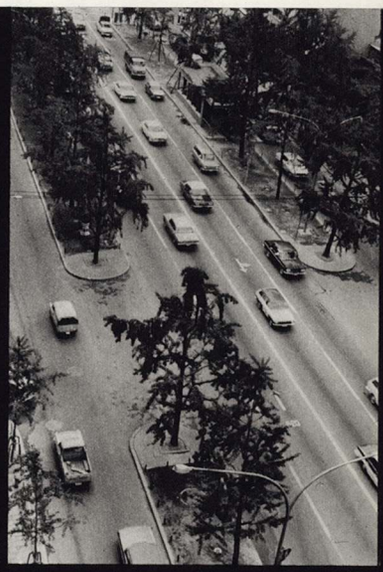
都市において、美しい建物を造ることもさることながら、道路の美観としては❶のような美観広場を造る場合、❷❸のような街路樹、緑地帯の設置、❹❺のような花壇による緑化を行う場合、また住宅団地(公団等)に見られる天然地形の保存、それに街路照明等を造る場合などあるが、周囲の環境とよくマッチしたものを設けるように心掛けたいものである。しかし現代では、このようなものは少ない。❻は、置き去りにされがちな川の端を緑化した良き一例であり、心の安らぎを得る。ただし道ゆく歩道でないのは残念である。



ローマ・エウル中心部



❶京都博物館前



❷大阪御堂筋



❹神戸三ノ宮



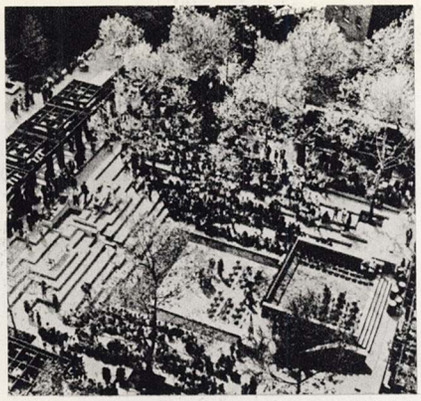
❸京都五条



❻大阪道頓堀



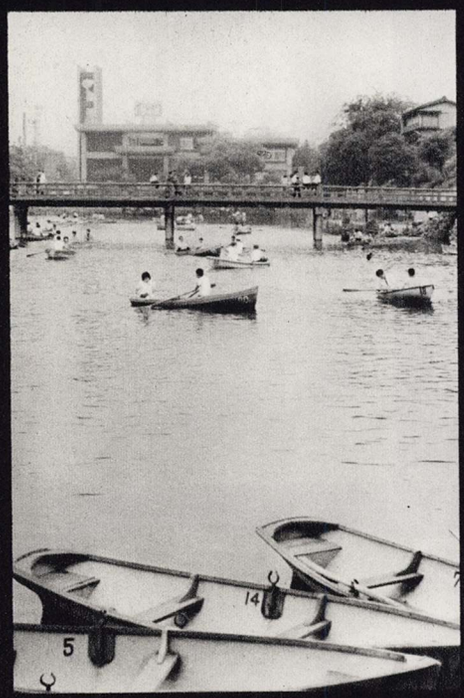
❺神戸市



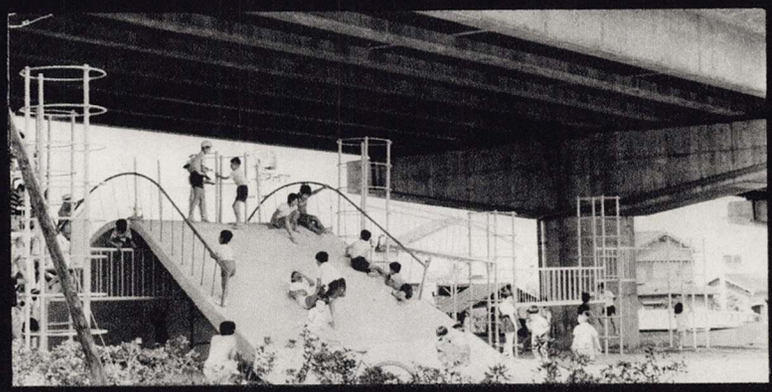
ニューヨーク・マンハッタン野外舞台

娯楽

都市の中にあって大人達はその肉体を自然の中に溶けこますような遊び場を、また必然的に遊びを失ないつつある。ボート遊びなどはその残されたものの唯一とも言うべきものであろうか(❶)。今や彼等にとって遊びとは、ある種のギャンブルか、ボーリングなどの高度に商業化されたものにすぎない。一方、子供達にとっては、遊びは彼らの生活の必須の部分であると同時に、彼らの生長そのものをも決定づけるものである。たしかに大人が与えた町の児童公園も(❸❺)、苦肉の策としか思えない高速道路下の過び場(❷❹)も子供にとってはそれなりの意義もあろう。しかし、河原や堤防で(❻)、あるいは林や草むらの中で彼らはより自由であり生命力に溢れている。必要なのは、ブランコ、滑り台などのありふれた遊具のみでありうるはずがない。自然的、人工的であるとを問わず、自ら新しい種々の遊びを誘発するような環境そのものが計画されねばならないのではなかろうか。



❶大阪天王寺公園



❷神戸　神明高速道路下



❹神戸　神明高速道路下



❺兵庫 明舞団地



❸大阪千里ニュータウン



❻須摩浦海岸口

広場・公園に付属するアクセサリー

休息

都市の空間性を高めるいろいろの施設の内でも、休息ーいこいのための施設はすぐれて都市の景観美を高める要素のひとつである。

住宅やビルの中での休息と異って、都市のオープンスペース・公共広場での休息ーいこいは、多くの人達と共に休息する心のやすらぎである(❶❹)。ベンチに休息する人々は自分自身が休息すると同時に他の人の休息のための点景となっている。そしてこれらの人々のまわりをとりまく空間にはいろいろの装置が置かれ休息の効果を高めている。これらの装置は、水・木・石などの自然の素材によって雰囲気を盛り上げている(❹❺)。またこれらの装置の造型には現代的なものと伝統的なものとがあり、後者の落ちついた親しみのある風情と前者のモダンな明解な造型には何か対照的なものを感じる。新しい造型にも伝統の厚みといったものが欲しい。それが人々の心のやすらぎにもつながるのである(❷❸❻)。



ニューヨーク・近代美術館の彫刻庭園



❶神戸須磨浦公園



❷大阪千里ニュータウン



❸奈良



❹神戸三の宮



❺大阪千里ニュータウン



❻奈良

観賞

観賞を対象とした都市のアクセサリーを探して歩いてみた。いざ探し廻ってみると観賞に値するものが何と少ないことか……とある公園に入ってみる。種々の草花が植込の中で競い合って咲いている(❶)。小さな生命で懸命に我々にこたえてくれているようである。

公園の片隅に、彫刻が立っていた(❹)。彫刻の前に人影はない。都市生活の中で、自然の緑、草花が一番のアクセサリーだろうか。公園に出て広場に行く。中央に噴水がある(❷)。水の動きをぼんやり眺めていると割合たいくつしないものだ。夜、光が参加すると一段と美しいことだろう。街を歩いて花時計のある広場を通る(❸)。花時計が何がしかのうるおいと安らぎの場を作ってくれている。家路につく。子供達のいなくなった団地の広場に明日また子供達の相手をするだろうオブジェが淋しく立っている(❺)。工事中の高層ブロックの前に彫刻の女人像が近く入居してくる人々を待っていた(❻)。それにしてもいざ探し廻ってみると、観賞の名に値するものの何と少いことか……。



ロンドン・トラフアルガ広場



❶大阪中之島



❷神戸ポートホテル前



❸神戸市庁舎前



❹大阪靱公園



❺兵庫明舞団地



❻大阪千里ニュータウン

動物

遠い記憶を逆上って思い出してみると、我々が一番最初に動物達を身近に感じたのは、幼少期の童話やお伽話の世界においてではなかろうか。その世界の中で子供達は、動物も人間と同様、泣き、笑い、怒り、愛する感情を持っていることを知り、特に小さな動物達に親近感を持つようになる。家庭内でのいわゆるペットを別にすれば、残念ながら現在我々の周辺には、自然のままに動物と戯れるような状況はほとんどない。カメラ片手に町の中を歩き廻ってみたが、やはり奈良公園の鹿(❸❹)、猿沢池の亀(❺)、寺院の境内や公園の鳩(❶❷)、池の鯉など観光名物化したものがその全てのようだ。

夏の蟬、秋の虫、小鳥のさえずりなど、自然の恵みは、一歩々々遠ざかって行き、我々はそれらに対して郷愁にも似た感慨を持つのみである。もはや現代の日本の都市文明の中には、また我々都会人の心の中にも、小さな動物達の安住の地はなさそうである。



サンフランシスコの広場



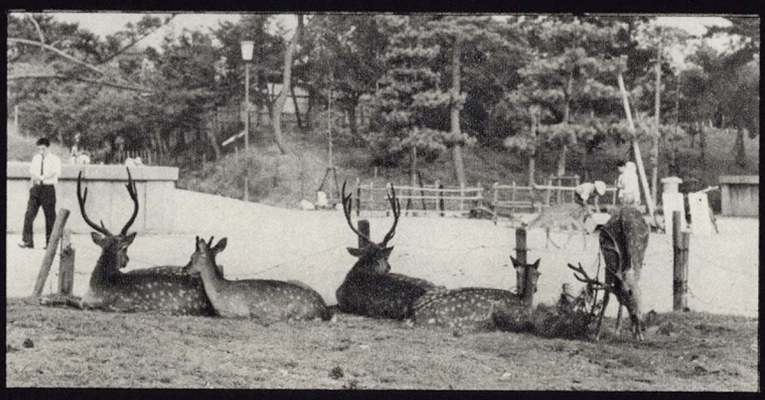
❶大阪中之島



❷京都本願寺



❸奈良公園



❹奈良興福寺



❺奈良猿沢池



ラスベガスの駐車場入口表示

宣伝

宣伝に使用されている看板類は、その効果上目立つ事を要求されるだろうが、洗練されたもの、すなわち、建物との調和などがあまり見られないのは問題である。(❶❷)。特に安易なデザインで、看板を主にしたものは、都市美化の上からも望ましくない(❺)。後から取付けたものにしてもそのつける位置を充分考慮されれば、看板そのものの効果も上るのではなかろうか(❸❹)。

建物設計段階から、意図すべきと思われるものが、安易な方法で取付けられているが、建物と一体化されることが望まれる(❻)。

歓楽街の看板は、雑然さの中に、独特のムードがあるといえるかも知れないが、やはり雑然そのもののみでなくて何等かの方向づけが必要だろう(❼❽)。ネオンサインも夜の街において人々の視覚にうったえるだけに看板類と同様の配慮が必要であろう。



❶ 大阪梅田



❸ 大阪御堂筋



❷ 大阪阿倍野



❹ 大阪阿倍野



❺ 大阪御堂筋



❼ 京都



❽ 大阪道頓堀



❻ 神戸

案内

建物名称など案内は自社ビルにつけられている関係上、建物との調和、環境との調和を考慮したものが見られる。建物の屋上部分を利用したもの(❶)、建物の地下への出入口を利用したもの(❷)、建物全体の特徴を利用したもの(❸)、などその例であろう。塔屋につけられたものとして塔屋そのものの壁面を考慮しているものも見られる(❹)。案内の性格上分りやすさが必要であり、その点では成功していても、環境との調和に考慮が欲しい(❺)。

建物名称と建物案内板との組合せ(❼)、照明器具との組合せ(❻)もひとつの方法であろう。

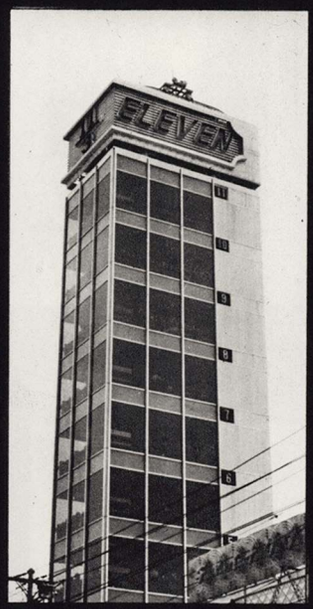
住宅団地の団地名もひとつのアクセサリーとして生かすべきであろう(❽❾)。



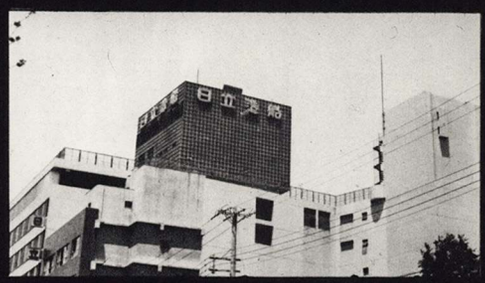
チューリッヒ：案内板



❶ 大阪中之島



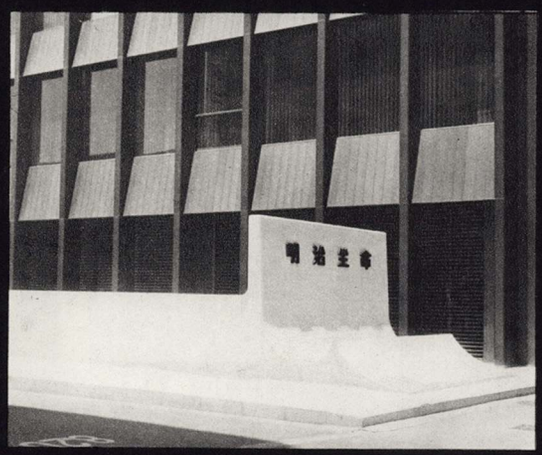
❸ 京都河原町通



❹ 大阪御堂筋



❺ 大阪御堂筋



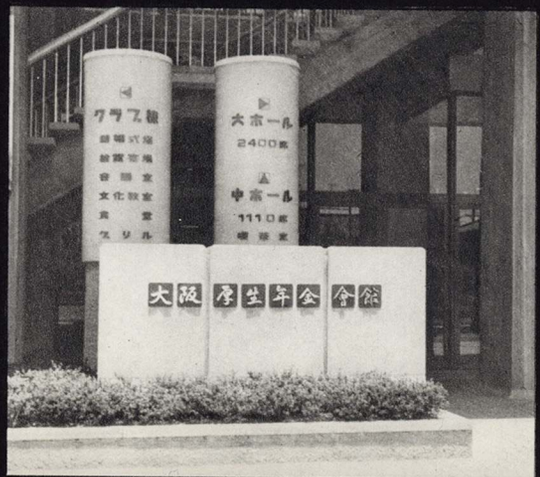
❷ 大阪御堂筋



❻ 大阪肥後橋



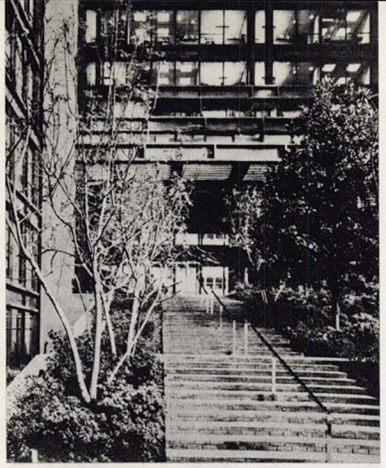
❾ 大阪



❼ 大阪



❽ 大阪



ニューヨーク：フォード財団新本部中庭

植栽

花台ー新しく整備された都市ビルの外周に行儀よく配置されたコンクリート製の花台、形よく植栽された灌木の緑が駐車場の区画をもなしている(❶)。壁厚き古典建築の窓台に四季の色も豊かに路ゆく人々に生気を与えてくれるもの(❷)。しかしビルの窓々に点在し、花であふれたヨーロッパの街並を見るにつけ、この花を愛する国民性には、なおほど遠い感あり。

植木ービジネスビルのアプローチ・フラッグポールを取巻く、つつじのベースには、モダーンなやわらかさがある(❹)。焼けつく歩道に涼ゐを与える噴水の水の動き、水草の緑とともに、路ゆく人々へのサービスの演出ぶり(❺)。植栽のデザインも点から線へ、面へ(❻)、静から動への形としてとらえられよう。

屋上庭園ー急激な人口集中による都市の膨張は、緑地を縮少し、憩いの場をなくしてきた。高層ビルの出現、容積制の概念が外部空間を埋めるべき新しい技術を要求して来た。そして屋上の庭園化は最近かなり意欲的に試みられるようになってきた(❼)。



❶大阪本町



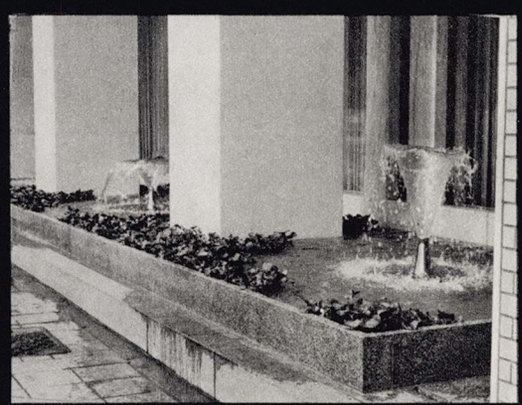
❷大阪北浜



❸大阪阿倍野



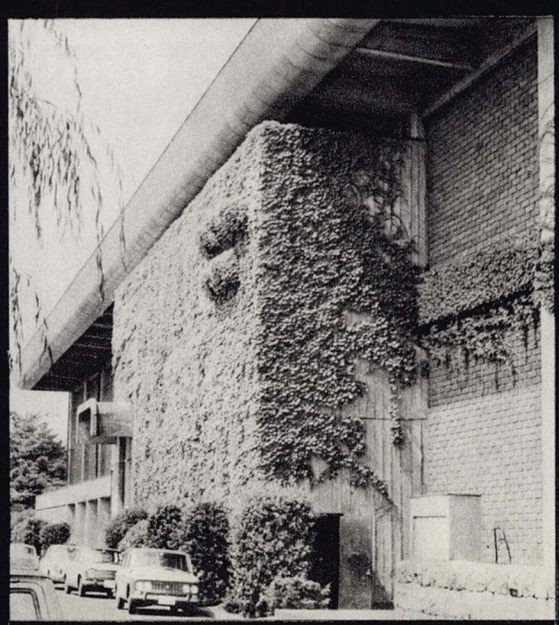
❹大阪御堂筋



❺大阪御堂筋



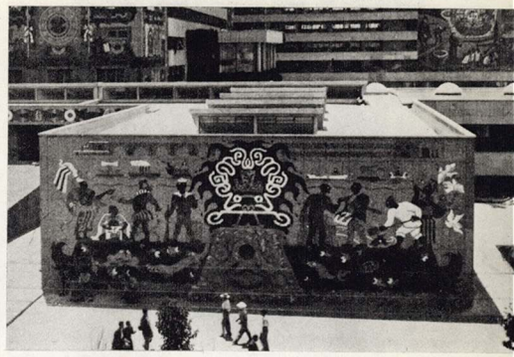
❼大阪中之島



❻京都岡崎公園

装飾

街角に立つオフィスビルのコーナーに、わずかな心づかいでハッとさせられるようなアクセサリーがある。❶は、某スポーツ用品店の『フェアプレーの像』で、広告を兼ねた彫刻で、躍動感に溢れ、好感の持てるものである。❷は、建物コーナにアクセントをかねてとりつけられた羊の彫刻。❸は、窓をかくした壁面グリル。このほか建物の壁面にレリーフをほどこしているのに❻❼がある。❼の場合レリーフと建物自体のデザインとに異和感があるように思われる。❺は、壁面の目地割りと照明器具の組合せに面白さがある。❹は、最近よく取付けられているカラフル日よけで街の中のアクセントになっている。総体的に、それまでの建物に付属する装飾は、それ自体完結しているものが多く、建物や街路に密着して、環境と一体となり、人々に安らぎとうるおいを与えるものは少ないのではないのだろうか。



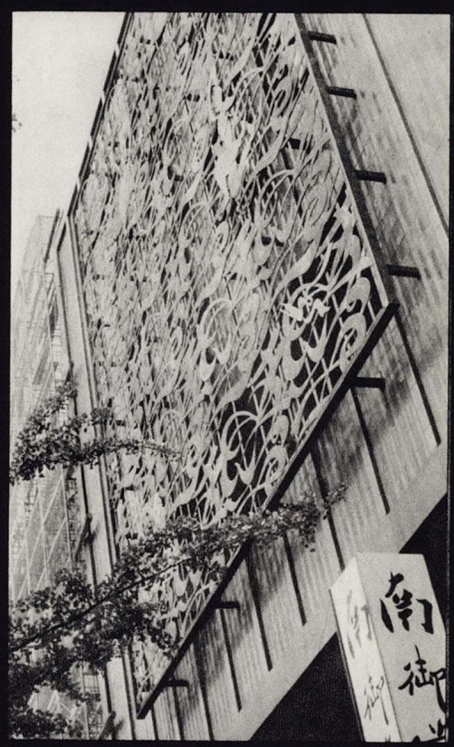
メキシコ通信建設省



❶ 大阪難波



❷ 大阪中之島



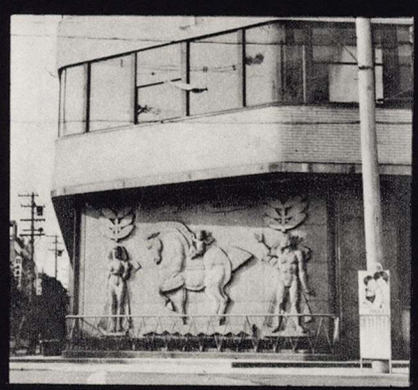
❸ 大阪御堂筋



❹ 大阪北区



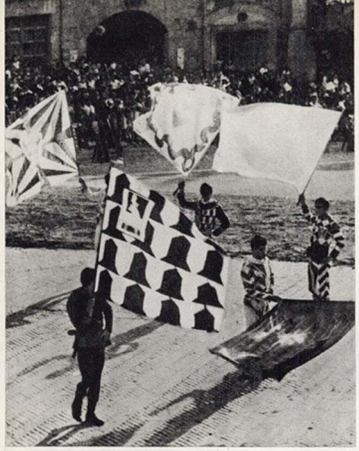
❺ 大阪西区



❻ 大阪本町



❼ 大阪中之島



イタリア・騎士祭

祭・行事

郊外に冬のなごりを留めてそびえる銀嶺、季節毎の夕焼雲のファンタジー、街路樹の落葉など、四季おりおりの風情。こうした自然の美とともに、日本には、古来より、儀式――祭り――が、気候・風土との調和のうえに、伝統的行事として、人の心に語りつがれてきた。大阪の天神祭(❶❷)、京都の祇園祭(❻)は、夏の祭として大阪・京都の風物詩を形成している。

お盆の間は、死者の魂が、現世に帰って、生者とともに過ごし、大文字の送り火(❸)に送られて、再び黄泉の世界へ戻っていくという意識形体は日本にしかないという。その表現形式は、自然の配置と、春夏秋冬の気配と、信仰心のバランスのうえにみごとな一体感をなしている。祭は、いわば、住民にとって、交歓の広場を形づくるものであり、また伝統的行事としての七夕(❹)やこいのぼり(❺)とともに、都市に色どりと生気を与えるものである。



❶天神祭(大阪)



❸大文字焼(京都)



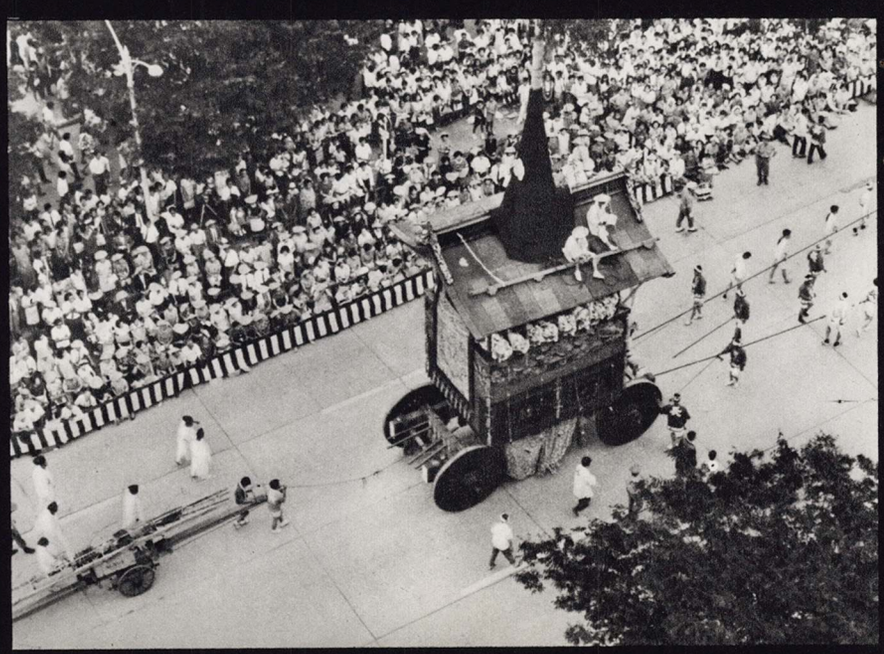
❷天神祭舟渡行



❹七夕



❺こいのぼり



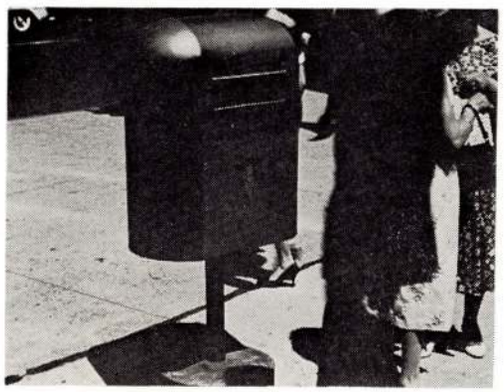
❻京都祇園祭

建築・標板

光　安　義　光

都市美化とアクセサリー，この関係について原稿を依頼されているようであった。この原稿に向って鉛筆をとって気がついたので少し脱線しているかも知れない。

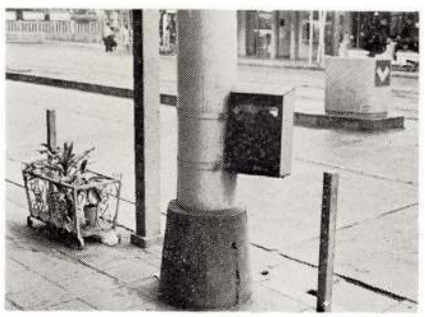
都市美化に連なるものは，人とそれに関係する社会構造から美化しなければならぬだろう。政治以外に，建築家にとって，地域計画などからも論ずることもできるに違いない。私は身近な事柄にふれて，美化への因を考えようと思う。



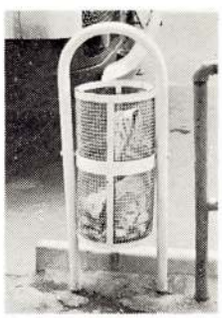
No. 1　ニューヨーク五番街のくず籠（ポストに間違いそうだ）

☆くず籠

ニューヨーク市に行った友人がポストに気をつけろ！といってくれたことを五番街を歩いているとき思いだした。手紙を出したが一向に届かないのである。よく調べると，これが何とくず籠である。No. 1のごとく金色のラッカーが光り輝いているのであるから，間違うのも無理はない。私の住む神戸市目抜き通りのそれと較べて市力の差を見る思いである。街を清く美しくと記載されているのだが（No. 2）（No. 3）（No. 4）。



No. 2　神戸市のくず籠



No. 3　神戸市のくず籠

サンフランシスコ市を朝まだき，散歩していると清掃トラックが走り廻っている。歩道の下から，チェーンブロックで持ち上げられた鉄製の5㎥もある箱が移し替えられているのである。歩道の下は3m位の地下道となり，前の商店の地下室と連絡している所もある。これ程，徹底した形をとれば，ごみ処理は清潔に保たれ，歩道にごみ箱はなく，広く美しく使われる街並と化するわけである（No. 5）。

No. 4　神戸市のくず籠



No. 5　サンフランシスコ市の歩道の下から出てきたごみ箱

わが神戸にも，これに似たごみ箱はある。深さ60糎位のポリバケツを入れたものである。チエッカープレートの蓋がついているが，枠との取付けが弱いため，その上を歩くと危なく，ためらわれる。金力の差か，市民意識の低さなのであろうか？アイデア倒れと思われて，都市美化の第一線でこれでは淋しい限りといわねばならない（No. 6）。

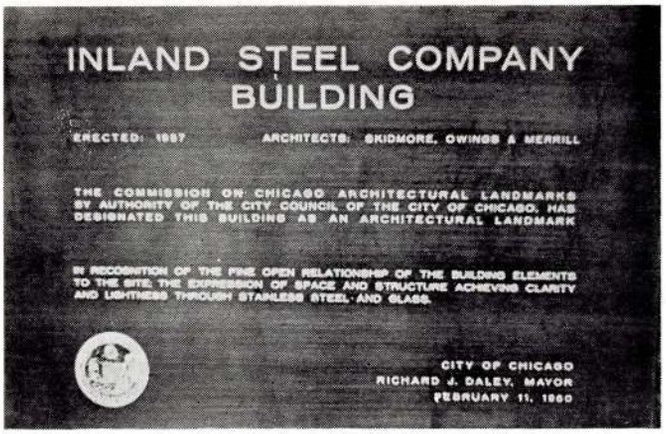


No. 6　神戸市の歩道下のごみ箱

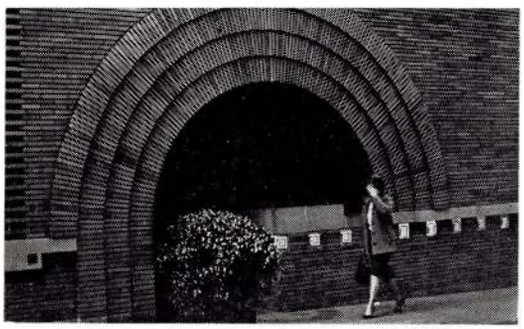


☆建物に署名，表彰板

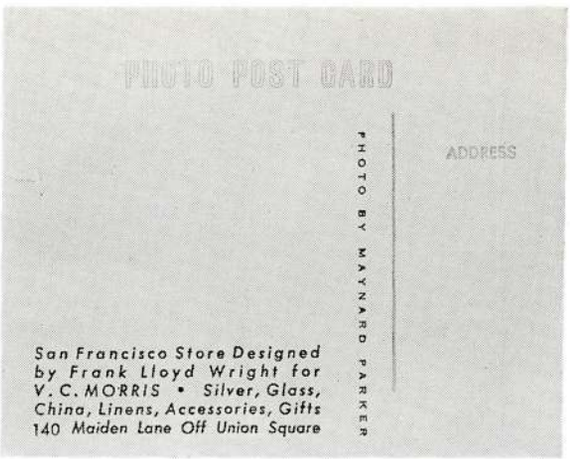
シカゴ市のインランドスチールCO. に行ったが，その入口に，ブロンズ板で製図板の大きさの表彰板がつけてあった（No. 7）。シカゴ市長により，鉄とガラスの明るく清い建築的ランドマークの成功を讃えられている。設計者はスキッドモア，オーイングス，メリルの3人である。同じ設計者はニューヨーク



No.7　インランドスチールカムパニイの市長表彰



No.8　ライトの作品とそのサイン（左端の■）



No.9　ライト作品V.C.Morrisの出している葉書



No.10　兵庫県庁の設計，施工者の表示



No.11　ロンドンの現場，左側のが設計者名



No.12　ストックホルム市のある現場

で，五番街にあるマニファクチャーズ・トラスト・カムパニイの作品に対し，A．I．A．から表彰されているが，その表彰板も同様な表現で，エントランスの腰高に取付けられていた。日本では建築学会，大阪・神奈川の知事賞にもこうした表現があっても良いであろう。

ニューヨーク市のグッゲンハイム美術館の正面入口の床3㎡位の円形に館名と設計者F．L．ライトと真鍮文字が刻みこまれていた。建物とその設計者を明瞭にしているところはアメリカらしいと考えられる。

サンフランシスコ市に，V．C．モリスの店がある。ランプになった円形プランのこの店は，ライトのこの種の傾向の最初の作品で名高い。(No.8）の正面入口に対し，左側に朱色の20糎角の陶板が貼めこまれている。ライトの好きな朱色のなかにナイフでF．L．L．とサインがしてあった。これこそ建物にサインである。建築家自身の誇りと，発註者の認識の高さは相当なものといわねばならないだろう。この店で2枚の絵葉書を受取った。それにも，設計者ライトの名が印刷されていた（No.9）。

街中を見学していると，ふと目についたのは，先程の陶板F．L．L．と共に下のような文句が記された看板があった。

319 GRANTE AVENUE
SECOND FIOOR

F.L.L.　THE
FRANK LLOYD WRIGHT
FOUNDATION
AARONG GREEN　A.I.A.
SANFRANCISCO PEPRESENTATIVE

3rD FLOOR
BAY GROUP ASSOCIATES ARCHITECTS
DANIEL H. BUSHELL. ICHIRO SASAKI
CAMIEL VAN DE WEGHE

都市美化への基底を，そこに見るような気がする。あるいはライトの地位，芸術家に対する尊敬を推し測ることができるようである。

日本では定礎石が建物に取付けられる。しかし，建築家の署名ではない。ある日，芸術院会員，村野藤吾先生に，作品署名を聞いたことがある。先生でも僅かに広島のカトリック教会に建築主の感謝の意味から表示されているというのである。もっと数多く先生にはあるものと期待していたのだが——。

私は，知事の命により，兵庫県庁を完工したときに，設計者として施工者名と共に記載することを許可されたのです（No.10）。

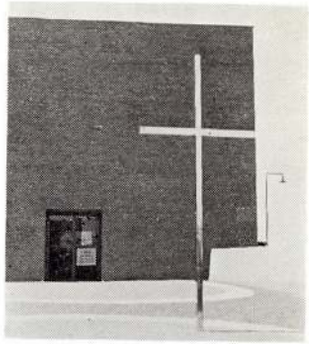
☆現　場　標　示



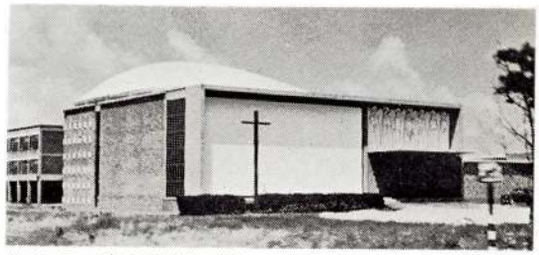
No.13　シカゴ市の現場所見



No.15　兵庫県営繕課の現場



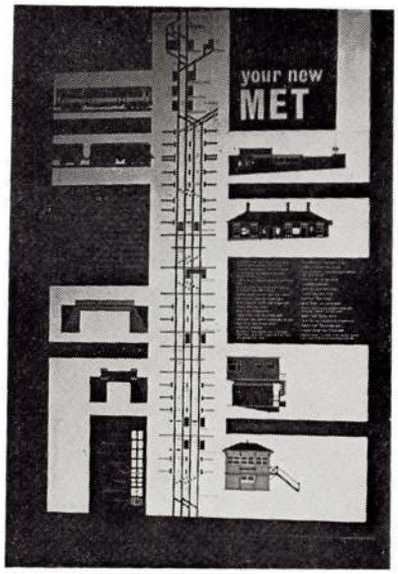
No.17　ストックホルム市北郊の教会



No.18　ローマ市の国際空港の教会



No.14　ニューヨーク市，パンアメリカンの現場



No.16　ロンドンの地下鉄



No.19　西ベルリン市章

建築物が建てられるとき，設計監理者，施工者の標示が適切な大きさで仮囲いに取りつけられる。建設意志を明確にすることは，都市美化への一歩でもあろう。

ロンドン市の新聞街で屋内改装工事をしている小さな現場に通り合わせたが，塗装，内装，管工事，施工者の各名称標示と共に，設計者の標示板は一段と格調が高かったのである。王冠と建築家，その下段に名前を入れている。白色と濃紺色のツートンカラーである。建築家協会員の標板は，いずれの現場でも，すべてこのように統一されているのである（No.11）。

アメリカでの建築家協会員の表示は英国のようなことはなく，日本と同様雑多である。アメリカ最大の建築事務所，スキッドモア，オーイングス，メリルは SOM とし，文字は白抜き，SMの部分は黒色，Oの部分は朱色の地を塗った，鮮明，垢ぬけした小さな標板である。（No.12）はストックホルムで，（No.13）（No.14）は，シカゴ，ニューヨークの所見である。（No.14）はパンアメリカンの現場標示で，各階のテナントの契約表示と設計者の中にグロピウスが名をつらねていたので，珍らしがってスナップしたのである。（No.15）は，兵庫県の場合で，県旗を入れてそのPRも兼ねているというわけである。

☆目　的　標　示

目的を標示するには，近ごろ万国疎通を計るために，男女別の便所の画表示，公衆電話，階段などオリンピック以来，非常に増えてきている。ロンドン市の新地下鉄は色別けで好ましいポスター効果をもった解りやすいものである（No.16）。

建築物の中で，最も端的に目的表示をしているのは，教会であろう。十字架は空に克明に意味を表している。（No.17）はストックホルム近郊のヴィーリングビにある。（No.18）はローマ市国際空港の近くにある。あまりに単純化された象徴は日本の鳥居に比較できる程である。

☆都市のマーク

建築から都市までの美化への責任体制は一貫してはいない。都市のマークに西ベルリンの熊がある（No.19）。また，ベニス市のライオンなどがあり，美化のアクセサリーではない。しかし，サンフランシスコ市の市章には「世界で一番住みよい街，サンフランシスコ」と円形模様のなかに記録されている。これこそが，一番都市美化のアクセサリーというべきであろう。私どもは設計者としての自覚から，その表示をし，ひいては，都市美化への責任の一端を果す役割があるというべきであろう。

（みつやすよしみつ：兵庫県建築部営繕課長）

第3回SDA賞

(日本サインデザイン賞)

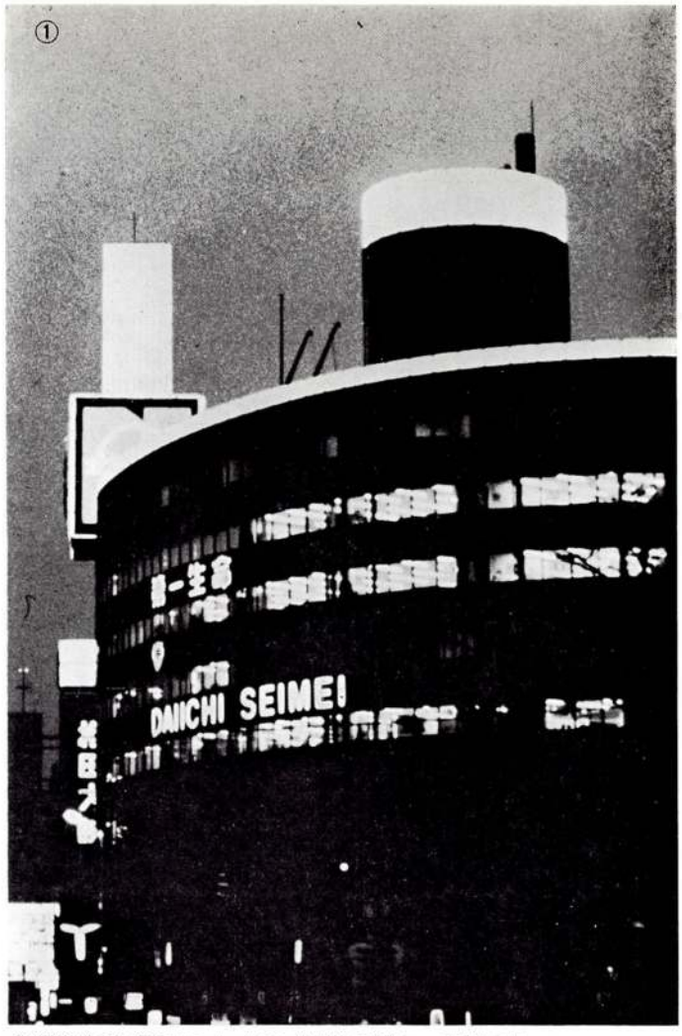
昭和42年1月から12月までの期間に制作提出されたサイン（主として屋外広告）の中から優秀な作品に対して贈賞を行ないました。SDA賞は昭和41年創設し，毎年1回贈賞を行なって今年は3回目であります。ここ2，3年来の経済界不況の影響もあって，サイン業界もやや沈滞気味で，従って目を瞠るような作品はついに見出し得ませんでした。

しかし，最近景気の回復にともなってネオンサインを中心にした大型の作品に意欲的な動きが見えておりますし，1970年の万国博をひかえて来年度には実り多い成果が期待されます。今年度は全国からの応募作品は約1,200点で審査の結果次の19点に対し贈賞が行なわれました。なお，審査は去る3月30日東京美術会館5階ホールに於て，次のSDA賞審査委員により行われました。

＜SDA賞中央審査委員＞

伊　藤　憲　治（日宣美中央委員，伊藤憲治デザイン研究室）
亀　倉　雄　策（日宣美中央委員，亀倉デザイン研究室）
河　野　鷹　思（日宣美中央委員，㈱デスカ）
早　川　良　雄（日宣美中央委員，早川良雄デザイン事務所）
浜　口　隆　一（デザイン評論家，浜口隆一事務所）
関　　重　広（工博，関東学院大学教授，東芝顧問）
通産省技官
竹岡　リョウ一（日本SDA会長，㈱ナショナル宣伝研究所）
中　村　　真（日本SDA副会長，中村真デザイン事務所）
地区SDA委員長及び副委員長

註：作品審査の対象として，A類，B類，C類の3類別していますが，これは
A類（広告主の自社建造物に掲出した作品をさす）
B類（衆目に触れるような交通繁多な場所を選び賃借した場所に提出した作品をさす）
C類（小型店頭サイン等）
特別賞は以上ABCその他を含めて綜合的な秀作に対して贈賞を行なう。



① 金賞（A類）第一生命サイン（大阪）デザイナー　伊藤　憲治
② 銀賞（A類）小学館サイン（東京）デザイナー　㈱博報堂
③ 銅賞（A類）DXアンテナ・サイン（大阪）デザイナー　西田まさお
④ 銅賞（A類）ニュールビア・サイン（大阪）デザイナー　山田　善弘





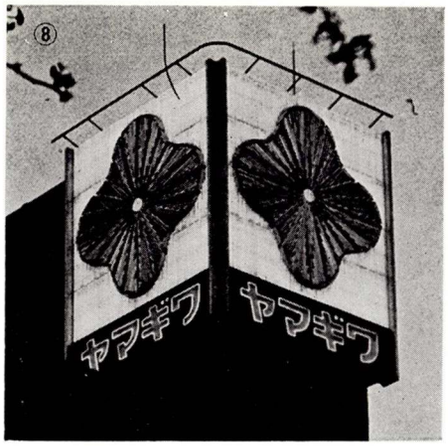








⑤特別賞　小田急百貨店一連のサイン（東京）デザイナー　河野　鷹思
⑥ 〃　　〃　　〃
⑦ 〃　　〃　　〃



⑧銅賞（A類）ヤマギワ・サイン（東京）デザイナー
伊東寿太郎



⑨銀賞（B類）TEIJIN・サイン（大阪）デザイナー
伊藤　憲治



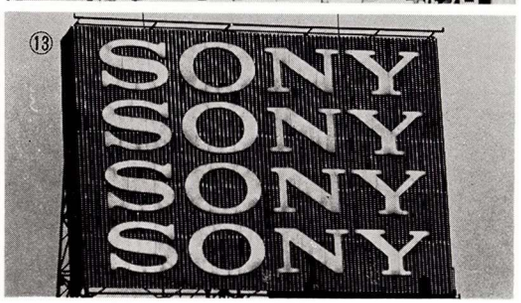
⑩銀賞（B類）サントリー・サイン（大阪）デザイナー
坂井　勇二



⑪銅賞（B類）NIKON・サイン（京都）デザイナー
亀倉　雄策
⑫銅賞（B類）リッカーミシン・サイン（東京）
デザイナー　河野　鷹思
⑬銅賞（B類）SONY・サイン（東京）デザイナー
ソニー商事㈱　広　報　課
⑭銅賞（B類）ナショナル・サイン（名古屋）
デザイナー　伊藤　隆三



⑮銀賞（C類）きふね・サイン（東京）デザイナー
光藤　俊夫
⑯銀賞（C類）アドニス・サイン（大阪）デザイナー
山田　崇雄

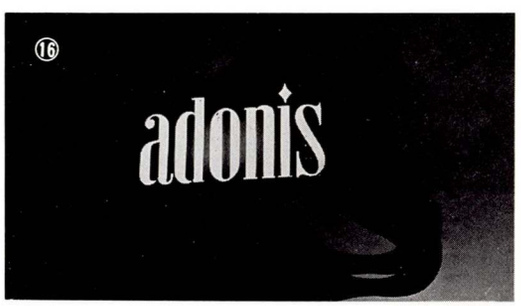


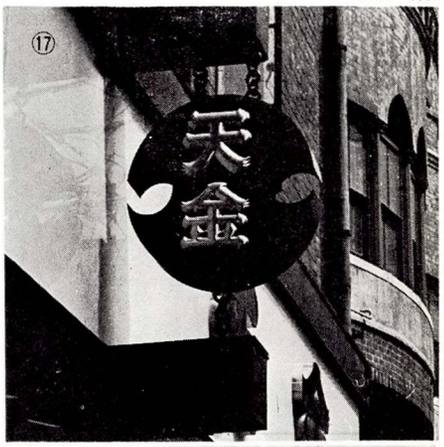
⑰銅賞（C類）天金・サイン（東京）デザイナー
永島　博
⑱銅賞（C類）欧風堂・サイン（京都）デザイナー
旭　和雄

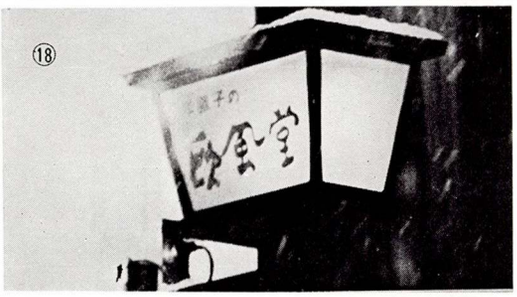


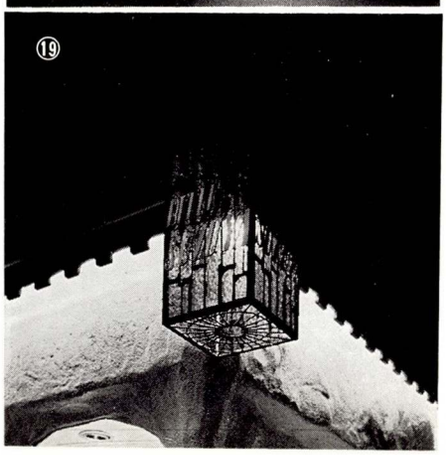
⑲銅賞（C類）SUZUYA・サイン（東京）デザイナー
雪野　潔
⑳銅賞（C類）エルベ・サイン（大阪）デザイナー
弍　喜明
㉑銅賞（C類）Kent・サイン（京都）デザイナー
富田　利彦

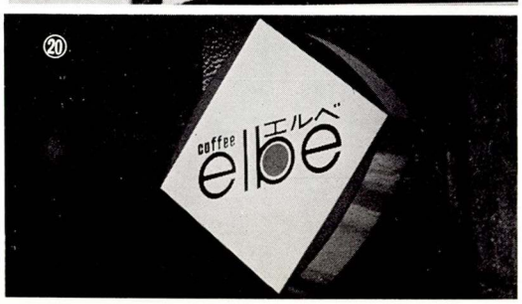


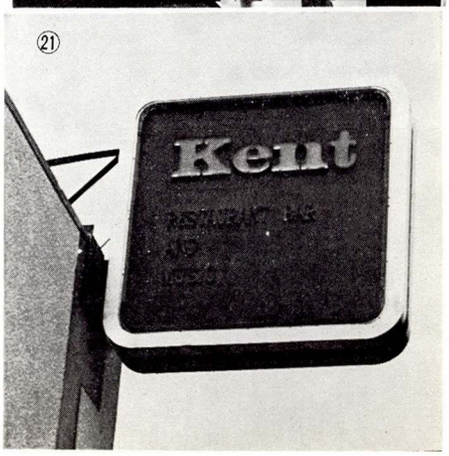












ＡＬＣ（高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリート）について（その１）

日本建築協会建材委員会（担当：中邨嘉幸）

目　次

はじめに
1. ＡＬＣとは
2. 技術導入から設計基準の設定まで
2.1 技術の導入と生産開始
2.2 基準の認定
2.2.1 暫定的な取扱基準の設定
2.2.2 ＡＬＣ耐力パネル構造設計基準案の作成
2.2.3 ＡＬＣ構造設計基準の認定
2.3 基準の認定と注意事項
3. ＡＬＣの特性
3.1 概要
3.2 状態の定義
3.3 比重
3.4 強度，弾性
3.5 めりこみ
3.6 せんだん
3.7 耐衝撃性
3.8 吸水，透水性　（以下次号）
3.8.1 全面吸水，3.8.2 部分吸水，3.8.3 吸水高，3.8.4 透水性
3.9 膨張，収縮，ひび割れ
3.10 断熱
3.11 吸音，遮音
4. 標準ディテール
4.1 屋根，床版
4.1.1 一般注意事項，　4.1.2 取付詳細
4.2 堅積外壁
4.2.1 取付の種類，　4.2.2 取付詳細
4.3 横積外壁
4.3.1 取付の種類，　4.3.2 取付
4.4 間仕切壁
5. 施工
5.1 材料特性と施工
5.2 製作，運搬，仮設，保管，小運搬
5.3 施工体制
5.4 加工，補修
5.4.1 加工，　5.4.2 補修
5.5 取付
(1) 取付金物，　(2) 取付方法
6. 仕上
6.1 仕上と物性
6.2 仕上材としての基本条件
6.3 内外壁の仕上
6.3.1 下地処理，　6.3.2 仕上材，　6.3.3 施工上の注意
6.4 屋根仕上
6.4.1 アスファルト防水，　6.4.2 仕上防水
6.5 仕上の選択
(1) 間接的メリット，　(2) 直接的メリット
7. ＡＬＣの経済性
おわりに

はじめに

ＡＬＣというシャレた名前の建材が大分使われている。これは高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリートの英語の略称であるが，技術導入以来近々５年間位の短月日にここまで普及したのは驚きに耐えない。

これは建築技術の向上進歩，建築の高層，プレハブ化などの社会的変化を背景として，この材料のすぐれた特性がこれらの要求にこたえてむかえられたものであろう。

技術導入された建材がわが国において使われる場合，そのままではなかなか性能を発揮することは少ない。気候風土，建設の施工体制，または国民感情などの諸条件が微妙に影響して思わぬ失敗をするものである。導入材料が生きのびるためにはさらに技術をつけ加え，または諸々の検討が必要である。このためにＡＬＣメーカーはいち早く通産省の指導を得て，「オートクレーブ気泡コンクリート製品懇談会」を結成し，ＡＬＣの健全な発展をはかった。一方技術的な問題については学識者により研究会を組織し約３年の研究が進められ，その結果昨年９月「ＡＬＣ構造設計基準」が認定され，建築規準法上の取扱いが確立された。

以上の経過から見るとこの材料は官庁―学識者によって重要建材として育成指導され今日まできたものである。これをユーザーの立場でこの材料を見る場合に，使用の経験その他から必ずしも全面的安心感をもって受入れられない点がある。この基準の認定を契機としてこの材料を正しく認識するために，建材委員会でとりあげ種々検討してみた。

検討の要点はこの材料の特殊性，各メーカーの製品における性能面における比較，工法，施工とくに仕上などにおける問題点などこの材料の全般にわたった。

特に物性面の長所の反面，短所に併う問題を種々の観点から検討した。これらの検討にもとづいてユーザーの立場から見た「一般的な注意事項と問題点」について建築協会会員でＡＬＣの使用経験の少ない方々を対象として記事をまとめた。

1. ＡＬＣとは

ＡＬＣは石灰質材料（セメントまたは石灰）と珪酸質材料（硅砂，スラグ粉）を粉細したものに水を加え練り合わせ，これに気泡剤としてアルミ粉末を加え多孔質化したものをオートクレーブ養生により十分硬化させてつくられたものである。

製品はシポレックス，イトン，ヘーベルの三種あり，原料は若干異っている。

製品名	石灰質材料	硅酸質材料
シポレックス	セメント	硅砂
イトン	生石灰	硅砂
ヘーベル	セメント	硅砂

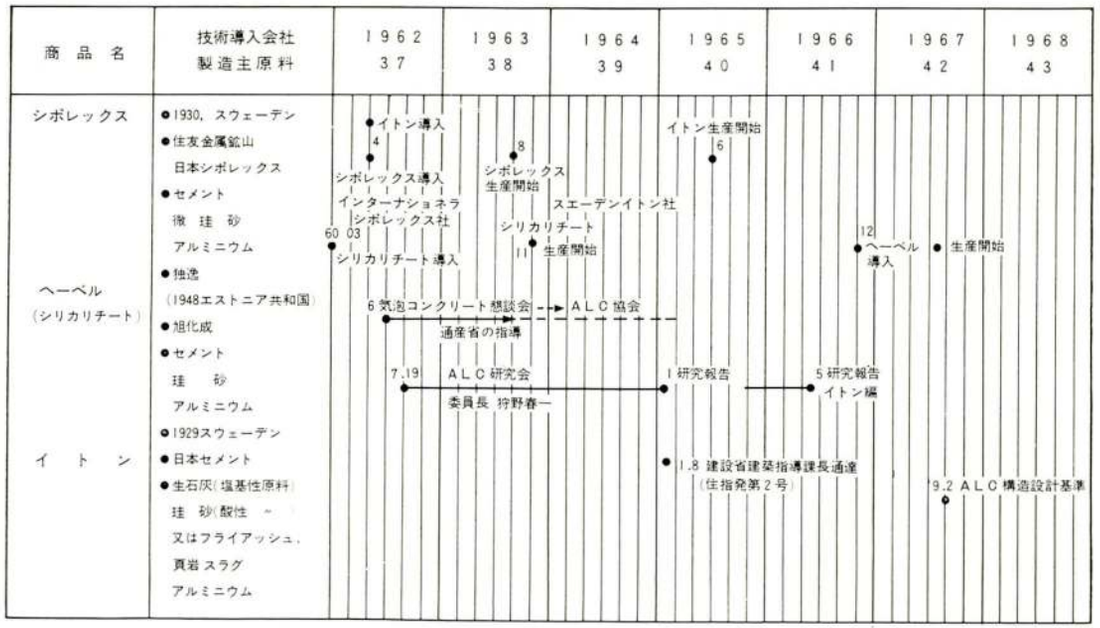
2. 技術導入から設計基準の認定まで

昭42.9に構造設計基準が認定され，一応建築基準法による材料，構法の枠に入れられたわけであり，建築材料として一人立したものといえよう。いまこの材料が導入されて設計基準の認定にいたるまでの経過をたどってみる。

2.1 技術導入と生産開始

……昭35～40

上記各品とも昭35～37の間に技術導入が行なわれている。これらのうちヘーベルは当初シリカリチートとして導入されたものが，その後量産体制に応ずるためにヘーベル社の技術を加えたものである。これの正確な導入時期は昭41といえよう。



表－1 ALC構造設計基準の認定まで

生産開始は昭38にシポレックスが最初に行ない，若干おくれてシリカリチートが，次いで昭40にイトンが行なった。

2.2 基準の設定

2.2.1 暫定的な取扱基準の設定……昭40.1

欧米やソ連と建築事情の異るわが国の建築に迅速に適合させていくために，導入四社が協調して技術面の研究を行なうために研究会が設置された。研究は昭37.7から約3カ年にわたり行なわれた。法規上の取扱については別の委員会が設けられ，床，屋根，帳壁についての検討が行なわれた。それらにもとずいて，昭40.1に建設省建築指導課長通達（住指令発第2号）が定められた。

2.2.2 「ACL耐力パネル構造設計基準案」の作成……昭42.3

その後ALCパネルによる耐力壁に関する基準の検討が行なわれ，委員会を設置し基準案が作成された。

2.2.3 「ALC構造設計基準」の認定……昭42.9

以上のALCに関するすべての基準の検討結果を総合集大成し建築基準法第38条に基づいて認定された。

2.3 基準の認定と注意事項

基準の認定によりALCの使用がこの基準によるときは個々の認定がいらないわけである。すなわちALCの使用は基準によることを前提としている。この内容についてはまだ改良の余地があり，これからの経験と研究によって合理的なものに改められるべきものがある。

たとえば耐力壁としての使用は住宅などの二階建にかぎられている。二階以上の耐力壁の使用については今後の研究課題である。

3. ALCの特性

「水に浮かぶコンクリート」と「燃えない木材」，つまり石と木の長所をかねそなえた新材料というのがALCメーカーの宣伝文句である。メーカーは次の三つを特色としてあげている。

(1) 工場生産が可能で加工が容易である……プレハブ構成部材
(2) 軽量性に富んでいる。
(3) 断熱性，耐火性，吸音性が良好である。

これらは最近建築界で問題となっている建築物の軽量，高層化，不燃，耐火などの要求を満たす諸性能であり，その目的に対しては最適の部材といえよう。これらはいずれもすぐれた諸物性を挙げたものであり，建材として使用する場合にはこの他に種々の問題となる物性もあり，それらを十分承知しておく必要がある。物性一般についてはALC研究会の報告その他の資料がある。それらにもとづいて使用者の立場で見た注意事項などについてのべる。

物性について次の各項目をとりあげる。

比重，強度，弾性，めり込，衝撃，吸水，透水，膨張，収縮，ひびわれ，断熱，吸音，遮音などについて概説する。それらの内吸水，透水についてはALCの仕上に関連する基本特性であり，種々施工上の問題点もこれらに密接に関係している。まためり込衝撃部分剪断力などは現場作業時における角欠，欠損などに関連する。なおこれらの諸物性の内吸水は強度，断熱効果など複雑な相関性を有している。これらはALC特有の物性であり，他の建材と大いに異るところである。

3.1 概 要

ALCの物性を長所と短所にわけてあげると次のようにいえよう。これらの内一部のものは長所であり短所と考えられるものがある。

長所と考えられるもの。

(1) 比重が小さい

比重は0.6程度で木材と同程度で，コンクリートの¼である。

(2) 寸法精度が高い

工場製品であり寸法精度が高い。寸法の公差または許容差は長さの公差10mm，幅の公差4mm，幅の許容差±2mmである。

(3) 断熱性がよい

熱伝導率0.11～0.13位でコンクリートの⅛～⅛である。しかし吸水するとこの性能は低下する。

(4) 耐火性が大である

屋根パネルは30分耐火，床パネルは1時間～2時間耐火，壁パネル2時間耐火。

(5) 加工性

鋸による切断，かんなによるけずり，釘の打込，ドリルによる孔あけなど加工性が良い。

短所と考えられるもの

(1) 強度，弾性が低い

圧縮強度は気乾状態で40kg/cm²，これはコンクリートの¼～⅙程度である。飽水すると比強度は⅓ほどに低下する。引張強度は5kg/cm²，曲げ強度は10～15kg/cm²程度である。

(2) 運搬途中などの角欠け，耐衝撃性

ALCの衝撃エネルギーは10kgcm程度のもので直径1.5cm程度の破壊直径を生じ角部は破壊しやすい。角部は比較的小エネルギーで破壊する。反面ヤネ版で8kgm，内壁版としては5kgm以上で比較的耐衝性は大きい。

(3) 吸水，透水性がはげしい

気乾状態の含水率は10°/vol程度であるが飽水すると40°/vol程度になり比重も0.9位になる。またこの吸水により他の物性が影響を受ける。

強度，断熱性などの低下を来し，かつ仕上材の選択，目地工法の検討など諸種の問題点が生ずる。

(4) 乾燥収縮

一般に収縮率はコンクリートに比して少なく，飽水から気乾の状態においては収縮きれつの心配は少ないが，気乾からさらに絶乾状態に近く使用するとひび割れを生ずるおそれがある。

(5) 遮音性

ＡＬＣはコンクリートに比して遮音性は劣る。間仕切壁に使用する場合など隣室の話声などが聞えることがあるので仕上其他に注意を要する。

以上物性についての概要を最初に述べたが若干それらについて補足しておく。それらに先立ってＡＬＣの物性は吸水状態でかなり相異を示すのでそれらの状態の定義についてのべ，ついで本論に入る。

3.2 状態の定義

ＡＬＣはその含水率によって5種類に区分している。特に使用状態の気乾を重視している。

(1) 絶乾状態：試験体を105±2℃のかくはん機付空気乾燥器中で一定重量となるまで乾燥させたときの状態。

(2) 標準乾燥状態：ほぼ気乾状態に近い試験体を温度70±5℃のかくはん機付空気乾燥器で，試験体の最小寸法d(cm)の5倍の時間（5ｄ）だけ乾燥させたのち，乾燥器の熱源を切って常温まで下げたときの状態。

(3) 飽水状態：ほぼ気乾状態に近い試験体を温度20±2℃の水中に48時間浸漬したときの状態。試験体の上面は水面下約3cmになるよう保持する。

(4) 標準気乾状態：飽水状態とした試験体を温度20±2℃，温度60±5%の室内に14日間以上放置し，一定重量となったときの状態。

(5) 気乾状態：試験体を室内に7日以上放置し，一定重量となったときの状態。

3.3 比重

ＡＬＣの気乾時の比重は0.55～0.6である。この比重は含水状態によって異り，絶乾時0.5で上記気乾時の含水率は10°/wt前後であり，吸水がさらに進んで40～80°/wtとなると比重も0.7～0.9になる。

3.4 強度，弾性

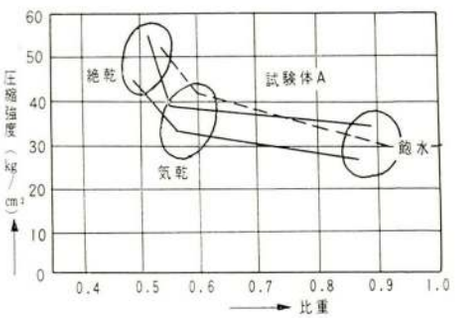
圧縮強度は気乾時40kg/cm²で，コンクリートの¼～⅙，木材の⅒程度である。また吸水状態により強度が変化する。絶乾時の強度は気乾時の20～30%増となる。反面飽水時には10～20%低下する。この場合比強度（圧縮強度と比重の比）は⅓になる。これらのことは施工上，仕上，養生において吸水対処が問題となる要因である。

圧縮強度以外の曲げは10kg/cm²前後，引張は4～7kg/cm²，剪断強度4～9kg/cm²である。これらは仕上モルタルなどを施したばあいのモルタル強度がこれらより大きいときはＡＬＣ面内における剥離などを起すことがあるので注意を要する。

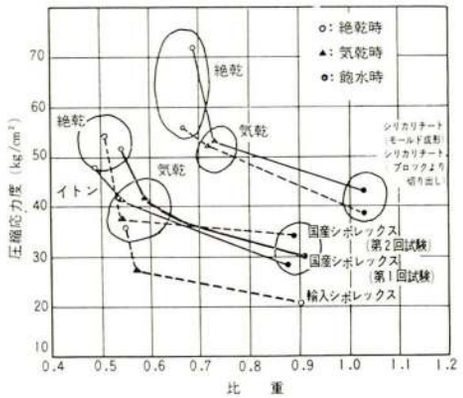
表―2　ＡＬＣの物性表　（表中，研究会65はＡＬＣ研究会報告1965 / 〃 66 / 〃 1966　資料は各メーカーの技術資料）

物性	シポレックス	出典		ヘーベル	出典		イトン	出典	
	研究会65	資料	研究会65	資料	研究会65	資料	研究会65	資料	研究会66	資料	研究会66	資料
比重 絶乾		0.5		P 25		0.5		P 55		0.5		P 42
気乾		0.6		〃		0.6		〃		0.55		〃
構造計算用kg/m³		650		〃		650		〃		650		〃
強度 圧縮 kg/m²	40	同左	P 4	〃		40		〃	35～45	40	P 10	〃
弾性 曲げ 〃	10～12	同左	P 14～16	〃		10		〃	7～9	8	P 14	〃
剪断 〃	4～9	同左	P 25～28	〃		5		〃	4.8～7.9	5	P121	〃
引張 〃	4～7	5	P 16～19	〃		5		〃	5	5	P 19	〃
付着 〃	25～30	20	P 20～21	〃					15～20		P 20	
ヤング係数 〃	2.02×10^{4}	同左	P 10	〃		1.75×10^{4}		〃	1.3～1.5	1.6	P 4	〃
クリープ	13×10^{-4}		P 12～13						12.6×10^{-4}		P 21	
めりこみ	本文参照		P 22～25									
衝撃	〃		P 29～30					P 64	本文参照		P 33	
吸水 全面吸水	本文参照		P 35			39°/vol		P 55	本文参照		P 26	
透水 部分吸水		20～23°/vol 100日		P 25		22°/vol		P 55	〃	15°/vol 50h	〃	P 42
吸水高	本文参照		P 36			本文参照			〃		〃	
防水ブロック試験	合格		P 38			〃						
セメント防水剤試験	2cm/3h		P 38						本文参照		P 26	
風雨加圧透水 〃	1.5mm/2h		P 39									
膨張 吸湿膨張 10^{-4}	2～9		P 31							7		P 42
収縮 乾燥収縮 10^{-4}	2.5～4	2.5	P 32	P 25		5.0		P 55		2～4		〃
ひびわれ												
断熱 熱伝導率 kcal/mh℃	0.11	0.11	P 351	P 25		0.13		P 55		0.13		P 42
熱膨張率 10^{-6}	6.7	6.7	〃	〃		7		〃				
吸音 吸音 %	14/500%		P 357～358	P 25		8/1000%				7/500%		P 42
透過損失 db	34/500%		P 359～363	〃		40/1000%				30/500%		
耐火	ヤネ30分 壁2h	床1h 柱2h	P 276～285			同左				同左		

図―1　（出典：施工管理6608，P51）



図―2　含水変化と圧縮強度の関係
（出典：ＡＬＣ研究会報告 '65，'66）



3.5 めりこみ

めりこみはＡＬＣを壁に取付けるときなどにおけるネコなどによる加圧板による版の挙動性能を示すものである。

(1) 平板を加圧したときは巾30cmまでは貫入めり込となり，巾30cm以上となると圧縮状態となる。

(2) 加圧板の下または至近の組織は順次こわされ「へりあき」はほとんど影響ない。

(3) 最終は割裂でこわれる。

(4) 耐力と変位は50kg/㎠あたりまで直線である。

3.6 せんだん

壁ＡＬＣに床ＡＬＣ版が乗るような場合の性状で，試験の結果は4kg/㎠と9.3kg/㎠と開きのある数字が出ている。

肩がくずれるようなことはない。

3.7 耐衝撃性

ＡＬＣは運搬加工に際し角欠やきずがつくなど衝撃に比較的もろい。これらに対する性状とパネルとして使ったときの状態を落錘による試験ＡＳＴＭ式のパネルを垂直に立て錘を投げつける試験などにより考察している。試験方法，時期など一定でないが次のようにいえよう。

(1) 垂錘による破壊試験から考察するに 10kg･cm 程度の衝撃エネルギーでは破壊直径 1.5cm程度のものが生じ，150kg･cm 程度のエネルギーでは直径３cm程度のものが生ずる。したがって比較的小エネルギーで角部などは破損する。角欠は厳密には局部剪断によるものと考えられるが，上記からも考えられる，運搬加工において特に注意を要する。反面版内になるとかなり大きな衝撃でもめり込は少ない。

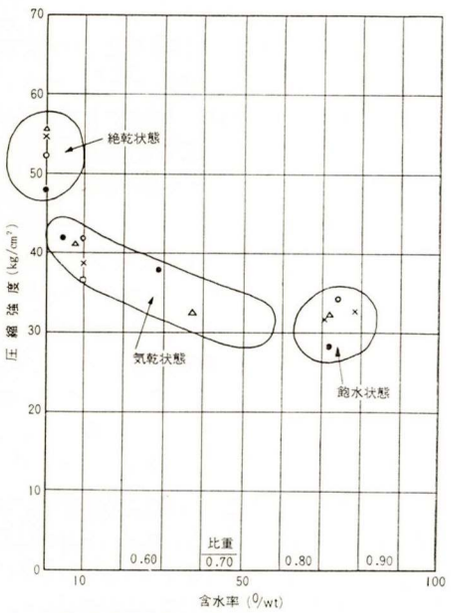
(2) 屋根版としての耐衝撃性

ＡＬＣ版は8kg･mで初期きれつを示す。建設省研究所では耐衝撃規準として亜鉛鉄板ヤネで3kg･m以上を考えている。また強風雨時の飛来物や野球ボールなどは1.3kg･mを推定されている。

(3) 内壁版としての耐衝撃性

建研の内壁板としてのこの性能に対する規準は14ｍｍ厚のラワン合板などで5kg･m以上であり。内壁材料に必要な性能として足で蹴るときの衝撃を1kg･m位としている。これらから内壁版としての耐衝撃性能は十分であると考えられる。

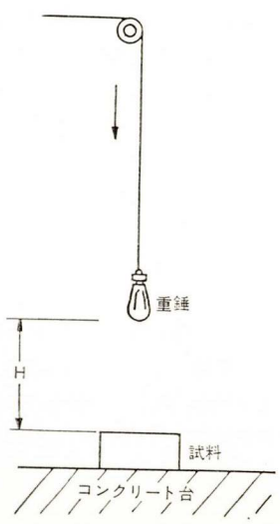
(以下次号につづく)



図―３　含水率と圧縮強度の関係

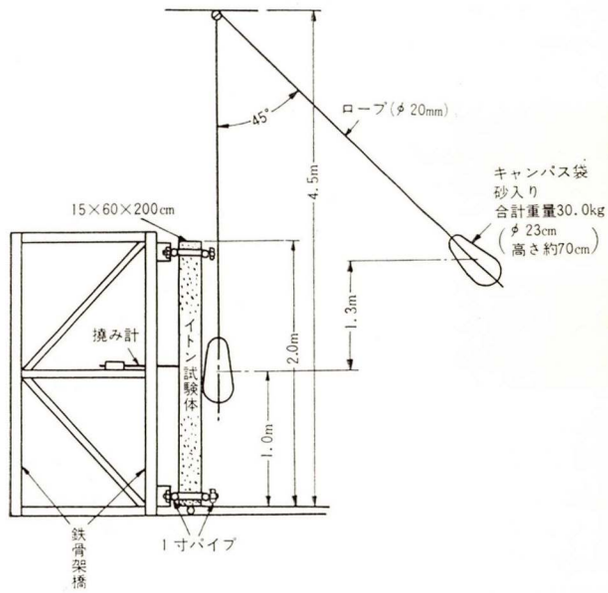
（註）1. 試験条件
シングルキャスティング中央部
10cm cube
ヨコ方向加力（発泡に直角）
2. マーク　○ 日セ　× 明大
□ センター　● 建研　△ 工大

（出典：ＡＬＣ研究会報告 '66 イトン編）

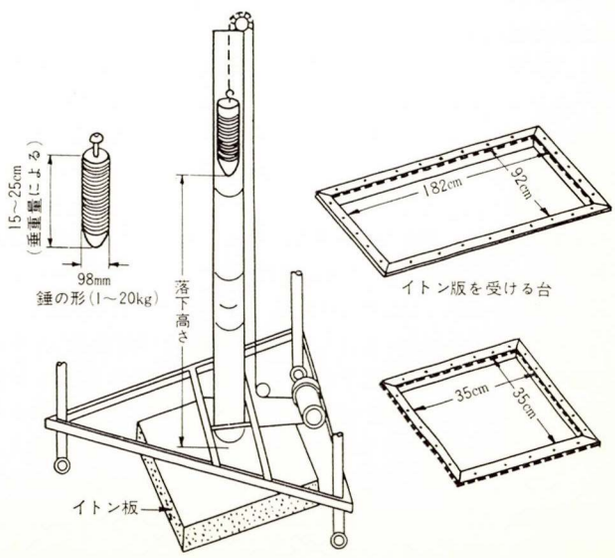


図―４　垂錘による衝撃試験略図
（出典：研究会報告 '65 P.29）

図―５　砂袋式衝撃試験装置
（出典：研究会'66 P.33）



図―６　落錘式衝撃試験装置（出典：研究会 '66 P.33）



屋根葺工史話(1)草葺屋根工……昭和42年7月号既載
屋根葺工史話(2)桧皮葺史話……昭和42年8月号～11月号
屋根葺工史話(3)板葺史話……昭和42年12月号～昭和43年1月号

屋根葺工史話(4)瓦葺工史話(その1)

宮　村　次　郎

いつまでも限りならまし瓦屋の
下焼く　胸を　知る人はなし
（職人尽　歌合せ　四十四番）

前　が　き

日本瓦は大陸からの輸入技術で開発され，その後中世中期に至って明様の刺激を受け，近世になってその流れに何か関係のありそうな近江の人によって開発されたように，終始外国技術の導入によって今日の隆盛を見るに至った。瓦の語原については徳川末天保十三年沢田新右衛門の著わした家屋雑考に，瓦の語原を種々あげているところから見ても近年まで納得される説がなかったらしい。同書に「瓦は加波良焼泥為之蓋屋宇上。と見ゆ旧説に瓦は屋上の皮なれば此名ありといふ。また一説に甲冑の古名を伽和羅といふ。古事記（下巻）日本紀(崇神紀）等に見ゆ。又亀甲を伽宇羅といふもすなわち伽和羅と伽波羅と仮字違へるは和訓相近き故転じて分れたるなるべし。又按に続紀天平神護二年瑠璃瓦を用て新殿の屋を葺かれしかば世に是を玉宮と称せし事見ゆ。こは後世の青磁焼などいふほどのものとおぼし」とある。如何にもこじつけがましく思える。広辞苑には「粘土を一定の形に固め瓦窯で燻焼にしたもの。主に屋根を葺くに用い又床敷とする」語原は梵語として「Kahala」とある。この方は仏教と共に印度から東漸して来たことを思わせ，瓦の沿革と一致して納得が行く。瓦の研究は文化芸術方面にはかなり成果が上っているが，業界に関係の深い施工や生産方面の研究は甚しく立遅れており，瓦葺家の遺構はあっても度重なる改修に旧態を残しているものはほとんど無いようで，史話的の話を進めるにも，筋道を通すに足る資料にさえこと欠くのが実状である。しかし瓦は紙と共に建築材料として古代からの歴史を持ち，しかも両者が相反する独得の特質を持っておりながら共に最初から規格化された工場製品の座にあり，もっとも進歩的な性格も有していた。その進歩のあとを辿ることは両者の技術的，商品的の発達や利用の得失価値など，建材の研究上有益な上に，これらに類する建材の利害や採用などにいろいろの貴重な資料を提供すると信ずるものである。瓦は幸にして現代に至っても重要な建材であるが，利用範囲は極限されている。これに反し利用の高い，扱い易い紙は建材の面では発展が少なかったが，他の利用範囲は益々高まり，江戸時代から紙商の大をなすものが頗る多かった。しかし建築経師たる職人は，種々の政令による障害も多かったためもあるが，余り振わず，暇の多い職人として扱われた業態であった。商品価値と労力，商人と職人の面白い研究課題である。しかも硝子の進出は一層紙の建材としての価値にブレーキをかけた節もあるが，最近は紙類の建材の進出に，再び経師仕事が拡大の機運に向うように考えられる。たとえば日本の経師がソ連に出職して大ホテルの壁仕上げを完成した例に見るように，発展的な変革であり，新建材の登場によって，その他類似の内装材などとの兼業による同品種の内装業の統合を期待し得る時代になったと考える。古と余り変らぬ瓦を，紙とそれに類する新建材を頭において話を進め，次第に大型化の要請下にある下請業の今後のあり方の参考とし，瓦にもまた外装業の途もないことも無いことを考えて見たい。

瓦葺工の沿革

日本瓦の文献は崇峻天皇元年（558年）のものが初見である。しかしわが国と大陸との交流は有史以前からであり，大陸産の瓦の遺物も皆無とはいいかね，縄文，弥生時代の土器や須恵器の窯業技術のあったことを考えると，文献に見られる以前にある程度瓦についての知識はあったと思える。特に三韓と外交上の交渉の深かった武内宿弥の後裔たる大和朝の実力者蘇我，橘，平群，巨勢の諸氏の内には仏教を渡日以前から知っていた者があった。また応神天皇（300年）のとき武庫港の新羅船の船火事で日本船が延焼した償いに，新羅王が急派してきた，後の猪名部の祖の木匠の一行はもちろん寺院のことは熟知していて，瓦の知識はあったと思う。だが瓦の家があったとは考えられない。

ところで同様なことは紙にもいえ，和紙はわが国で生産される文献（610年）の三百年も前（285年）から論語などの書物などとして輸入され，また生産もされていた節が認められ，瓦と紙が同時期に存在するようになったのがうかがえる。いづれにしても瓦の歴史はすなわち寺の歴史であり，切り離せない関係にあり，したがって瓦の話も仏教の渡来から進めることにする。

さて欽明天皇十三年の条に（紀）「十月十三日百済聖明王，仏像，仏具，経論等を献ず。群臣其納否を諍う。天皇之を蘇我稲目に賜う。稲目其向原の家を寺と為す」とある。（552年）続いて百済などから僧や経典が移入され，敏達天皇六年（577年）「百済王……経論及律師，禅師，比丘尼，咒禁師，造仏師，造寺工，六人を献る」とある。その造寺工の内に，確かに瓦工に明るい者があったとも思える。当時職業の分化が進んでおらず，指導的な工匠は多能的技術者が多かったからである。

次に崇峻天皇元年（588年）「是歳百済使を遣して調を進め仏舎利，僧侶，寺工，鑢盤博士，瓦博士，画工を献ず」とあり，初めて瓦の専門家の来朝が文献に現れたのである。このことあって後「馬子法興寺を飛鳥真神原に作る」同三年「山に入りて寺の材を取る」などの記録が見え，同五年「大法興寺の仏堂と歩廊とを起つ」とあり，外来技術で初めて伽藍の建設を見るに至ったのである。このときの瓦博士は麻奈父奴以下四人である。そして推古天皇四年（596年）に造寺が畢るとされている。すなわち寺工，瓦博士来朝以来八年に当り，その間造瓦の諸準備や試作が製造なされ，ある数の瓦工の誕生を見たのである。山野の草を分けて土を探したであろう名実共に瓦業の草分けの人達である。

その間に四天王寺，続いて広隆寺，法隆寺が建てられ，推古天皇二十四年（616年）には天皇の不予に依りその延命を願われ，「諸伽藍を建つ諸国の国造，伴造，復各寺を建つ」とあり，その数年後の調査では寺数四十六カ所となっている（629年)。それが持統天皇五年（692年）には「天下の諸寺を計るに五百四十五寺あり」（扶桑略記）となり，数に間違いが多少あったにしても僅か六十年に11倍となっている。

民衆に無縁に近い寺院のみの建立は異常という外ないが，この間の大陸の建築技術，瓦の生産技術の向上は疑うべくもない。しかしこれらの伽藍の屋根がすべて瓦でなかったことは大略想像され，概して品質は必ずしも良くないが意匠の面では優品が多く，意匠の割に生産技術が大陸の進んだ技術について行けなかったことを示している。また瓦窯など生産に関する資料も未だ明らかにされていないのが実状で，飛鳥寺の寺域

から発見された窯（斑鳩町三井東山の窯―法輪寺瓦の窯かといわれている）などが古く，そのある位置から見て重視されている程度である。

さてこのような仏寺の造営は，大和朝の指導者達が仏教を取入れ，造像起塔の尊大さで国民支配の具に供せんとした政策的な色彩が濃く，初めから鎮護国家仏教として出発しており，恵まれぬ国民の福祉を願い，災禍を払いたい神頼みの切実な願とを巧みに結びつけて尊崇の対象としようとしたもので，国民の実生活とは全くかけ離れた存在であった。その現れが寺院のズバ抜けた建物となり，庶民の住宅とは想像を絶する違いのあるものの建立を見たのである。この状態は六，七世紀頃から初まり以後大略六百年も続いたのである。参考のために，当時臣民の実力第一人者で，公家とさえその勢威を競うに足る蘇我入鹿父子の邸構えの模様を紀によって見よう。「蘇我大臣蝦夷（エミシ）が児入鹿臣家を甘檮岡（アマカシ）に双べ起つ。大臣の家を称びて宮門（ミカド）といい入鹿の家を谷宮門（ハザマ）と曰う，男女を称びて王子（ミコ）といふ。家の外に城柵を作り門の傍に兵庫（ヤグラ）を作る。門毎に水を盛るる舟一つ，木鉤数十を置きて以て火の災に備う。恒に力人をして兵を持ちて家を守らしむ。大臣長直をして大丹穂山に桙削寺（ホコオヌキノテラ）を造らしむ。更に家を畝傍山の東に起て池を穿りて城と為し庫（ヤグラ）を起てて箭を儲む。恒に五十の兵士を将いて身に繞らして出入す。健（チカラビト）を名づけて東方儐従（アヅマビトトリベ）者と曰う。氏々の人等入りて其門に侍る。祖子孺（オヤノコワラハ）者と曰う。」とある（註，つまらぬような文献に見えるが，戦国時代の武将の館のことと照合され参考となるところが多く，貴重な文献である）。紀の筆者は蘇我氏の豪勢振りを語ったつもりの文であろうが，戦国時代の山間の一豪族の家の構え程度であったことは，住宅の発達史的に意義が深い。庭では蝦夷の父馬子のとき「飛鳥の河の傍に家あり，乃ち庭中に小さき池を開れり，仍て小さき島を池の中に興す。故時の人嶋の大臣と曰ふ」（紀，推古天皇三十三年）自然に僅かに手を入れた程度の庭（ミマ）も珍らしかったのである。したがって一般の農民は登呂などの遺跡に復元されているような惨めな竪穴住居と大した変り栄えのしない茅屋に住んでいたので瓦など思いもよらず，瓦舎は寺の別名で忌名でもあったのである。

しかし三韓との交流も繁くなり，難波に三韓館の設置があり，皇室で唐制の儀式を模倣する風が起ると，その用途にあてる公式の建物から唐風に変化を見せ初めるに至った。すなわち皇極天皇の代に，小墾田の宮を瓦葺にしようと企てたが果さず，内裏の大極殿だけは瓦葺とし，また一時板蓋宮（拙稿桧皮葺項参照）も試みられたが，天武天皇大宝六年（701年）には遂に官舎の一部を瓦葺にした文献がある。ついで聖武天皇の難波宮の正殿の建造は瓦葺であったことが，山根博士の不屈の努力の結果明らかにされている（744年頃か）。このように寺以外に瓦が進出を見る反面に，伽藍内の諸建築が桧皮葺などのもので葺かれたものが文献に見えている。寺院は貴族的の存在でもあり，寺内の隷下の人達の必要な建物の屋根材などと差別が少なくなるのも自然であったと思える。

中世の瓦葺工

中世の業界は，京・鎌倉の政治的二中心地の併立を初め全国的に国民の活動範囲が活潑となり，中期以降は全国に配された守護大名や地方の新興の大名の城下町を初め地方都市の発達に伴って，業界が著しい発展を見るに至った最も重要な時代である。瓦業としては，源光行の東海記に「千万宇の宅軒をならべ」とか「加之家屋甍を並べ」（吾妻鏡）などの文献はあっても，実は館の一部が桧皮葺で他は草屋板葺が主であり，大部分は一辺上人絵伝に見る鎌倉のみすぼらしい町並が真に近かったろう。

したがって同時代の初期の主たる建築を取上げるとすれば，頼朝が南都の諸寺の平家討伐の協力に報いるため，東大寺大仏殿の再建を主に，大和の伝統の諸寺の復興に助力し，実績を残したことであろう。すなわちわが国の同時代の建築の遺構総数の三十七％に当る六十有余を大和の地に残していることがそれを物語っている。東大寺の瓦は，地元はもちろんだが遠く三河渥美郡伊良湖の東大寺瓦窯（三基のトンネル窯と一基の平窯とからなる）（昭和四十二年三月文保委指定）や，備前国赤磐郡太田村万富の瓦窯などからも供給されている（島田氏，日本瓦発達史八木甚三郎氏）。万富の瓦は，その後瀬戸内海の東大寺系の寺の瓦に活躍したことが想像される。（註，万富は平家の旧勢力圏内であった）

次に同時代の瓦の発達には，瓦に縁の深い仏教が，平安末から庶民の宗教として著しく布教を見たことを見逃すわけにいかない。すなわち法然，親鸞，道元，日蓮の四始祖の出現により，仏教が新らしい宗教活動に入り，それが偶々革新に目覚めた国民各階層内に深く浸透して，国民の真の意味の宗教となったことである。中でも真宗が農民の中に，日蓮宗が商工業者の中に，格別の信徒ができ，ついには勢余って一揆の暴発となって民衆の集団力の強さを身を以て示すに至ったことは，建築業者にも若干の関係もあるだけに重視されよう。

しかしさすがに始祖達の在世中は如何にも傑僧らしく，道元の「当世の人多く造像起塔のことを仏法興隆と思えり，また非なり」とし，仏教の造型面への執着に明確に否定的であったが，彼らの没後は僧俗共に次第に俗化し，建築の面にも現実の姿として影響が現われて来た。

まづ支配者たる武家の信仰の厚かった禅宗では建長寺，円覚寺が北条氏の手で，京都の五山十刹や全国五十八カ国二島ごとの安国寺が公家や足利氏の人達の手によって建立された。その他は広い信徒を持つ浄土宗の知恩院，真宗の各所の本願寺，日蓮宗の久遠寺，大石寺など数々の寺院の建設が，大小はあったが全国的に建立を見るに至り，再び造像起塔の盛時となった。しかし旧宗派でも法隆寺のごときは，建長寺などと時を同じくして東院，絵殿などがテンポは遅くとも次々に改修復興が続けられ，延々室町時代にまでおよんでいる。

このような寺の増加によって，他の屋根葺のものも多かったが瓦業の普及も大きく，瓦業が全国的に益々その裾野を広げて行った原因をなしており，やがて城郭建設時代となって瓦の浪の美しさを各所に見ることができるようになった。瓦の普及は，身舎は草葺，庇・下屋は瓦葺などの家というように屋根材の自由な撰択利用が進み，住宅の改善や瓦屋の和風化・多彩化に大いに役立っている。この頃になると，大鋸の輸入もあり，製材の進歩もあって建具の利用が著しく伸び，和紙は障子紙への利用が進み，襖紙用の唐紙の生産ができるようになって（七十一番職人歌合，二十三番）紙も重要な建築材料にのし上って来た。

中世の造瓦の概況は以上のように遂次発展を見た。そして他の商工業と併行して技術的には独立の段階に達し得るものも次第に増加し，中世末に至って俄然未曽有の瓦ブームの機運に恵まれるに至ったのである。そのような独立自営の推進力の一つになったと思われる経済的原因に，採土の人手の困難が次第に表面に現われて来たことが上げられる。島田氏の造瓦七頁に採土の権利書の例示がある。埴土も売買の対象となり，運賃その他の諸費用が数多くかかる時代になったのである。桃山期の京都の東山の大仏殿の瓦土は泉涌寺の辺から取った（田辺雀山氏談）とあり，事実大仏殿として一番埴土採掘の適地であったろうが，たとえ天下様でも住民への補償などがすでに必要であったに違いない。このような価格構成の変化が，商品化を進める重要な因子であったろう。

次に中世の瓦工を見よう。この時代になると，大和には定着した瓦大工もできてきて，大和盆地を主に各寺院の瓦の出仕事に従事していた。また中には身につけた技術を持った瓦工が，大和，山城などから全国に分散定着して行ったと見てよい。文献の上で明かにされる瓦大工は応永年間（1390年前後）の橘国重がある。（註，瓦大工，寿王彦次郎，橘吉重，天沼俊一，考古学雑誌六の六）彼らの事績から見ると，社寺に隷属していた有力な瓦工の内には瓦大工の許に瓦工の集団を結成して，出職して歩いた集団の存在がなお溯って考えられそうである。橘吉重は法隆寺の堂塔の瓦の改修に関係した瓦大工で，父が国重である（註，法隆寺国宝保存工事報告書第八冊舎利殿，絵殿，伝法院）。吉重は自分の関係した工事の土瓦に，折にふれて仕事上の種々の思いついたことを書き残していた。その瓦が，偶々国宝建部物の改修の際初めて明るみに出て，まことにまたとない瓦の貴重な資料となったのである。（つづく）

誌面の都合により，筆者のご諒承を得て，初期の瓦業の生態について記述してある下記の章を割愛させて頂きました。

都城の建設と建築界（瓦葺から見る）
奈良期末期の造瓦
平安朝時代の瓦業から見た業界

建築物安全基準試案に対する意見書

日本建築協会など在阪6団体の会長支部長名で上記意見書を9月5日付で建築省住宅局長や関係機関へ提出した。

：は　し　が　き：

1. 昭和42年度建設省建設技術研究に関わり，建築業協会が担当して技術革新および社会経済の発展に即応した建築物の安全性確保のための具体的基準を策定する趣旨で研究を進めた結果，得られた成果は「構造安全基準試案」および「防火安全基準試案」として昭和43年4月公表された。
2. 建築物の安全性は，現在建築基準法関係法令によって規制されているが，最近の社会経済の発展により生じた建築物の用途・構造・形態等の上の大きな変化と建築関係技術上の著るしい開発や発展を背景として，これに即応した新しい観点からの安全性に関する基準を設定し更に現行法令を改めて新しい規制を行う道をひらくことは誠に時宜に適した意義深いことと云わなければならない。また，基準設定のために建築業協会が全国的な規模で，有識者・研究者を集めて研究委員会を組織し，周到な調査研究を重ねられたことに深く敬意を表するものである。
3. 二つの安全基準試案に盛り込まれた考え方は，最近の構造理論の発展や建築材料・構法・施工技術の進歩に即したもので，趣旨として異議のないものである。しかしながら，従来の法令の根底をなす考え方に比べれば，かなり大幅の相違点を含んでおり，規制の実施に当って混乱の恐れはないかという疑念，また研究期間の短期に原因していると思われる内容の不均衡も指摘された。
   このため，昭和43年6月大阪に於て京阪神地域の建築関係者に対し試案の説明会が催された機会に日本建築協会が中心となって地域建築関係者のこれに対する検討と意見提出を求めることとした。
4. この検討は，昭和43年7月第1回会合を行って以後，次のグループと参加者によって各グループ毎あるいは総合的に数次の会合を経て取りまとめ，更に在阪各団体の諒承を得たものである。（グループ・参加者省略）

安全基準試案に対する意見書

Ⅰ　構造安全基準試案について

A．全般的な意見

1. この試案に於て，構造設計については大筋として従来の方式とのつながりを念頭において新技術等による追加・補正を行う程度にとどめられている。しかしながら，いわゆる合理的な構造設計基準を設定することを目標に，荷重および外力については再現期間，構造物については終局強度という新しい概念が導入され，建物の用途重要度等に対応する用途係数がとり入れられたり，従来の方式であった構造計算に替るものとして構造試験の重視等の一連の条項は，時代の要請に即した新しい方式への移行を示すもので，今後の努力によって更に充実と展開を計らねばならない。
2. しかしながら，たとえば試案施行令第36条に示唆されるように終局強度を基本とする塑性設計法による構造設計を今後積極的に認めるのであれば，それに必要な設計条件・手続・審査方法等について規制を急ぐ必要があり，これに伴う各種の試験制度・審議会等の組織についても法律的に明確化しなければならない。
   このような方式を進めるための学術・行政両面の組織の実情は遺憾ながら不充分であって，殊に地方に於いては殆ど受入れ不可能に近いことを指摘しておきたい。
3. この試案の法的な構成は，建築基準法・同施行令ならびに建設大臣が定め又は指定する技術的基準（以下技術基準という）を骨子とするものである。法および施行令に於て原則となる考え方を示し，細則・数値・数表・計算式等を低位の規定に移したと解せられるがこの技術基準によって規定する技術内容には個々に若干の不均衡が認められるので是正を要望したい。
   また，この技術基準は極めて重要な内容を含むものであるので，充分審議の上制定を望むものであるが，爾後の改正あるいは修正についても，その審議方法・改正手続を予め定めて法制化しておく必要があろう。
   なお，試案に示された法・令・技術基準三者の取扱い方や，相互の関連について精粗のむら乃至不統一が見られる点も併せて是正を望みたい。
4. 現行法による構造設計では，建築学会の各種計算規準が広く使用されているが，本試案の技術基準の内容の一部はこれと近い関係にあるので，推奨規準を掲げている学会の基準と最低の基準を定めることを建て前とする法令における技術基準との相互の関連を明確にしておくことが望ましい。
5. この試案でとりあげているのは，純技術的な問題に限られているがこれが法令として施行されるためには，設計に関与する建築士・設計図書を審査する官署の立場，ならびに違反・災害に対する処理等に関して建築基準法・建築士法・その他関係法令について必要な改正や整理が併行して遅滞なく進められなければならない。

B．箇条別意見（省略）

Ⅱ　防火安全基準試案について

A．全般的な意見

1. 試案に於て，人命尊重を第一とし，そのため安全有効な避難手段の確保に重点をおくことに賛成である。但し，要避難者について，その要避難者のいる位置の条件と要避難者自体の状態に留意することが重要であり，更に火災発生建物内の人命ばかりでなく，周囲の延焼危険のある建物内の人命および消火救助活動に従事する者の人命にも考慮を払うことが肝要である。
2. 物質的損害の軽減については，延焼によって第三者に損害を与える場合と大火となって社会全般に広範な被害を与える場合を除き，避難完了後の当該建物の損害は従と考える方針に原則的に賛成する。
   但し，延焼の危険が長時間に亘るような鎮火のおそい火災は，一般市民に大きな心理的な不安をおよぼすので，物質的損害は法の規制外として放置しないで何らかの規制は必要となろう。
   これに関連して設計者の意図した防火性能を建築主や使用者に徹底させる方策が併せて考慮されなければならない。
3. この試案に於て，避難についての規制条項が欠けているのは遺憾であるが，建築センターが策定した「建築物の防火および避難に関する基準整備基本方針」は，この問題について貴重な示唆に富むものであり，この機会に避難関係の規定の整備を望みたい。
   殊に，二方向避難の原則と避難路の途中又は端末部の出入口部分に隘路となる部分をつくらぬ原則とは必ず成文化されなければならない。
4. 建築物の防火性能の分類として，現行法にある簡易耐火構造を廃止し，試案のように耐火構造・不燃構造・防火構造の三種とすることに賛成する。但し，火災の実情からみて，不燃性の程度は建築物全体としての可燃物の量が大きな関係をもち，また火災に伴なう人命の損傷は，ガス・煙の発生に関連性の強いことに注意を払うべきであり，防火性能を火災実験によって判定し，設計上の指針とする道を研究する必要があると考えられる。
   このような観点からすれば，防火性能の判定はその建物の用途・規模・可燃物量・周囲の状況により大きく左右せられ，階数による差違はむしろ従と考てよい。
5. 試案において耐火設計に関する新しい提案があるが，趣旨は理解できるとしても，実際上火災時の熱応力については，検討不充分の段階であって適用は時期尚早と考えられ，また火災規模（設計火災時間等）の算定については，煩雑をさけるため簡明な表によって適用すれば，実用上充分であり特別な場合にのみ算定を行えばよいと考える。
6. 防火区画・安全区画なる用語の使用は不明確である。使用する必要のあるときは，定義と相互の関連性を明らかにされたい。

B．箇条別意見（省略）

日本建築協会 月間の動き

□昭和43年8月分□

理事会

15日　4時～5時　於会館集会室
出席者　東畑，塚本正副会長ほか9理事
議事(1)国家褒章候補者推せんの件
(2)秋の叙勲候補者推せんの件
(3)第9回関西都市・住宅会議共催の件
(4)日本学術会議第8期会員候補者推せんの件
(5)入退会者承認の件
(6)報告事項

出版委員会

施工部会
2日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　萩原部会長ほか9委員
議事(1)部会企画図書について
(2)部会の運営について

意匠計画部会
22日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　小林部会長，川上，原幹事ほか5委員
議事(1)部会企画図書について
(2)そのほか

編集委員会

都市のアクセサリー打合会
3日　1時～3時　於会館集会室
出席者　高木委員ほか2名
議事(1)10月号＝都市のアクセサリー特集について

委員会
9日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　足立委員長ほか6名
議事(1)9月号＝群としての住居特集報告
(2)10月号＝都市のアクセサリー特集報告
(3)11月号＝青年技術者特集報告
(4)12月号について
(5)来年の編集方針について

常任幹事会
9日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　足立委員長ほか3常任幹事
議事(1)来年の編集方針について
(2)12月号＝新都市計画法をめぐる諸問題特集号の編集幹事について

作品作風小委員会
20日　6時～9時　於会館集会室
出席者　西村主査ほか7名
議事(1)10月号作品決定
(2)11月号の作品について
(3)10月号＝都市のアクセサリー特集について

作品作風小委員会
24日　1時～8時　於会館集会室
出席者　西村主査ほか2名
議事　10月号＝都市のアクセサリー特集について

事業委員会

若い会員の集い小委員会
5日　6時～9時　於会館集会室
出席者　上田副委員長，佐藤幹事
議事(1)本年度第1回の事業企画について
(2)小委員会の運営について
(3)そのほか

懇親会小委員会
6日　6時～9時　於あやめ館
出席者　岡本副委員長，打浪幹事，ほか2名
議事(1)9月の委員会委員懇親会の企画について
(2)忘年懇親会の企画について
(3)そのほか

見学会小委員会
8日　5時～5時半　於会館3階会議室
出席者　山野副委員長，窪田幹事ほか2名
議事(1)7月に実施した見学会の報告
(2)9月に実施する見学会について経過報告
(3)伝統工芸の見学会について
(4)9月～12月の見学会企画について

委員会
8日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　政岡，岡本，山野正副委員長，窪田，三宅幹事ほか7委員
議事(1)各小委員会の事業企画について
(2)10月～12月の事業企画について
(3)そのほか

建築データシート編集委員会

編集Aグループ打合会
9日　正午～3時　於会館集会室
出席者　西川幹事ほか4名
議事(1)目次について
(2)次回の企画について

編集Bグループ打合会
9日　4時～6時　於会館3階会議室
出席者　篠崎幹事ほか2名
議事(1)目次について
(2)次回の企画について

編集Cグループ打合会
10日　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　樫原幹事ほか2名
議事(1)目次について
(2)次回の企画について

編集幹事会
13日　6時～10時　於会館集会室
出席者　中原，松村正副委員長ほか4名
議事(1)総目次について
(2)掲載会社の確保について
(3)各編集グループの作業について
(4)会員よりの編集に対する希望，意見の聴取方法について

委員会
21日　5時半～8時半　於北水
出席者　中原委員長ほか13名
議事(1)総目次について
(2)各編集グループの作業，出版工程について
(3)掲載会社の確保について
(4)会員よりの編集に対する希望，意見の聴取方法について
(5)そのほか

編集Dグループ打合会
27日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　松村副委員長ほか3名
議事(1)掲載会社の確保について
(2)原稿の〆切りについて
(3)そのほか

編集Cグループ打合会
29日　1時～2時半　於会館集会室
出席者　日本ペイント，関西ペイント，中村塗装，三木塗装，樫原幹事ほか3委員
議事(1)塗装工事の企画について

編集Aグループ打合会
30日　5時半～10時　於会館集会室
出席者　西川幹事ほか3名
議事(1)No.11（44年1月号）発行，鉄骨工事シート企画
(2)仮設工事，土工事，データシート掲載会社の編成と現況について
(3)編集グループの作業と工程について

住宅委員会

住宅スライド小委員会
12日　5時半～9時　於会館集会室
出席者　奥山主査ほか2名
議事　撮影したスライドのまとめについて

建材委員会

委員会
29日　3時～5時　於会館集会室
出席者　堀内，香取正副委員長，森田幹事ほか8名
議事　軽量コンクリートの特性について

安全基準試案検討会

7日　2時～6時半　於会館集会室
出席者　佐野，鷲尾氏ほか11名
議事(1)安全基準試案各グループの意見書検討
(2)意見書発表形式の件

14日　6時～9時　於会館集会室
出席者　佐野，鷲尾氏ほか3名
議事　意見書まとめ文案

21日　6時～10時　於会館集会室
出席者　坂，鷲尾，伴，佐野氏ほか13名
議事　「安全基準試案に対する意見書」について最終打合せ

鉄骨構造設計講習会

25日　岡山建設会館
27日　広島平和記念館構堂
各日共　9時半～17時
共　催
岡山　岡山県建築士会　本会中国支部
広島　広島県建築士会　本会中国支部
講　師
鉄骨構造の考え方
鷲尾　健三氏（大阪大学）
構造計画　木田　幸夫氏（大林組）
構造設計　長田　正雄氏（大阪事務所）
断面算定　宮川　達郎氏（泉事務所）
鋼管構造と溶接設計
若林嘉津雄氏（日建設計）
聴講者
岡山　120名
広島　170名

建築8団体事務局打合会

1日　1時半～4時　於会館集会室
出席者　10名
議事(1)スエーデン都市計画写真展共催の件
(2)第9回関西都市・住宅会議共催の件
21日　1時半～4時　於会館集会室
出席者　9名
議事　第9回関西都市・住宅会議の収支予算および講師ならびに開催日時などについて打合せ

3会事業委員長打合会

22日　正午～2時　於会館集会室
出席者　政岡協会委員長，西村士会理事，高木学会幹事ほか事務局員
議事　9月以降の共催事業について打合せ

万国博に協力する建設資材展示会

実行委員会
8日　正午～2時半　於大阪建設業協会
議事(1)展示小間申込状況報告
(2)ポスターについて
(3)材種配列について
(4)パビリオン等模型について
(5)ポスター，懸垂幕掲示場所について
宣伝部会
28日　1時半～4時　於大阪建設業協会
議事(1)参観案内先について
(2)懸垂幕掲示場所について
(3)ポスター発送先について
(4)招待者について
(5)ラッキーカードについて
(6)手さげバッグについて
(7)出品者名簿について

建築基準法改正案説明会

19日　2時～5時半　於日本建築学会
本会より土居法規委員ほか1名出席

会員名簿広告打合会

16日　5時～5時半　於会館集会室
出席者　事務局5名
議事　小間広告申込状況の検討

8月の入会者〔敬称略〕

〔団体会員　1社〕
太洋電機工業株式会社

〔個人会員　31名〕

青木　亮	斉藤　有弘	木本　栄治
栗津　邦男	斉藤　三郎	平田　浩機
梅本　正明	須賀　好富	深谷　浩一
岡田　実	田頭良之助	藤井　治孝
柏谷　保	田中　敏夫	右田　広
亀井嘉鶴男	高重　清弘	南　影樹
川ノ上嘉文	土居　唯宏	湯浅　定啓
木原　義照	内藤　正克	淀井　健彦
鞍谷　信保	中垣　正史	若重　正成
小山　重晴	長浜　忠	
甲元　国雄	根来　利明	

〔准会員　3名〕（氏名省略）

法隆寺展
43.8.31～9.23
京都会場（京都市立美術館）



国宝・多聞天（金堂・木造四天王立像から）

法隆寺再現壁画六号壁の観音菩薩（部分）



信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206－9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル5階 502号室）
直通電話　大阪（364）2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話㉒2923）

OKUYAMA·KAKOGYO
OAM
WATER·PROOF

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯 コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 デラタイト

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8－3　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り5－4　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811)3660・3104

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区東今里四丁目40番地
電話（981）0616～0618

暖冷房・換気・温湿度調整・衛生諸設備
設計・施工

曉建設工業株式会社

代表取締役　田中喜久雄
大阪出張所長　猪俣英雄

本社　東京都中央区日本橋通３－１　電話(201) 0181(代)
出張所　大阪市北区樋ノ上町５　電話(363) 4108～９
名古屋市中村丸ノ内２－17－10　電話(231)3046・6007
福岡市東湊町３８　電話 (74) ６８６３
(75) ５４８２

創業　暖冷房・換気・温湿度空気調和　設計
大正二年　病院諸設備・給排水衛生・水族館設備　施工

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内２の２　丸ビル６７６号
電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通１の１　大同ビル６１６号
電話 443代 3361
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄３の５番２９号　千代田ビル５１４号
電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町４８番地　電話 681(代)1781

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本店　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302)2271～9(代)
大阪支社　同上
東京本社　東京都港区芝浜松町2－7　電話 (434) 6171(大代)
支店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・盛岡・横浜・神戸

冷暖房　給排水、衛生水道　電気　厨房
各種サッシ　環境衛生施設　荷役運搬機械　化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本店　東京・日比谷・三信ビル
支店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳

本店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話 (441) 8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　北海道(札幌)・東北(仙台)・北陸(金沢)・中国(広島)
出張所　京都・神戸・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・津・豊田

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区富田町16番地　電話(364) 代表7031
支店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292) 代表7751
広島市紙屋町１丁目２番22号　電話(47) 代表4535
福岡市大名１丁目８番12号　電話(76) 代表3795
出張所　名古屋・富山・金沢・福井・京都・松江

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話京都561局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 ５８９２

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

営業種目●空気調和設備●給排水衛生設備●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座西6－３㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島２－22㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦２－２－13㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・北陸・神戸・広島・松山・九州

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電話 (351) (代表) ２８０８
本社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電話 (811) (代表) ６２９４
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話 大阪 (443) ５０４１～５番

東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地(日本ビル)
電話 東京 (270) ７４１１番(代表)

札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町２番１６号　電話 金沢㉑2074
福井出張所　福井市御幸２の１　電話 福井㉔2436
高松出張所　高松市２番丁９　電話 高松㉑5195
岡山出張所　岡山市大供３８０の１　電話 岡山㉔5486

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町３０　電話 (361) ５１７７(代)
(364) ０９７７(代)
本社　東京都千代田区丸ノ内３－２(新東京ビル)
電話 (211) ８５１１・８５６１(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町６０
電話 (21) ４４９１
名古屋支店　名古屋市東区東門前町３－６
電話 (971) ３６２１

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設 計 施 工

髙 砂 熱 学

大阪支店　大阪市北区梅田８番地(新阪急ビル８階)
電 話 大 阪 (312) 4　5　2　1 (代表)
本　　社　東京都千代田区神田駿河台４丁目２番地

暖冷房・給排水・衛　生・消火設備
設 計 施 工

株式会社　**森野工務店**

本社　大阪市北区菅原町７５　電話(361)㈹6571
支店　東京都新宿区新小川町３－32　電話(269)2833～4

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設 計・製 作・施 工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通１－２５(新大ビル)
電 話 大 阪 (344) １５１２(大代)
本 社 東京都中央区日本橋本石町４－２(三井第二別館)
支店東　京・名古屋　出張所 九　州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

冷暖房・温湿度調整・水　道
衛　生・環境衛生施設
設 計 施 工

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀１丁目６２　電話(443) 代表8161～９
支　店　名古屋市中村区水主町１の１２　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂２丁目３～１２
赤坂ピークビル５階　電話 (583) １４６７
神戸市生田区北長狭通７丁目1の1　電話 (34) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀４丁目　TEL(443) ８０７１
本 社　東京都中央区京橋２丁目９　TEL(562) １３５１
支 店　名 古 屋・福 岡

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設 計・製 作・施 工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋５－４５(興銀ビル別館)
電 大 阪 代 (202) ７７４５番
本社・工場　東京都北区神谷３の１０の８
電 東 京 代 (901) ３１９１番
空調事業部　東京都港区西麻布４-15-23(第５興和ビル)
電 東 京 代 (409) ０１５１番
支　店　名 古 屋・仙 台

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設 計 並 施 工

日本管工業株式会社

代表取締役 市 川 繁 雄

本　社　京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話(681) ５１０１～５・夜間専用(691) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋１－37(天満橋北詰)
電話 (352) **３５０１～３**
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊿7431～３
津営業所　津市栄町２－１１１　電話⑧３６１０
鳥取営業所　鳥取市品治町鳥取農協会館内　電話 (22) 4477

General Electric (G. E) 社製
冷暖房機「ゾンナル」「ウェザートロン」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」(西独WEBSTO社技術提携)

西日本総販売元

岩佐物産株式会社

本　社　大阪市北区老松町３－56(西天満ビル)　電話 (364)2238(代表)
東　京　東京都中央区霊岸島１－１０　電話 (551)1079・1617
名古屋　名古屋市南区大磯通２－７　電話 (821) ３５５８
四　国　八 幡 浜 市 大 黒 町　３　電話 八幡浜 514・１４

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社　**西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4丁目11　**電話大阪(458)3531番**
出　張　所　＝　京　都　・　福　岡

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通１－16(石川ビル)
電話大阪 (443) ３６６１～５

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備.　設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通２の２

エレベータ・リフト・カーリフト
設　計　・　製　作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役　長 尾 正 大

本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル) (351) 4927代 4540
大阪営業所　(351) 4927代　サービス事業所　(328) 0364代
東京営業所　(822) 0995代　工　場　(328) 0363代

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)　1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)　1361
営業所　京都市中京区西ノ京東中合町43
TEL　代表　(811)　9296

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九　電話・大阪(313)代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(553)0011代表
営業所　名古屋・神戸・岡山・倉敷・広島・北九州

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・広島・九州・神戸

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所②2607・4259

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊾3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊿1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長　今村騰

本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

奉仕感謝の店

タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
SSS タイル新発売

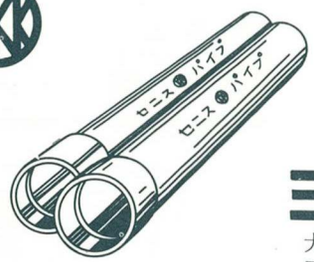
（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前
電話　大阪（532）０４６１～４番

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリュームの 東リカーペット 発売元

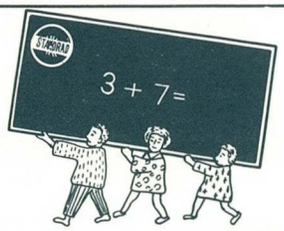
亀井株式会社

大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）
電話　大阪（251）1353（代）～ 6・9996



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪（358）４０３１



Standard Board&Slate

フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪（717）4561～２

営業品目
● カネボウ ゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－54　電話（702）代7814～６
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

●法定不燃材の屋根長尺現地成型

ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です

●責任施工・型録送呈

特許 ●耐酸・耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル
●永久建材の超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル（SPM）
カラースーパーオリエンタルメタル（CSPM）
●新時代にマッチした各種のカラー製品があります

オリエンタルメタル製造株式会社
本社工場　尼崎市大物北口　電話 大阪（481）8085～9
大阪支店　尼崎市北新町４－41（古川ビル）　電話 大阪（481）8085～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市東町２－２０－４　電話 蕨（32）3115～7
支店・出張所　郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

特許　内外式　意匠登録
電動ベンチレーター
屋上強制換気装置製作のパイオニア

50年の豊富な経験と技術、研究により
1．最高の換気率
2．スマートな外観
3．雨仕舞の完全
4．価格の低廉
5．直傭工による施工の完璧
6．行届いたアフターサービス

近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m/m（モートル 3HP）40基

内外建材株式会社
移転仮営業所　大阪市西区江戸堀北通２の３（新坂ビル）　TEL（441）3983～4・4396
工　場　大阪市城東区天王田町１の１４１　TEL（962）１１４９

内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

製造発売元・責任施工

特許ニッポン防水液
ニッポン防水液B号
ニッポン急結液壱号
ニッポン耐寒剤
ニッポン防水目地材
ビルコート

標準セメント防水剤



黒川化学のセメント防水

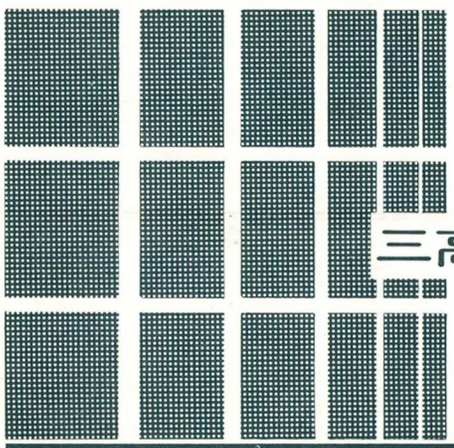
有限会社 黒川化学工業所
本店 工場 神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (85) 2723

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹脂）
モルタル工事

N.G.C.式
米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド
} 販売
各種シート防工事 責任施工
新防水材リベットルーフ 責任施工

内外工業株式会社
本社 大阪市阿陪野区旭町1丁目1番地30号 電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)
工場 大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地



スチール
アルミ
ステンレス
／サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話 大阪(499) 8151 代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211～5

SSS
プラスター
ボード用プラスター

SSS混合プラスター（上塗用・白色）
SSSプラスターC（セメントモルタル下地用）
SSSプラスターP（ペイント下地用・金鏝仕上）
SSSプラスターSP（発泡軽量コンクリート下地用）
建築用　美術工芸用　各種焼石膏

サンエス石膏株式会社

本　　社	姫路市神屋町4丁目77	TEL0792（22）3837～9
東京営業所	東京都新宿区東大久保町1の331	TEL 03（351）6962
中部営業所	瀬戸市苗場町113	TEL0561（82）9185
大阪営業所	大阪市北区堂島北町20　藤田ビル北館	TEL 06（344）6526
姫路営業所	姫路市神屋町4丁目77	TEL0792（22）3837～9
福岡営業所	福岡市七隅282の3	TEL092（87）6419

コーキングパテ

ウヅラ印

柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東2ノ5　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西3ノ99　電話大阪(471)　0426

パテタイル

ニードルパンチカーペットの決定版

ユーロン®パンチョス

ポリプロ　70%　ナイロン　30%

P.Pの特性とナイロンの特徴を最大限に生かし、独特の新方法を加え、
ニードルの欠点を全く解決した驚異的な……パンチョス
表に特殊加工（特許申請中）
裏に合成ゴム（特許）
ピリングを防止し、伸縮がなく、耐摩耗性にすぐれ、耐久力は抜群……
土足のところに絶対強く、フレヤーの起らない……ユーロンパンチョス

本州・四国・九州地区発売元　装栄株式会社　　北海道地区発売元　株式会社　三晃

電植、ナイロン100%

ニチレ®ナイロン ユーロン®カーペット

デラックス……スベリ止め加工、重量感のある豪華さ。
スタンダード……裏は板ゴムで特に工事向の価格。

TSK 大誠化工株式会社
本社　大阪市東区安土町1丁目23(新船場ビル)　電話（06)261－5716(代表)
工場　京都市南区吉祥院西ノ庄向田町8　電話(075)313－8834(代表)

SK

全国的に大好評の…新興の繊維壁材！

◉お部屋のムードは壁材の美しい調和で……

建設省建築研究所試験合格品

（一種繊維壁材）
・チェリーコート　・ママウオール　・ほたるかべ　・麝香
・いすゞかべ　・パビロン　・ふくよかべ　・清流　・金蘭
・カセロンウオール　・パーマエース　・ありあけ　・錦上壁K（三種繊維壁材）
・スーパーウォール　・瑞雲　・ニコニコ　・蛍光壁　・龍鳳
・センカウオール（二種繊維壁材）　・明光壁　・日本壁　・金龍
・あけぼの　・錦上壁　・昭和壁　・すずらん（特殊壁）
・新興壁　・大阪壁　・新日本壁　・桃山　・大和壁

（防火繊維壁材としてご使用の節は上記商品にシンケン防火剤を混入のこと）

●シンケン防火剤　●防錆剤エバコン　●耐湿剤オートン　●化学糊スーパーシンケン糊　（全国有名建材店に有）

株式会社　新興建材工業所
大阪市西区四ツ橋　TEL(538)2951代(541)5757代
営業所　東京・大阪・明石・広島・福岡

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

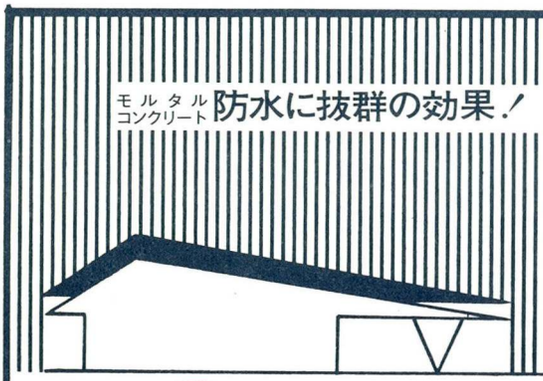
ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　大阪市東区船越町２－３１（船越ビル）電話（941）2626・2628
連　絡　所　宝塚市高台上の池　電話　宝塚（86）2153
出　張　所　電話　東京（431）8648・名古屋（331）1531・仙台㉓0721・札幌㊼1111
オォータイト式防水工事代行店　電話　大三工業　高松（２）0016　安藤工事　福岡（28）５２０７　豊永建材　広島（61）６３７１

仕様書型録贈呈



モルタル コンクリート 防水に抜群の効果！

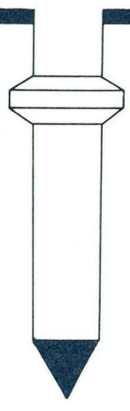
マノール防水剤

マノール防水剤は、屋上、内外壁、地下室などのモルタルやコンクリート、ブロックの防水、防湿に最適です。
その上、亀裂予防はもちろん、作業能率も著るしくあがり、仕上り面が特にきれいな点にも人気があつまっています。

マノール製品
〈モルタル コンクリート用〉
防水剤
急結剤
早強剤
接着剤
剥離剤
防凍剤
エスコート（セメント起泡剤）
エアコール（空気連行剤）
山富貴黄華（着色剤）

株式会社 油脂化工社
東京都品川区大井1-15-1 電東京（774）4111代表

大阪営業所　大阪市東成区西今里町２－４８　電 大阪（971）4765-6
名古屋営業所　名古屋市中区門前町５－３７　電 名古屋（231）5440
福島営業所　福島県信夫郡吾妻町下野寺遠原　電 福島（34）７４２８
盛岡営業所　盛岡市南大通３－１２－５０　電 盛岡（22）２２０４



●基礎施工の悪條件を克服する

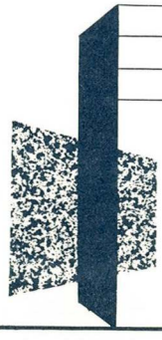
武智式 日信三角杭

特　　許●第２３３７４４号
特　　許●第２５０１０８号
実用新案●第２５－１０９４２号
実用新案●第３７－３６１０６号

株式会社 武智工務所

本　　社　大阪市東区高麗橋２－２０（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233（代）・7501（代）
名古屋営業所　名古屋市中村区船入町１－12（服部ビル）
TEL 名古屋（582）３０３６（代）
大阪工場　大阪市住吉区北加賀屋町５－２７
TEL 大阪（672）３２２３・３２２４
名古屋工場　愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（７）１１９１・１１９２

日本建鉄の



PS80Aレディメードサッシ

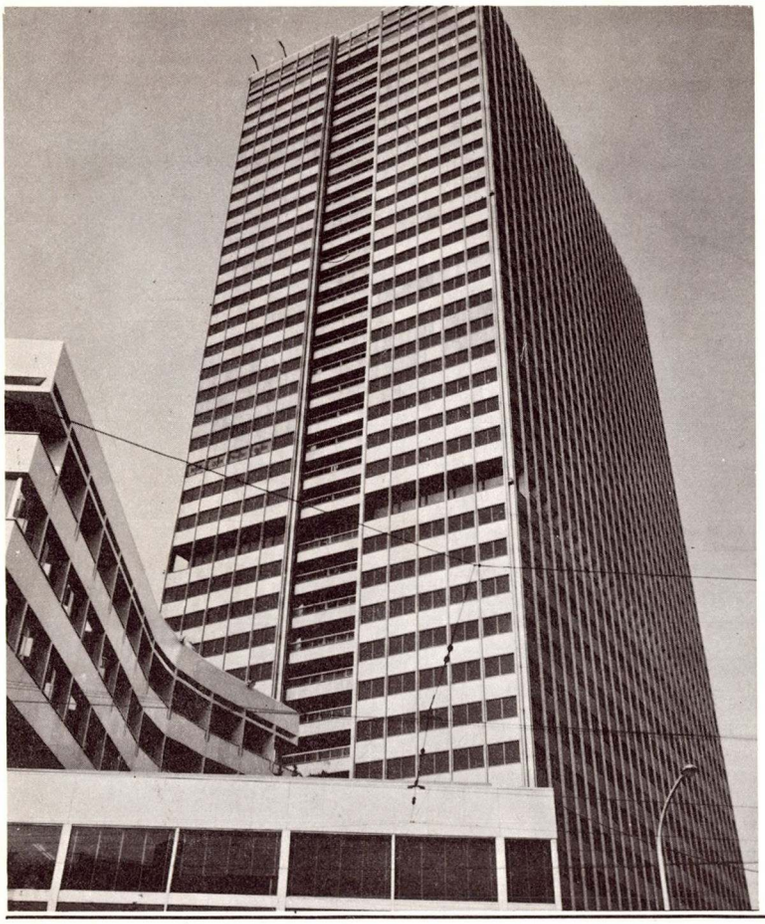
PA60A・PA70Aサッシドア

日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町２～８　TEL東京（270）6511（大代）
大阪支店　大阪市北区梅田町４７（新阪神ビル）　TEL大阪（341）4331（代）

建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第49輯第10号
■昭和43年10月25日発行（毎月1回25日発行）・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

技術の日立



分速300m
日本一の超スピード！

36階をわずか35秒——
話題を呼ぶ地上147mの霞が関ビル。
マンモス都市東京を眼下に、遠く富士を
望む36階の大展望台へ——日立超高速
エレベータがわずか35秒でご案内します
分速300mのエレベータの中は、スピー
ドを感じさせない超スピードの世界。
快適な乗り心地に訪れる人々は感嘆して
います。もちろんわが国では、最初に
開発された超スピードのエレベータです

日本の超高層ビル時代のために——
独自の技術で切り開いた
日立超高速エレベータ

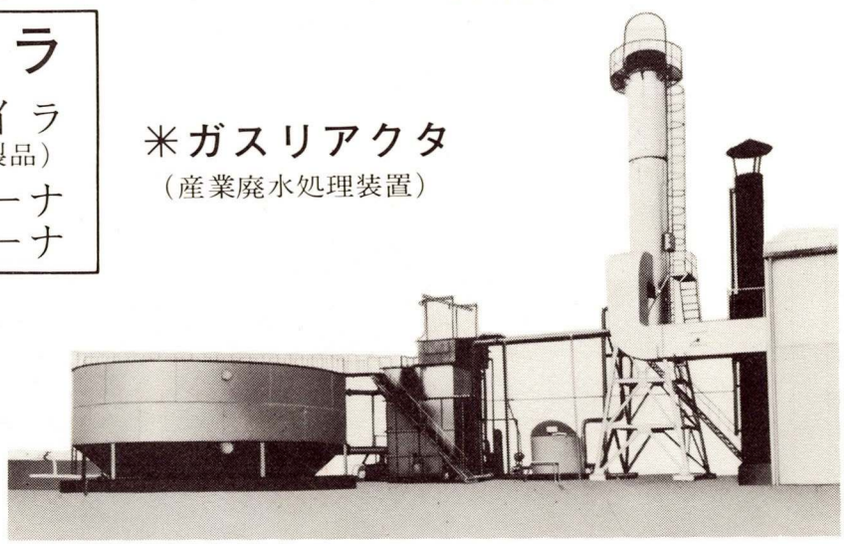
日立製作所 大阪営業所
大阪市北区梅田2番地（第一生命ビル）TEL（361）1301大代

信頼される
パイオニヤ!!

公害部門
大気汚染 産業廃水を
一挙に解消！

ボイラ バーナ部門
＊MPボイラ
＊TP水管ボイラ
（日本鋼管業務提携製品）
＊MP—3Tバーナ
＊MP—メカバーナ

＊ガスリアクタ
（産業廃水処理装置）



MPボイラ

炉筒煙管ボイラの元祖
昭和28年に第1号缶を
東京伊勢丹百貨店に納入

株式会社 平川鉄工所

本社・工場 大阪市大淀区大淀町北1丁目11番地 電話大 阪(458)8681(代)
東京支店 東京都中央区八重洲6の7城辺橋ビル 電話東 京(272)2721(代)
名古屋営業所 名古屋市中区新栄町1の6中日ビル 電話名古屋(262)2451(代)
札 幌 26—8018 福 岡 76—3146 滋賀工場（野洲7）—1450

■ご入会のお申込みは・社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3-37 電話大阪(231)9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 300円（送料共）